

令和5年度  
事業概要  
(令和4年度統計)

*2023 Annual Report*

**SAPPORO MARUYAMA ZOO**

札幌市円山動物園

# 目 次

I	略年譜	1
II	園の概要	
	1 札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」	4
	2 当園のシンボルマーク	4
	3 規模及び営業	5
	4 園の機構と事務分担	6
	5 主な展示施設と位置図	7
III	主な行事と広報活動	
	1 令和4年度の主な行事	23
	2 令和4年度「円山ZOOガイド」	26
	3 令和4年度広報発表内容	30
	4 令和4年度雑誌等寄稿	30
IV	令和4年度入園者状況	
	1 月別入園者	31
	2 年度別入園者	31
V	予算と決算	
	1 年度別歳入内訳表	32
	2 年度別支出財源	32
	3 年度別歳出内訳表	33
	4 品目別飼料購入内訳	34
	5 開園以来年度別決算表（入園者数及び入園料）	35
VI	保全活動、教育活動、調査研究、環境配慮、その他の取組	
	1 保全活動	42
	2 教育活動	45
	3 調査研究	48
	4 共同研究・研究協力一覧	56
	5 園運営における環境配慮の取組み	58
	6 その他の取組	59
VII	飼育動物	
	1 希少動物（CITES附属書I）・天然記念物	62
	2 長年飼育動物一覧表	62
	3 主な動物愛称一覧表	63
	4 繁殖表彰受賞動物一覧表	64
	5 令和4年度主要繁殖動物	64
	6 令和4年度主要転入動物内訳（出産・孵化を除く）	65
	7 令和4年度主要転出動物内訳（死亡を除く）	65
	8 剥製等一覧表	66
	9 令和4年度野生鳥獣保護一覧表	67
	10 令和4年度主要死亡動物	68
	11 令和4年度原因別死亡動物	68
	12 主要動物の給餌量と飼料代	69
VIII	飼育動物一覧表	
	1 総括	70
	2 哺乳綱	71
	3 鳥綱	74
	4 爬虫綱	76
	5 両生綱	78
	6 条鰭綱	78
	7 貸出動物	79
	8 借受動物	80

# I 略年譜

年	月	日	
1949(昭和24)	秋		動物園開設地を現在地に決定(調査費約30万円計上)
1950(昭和25)	4		円山公園及び児童遊園経営に着手(5ヶ年計画で、4,050万円の事業費計上)
1951(昭和26)	5	5	札幌市円山児童遊戯施設として開設 収容動物3種4点(オオワシ1羽、エゾシカ1頭、ヒグマの子2頭)遊戯施設(仲よし電車、豆自動車)
	9	15	札幌市円山動物園に改称し、初代園長に中俣充志就任 敷地33,000㎡、収容動物20種43点、遊戯施設(仲よし電車、豆自動車、空中観覧車、コンビネーション)
1952(昭和27)	7	13	入園料徴収を始める〔大人20円、子供(12歳未満)10円〕 収容動物78種200点(ライオン、トラ、キリン、シマウマ等)
1953(昭和28)	4	1	園の敷地を132,000㎡に拡張し、第1期建設始まる
1954(昭和29)	6	6	世界動物大博覧会開催
1955(昭和30)	12	28	博物館相当施設の指定を受ける(文部省告示第108号)
1956(昭和31)	春		動物の芸を公開する(ゾウ、チンパンジー、アシカ、カンガルー等昭和41年頃まで続く)
1957(昭和32)	4	1	園の敷地を224,000㎡に拡張し、第2期建設始まる
1961(昭和36)	4	1	学齢未満の入園料無料化
	6	2	北海道博物館協会の設立と同時に加入
1964(昭和39)	8	1	二代目園長に中川敏就任
1965(昭和40)	4	24	開園15年記念行事「マジックフェア」開催(9月30日まで)
1966(昭和41)	4	1	管理業務の一部委託(園内清掃、収売札、ボイラー運転、飼料運搬)
	11	30	熱帯動物館完成(冬期開園実施)
1968(昭和43)	1	9	姉妹都市ポートランドにオジロワシ1羽贈る(昭和34年11月17日提携)
	6	1	札幌市創建100年記念行事「タイガショー」「世界の爬虫類展」開催(8月18日まで)
	9	24	大型遊戯施設設置(飛行塔、観覧車、ティーカップ、チェーンタワー)
1969(昭和44)	7	1	「世界の貝殻展」開催(8月17日まで)
	11	8	白熊舎(放養式)完成
1970(昭和45)	4	25	開園20年記念事業「走れ超高速展」開催(6月28日まで)
	7	4	開園20年記念事業「世界の昆虫展」開催(8月30日まで)
1971(昭和46)	11	17	姉妹都市ポートランドへエゾタヌキ1つがいを贈る
1972(昭和47)	2	2	冬季札幌オリンピック開催の折、天皇皇后両陛下ご来園
	9	15	市内在住65歳以上の敬老手帳所持者の入園料無料化
1973(昭和48)	4	1	中学生以下の入園料無料化
	8	30	姉妹都市ポートランドからビーバー1つがいの寄贈を受ける
1974(昭和49)	6	15	道内初のゴリラ1つがい入園
	6	20	熱帯植物館、爬虫類館、昆虫館完成
	9	25	姉妹都市ポートランドへエゾタヌキ1つがいを贈り、ビーバー1つがいの寄贈を受ける
1975(昭和50)	1	1	札幌市円山動物園協会設立
	7	1	開園25年記念「世界の貝殻展」開催(8月31日まで)
1977(昭和52)	11	17	類人猿館完成
1978(昭和53)	6	12	猛きん舎完成
	9	1	三代目園長に金森裕就任
	12	26	白鳥舎完成
1979(昭和54)	7	19	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹動物園提携記念に、同園からアメリカクマ2頭の寄贈を受ける
	8	1	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹動物園提携記念入園券発売(8月1日～9月3日まで74,800枚)
	8	5	ポートランドワシントンパーク動物園との姉妹提携調印式を当園で行う
	11	14	動物病理研究室完成
1980(昭和55)	1	23	姉妹都市ミュンヘンからヨーロッパオオカミ1つがいの寄贈を受ける(昭和47年8月28日姉妹都市提携)
	2	26	円山動物園のシンボルマーク決まる(開園30年記念として一般公募)
	3	28	世界のクマ館完成
	5	17	開園30年記念事業として入園者報償、モデル撮影会、入園記念ポストカードプレゼント等を行う
	12	15	こども動物園の拡張と増改築を行う
	12	21	オオカミ放養場完成

1982(昭和57)	10	9	サル山完成
1983(昭和58)	2	1	イヌワシ入園(大韓民国全州市公園管理事務所との動物交換)
	4	9	メガネグマ入園(ブラジル国ポータアレグロ・リオグランデ・ド・スル動物園から)
	9	20	友好都市瀋陽市ヘマントヒヒ1つがい、チリーフラミンゴ2羽を贈り、マナヅル及びアオカケイ1つがいの寄贈を受ける
	10	1	大型遊戯施設(観覧車、メリーカップ)更新
	12	23	洋蘭温室完成
1984(昭和59)	10	22	モンキーハウス完成
1985(昭和60)	7	1	四代目園長に金田壽夫就任
	10	10	回転飛行塔(スペースシャトル)更新
1986(昭和61)	12	18	総合水鳥舎完成
1987(昭和62)	6	1	建設局管理部から環境局緑化推進部へ所属替えとなる
	7	31	メリーゴーランド更新
	10	18	姉妹都市ノボシビルスク市からペルシアヒョウ1つがいとヨーロッパカワウソ1頭を受ける(動物交換による)
1988(昭和63)	2	5	タスマニアデビル3頭をオーストラリア・タスマニア州から寄贈を受ける
	12	11	円山動物園長期総合計画策定
1989(平成元)	9	15	前年2月に贈られたタスマニアデビルにつづいて、ウォンバット、ワラビーなど14種の動物が贈られることになり、これらの動物を収容するためタスマニア館が完成
1991(平成3)	3	20	動物科学館完成、こども動物園の拡張、大型遊戯施設(エレファント)更新
1992(平成4)	4	1	五代目園長に森永修正就任
	10	30	レストハウス(休憩所)完成
1993(平成5)	3	19	堆肥舎施設完成
1994(平成6)	4	1	六代目園長に福井正継就任
	6	17	円山動物園遊戯施設廃止
1995(平成7)	3	16	熱帯鳥類館完成
	3	28	西門改築完成
	3	31	円山公園第1駐車場改築完成
	4	29	子供の国遊園地「キッドランド」中島公園から移転オープン(札幌幌振興公社)
1996(平成8)	4	1	七代目園長に長尾章郎就任
1998(平成10)	4	1	動物園センター完成
	5	28	(社)日本動物園水族館協会総裁 秋篠宮殿下、総会ご出席の折、妃殿下とともにご来園
2000(平成12)	4	1	八代目園長に大内格之就任
	6	21	入園者四千万人達成
	9	9	円山動物園開園50年記念事業としてチンパンジー館(愛称マチカ)オープン(当日入園料無料)
2002(平成14)	4	1	九代目園長に北村健一就任
	5	17	開設時より飼育してきたオオワシ1羽が老衰により死亡
2003(平成15)	1	10	フクロウとタカの森完成
2004(平成16)	3	31	リスザルドーム完成
	4	1	十代目園長に藤沢武就任
2005(平成17)	3	31	ふれあい教室用建物完成
	4	1	年間パスポート発売
	12	9	園内動物病院完成
2006(平成18)	3	27	展望レストハウス完成
	4	1	十一代目園長に金澤信治就任
	6	27	円山動物園リスタート委員会設置
2007(平成19)	1	28	開園3年目に来園したアジアゾウが老衰により死亡
	3	22	札幌市円山動物園基本構想策定
	8	30	市民動物園会議設置
2008(平成20)	3	27	類人猿館屋外放飼場改修、ビーバーの森、ドサンコの森、ニワトリ・ウサギ広場及びエゾシカ・オオカミ舎完成
	4	1	アニマルファミリー制度運用開始
	7	30	園内にコンビニエンスストア セブン-イレブン円山動物園店開店
	8	10	札幌市円山動物園基本計画策定
2009(平成21)	3	1	自然体験ゾーン円山動物園の森完成
	4	1	十二代目園長に酒井裕司就任

2010(平成22).	2.	10	猛禽類野生復帰施設完成
	3.	18	エゾヒグマ館完成
	3.	31	昆虫館閉館
	9.	30	白鳥池、キッドランド「円山子供の国」閉鎖
	10.	6	韓国大田広域市との姉妹都市提携を記念し、オー・ワールドの動物園にコモンリスザル8頭を贈り、プチハイエナ2頭の寄贈を受ける(平成22年10月22日姉妹都市提携)
2011(平成23).	1.	31	開園60周年記念事業としてスノーフェスティバルの規模を拡大し、入園料を無料とした
	3.	24	は虫類・両生類館完成
	3.	27	は虫類館閉館
2012(平成24).	1.	1	開園60周年記念事業として正月三が日の入園料無料をスタート
	4.	1	十三代目園長に見上雄一就任
2013(平成25).	12.	12	寒帯館、高山館、熱帯雨林館からなる「アジアゾーン」完成
	4.	20	遊具広場「まるっば」完成
2014(平成26).	10.	31	台湾台北市立動物園と協力関係樹立の覚書締結
	4.	1	十四代目園長に田中俊成就任
2015(平成27).	12.	1	モンキーハウス改修
	2.	1	熱帯鳥類館改修
2016(平成28).	4.	1	さっぽろ円山動物園サポートクラブ発足
	8.	21	マレーグマ「ウッチー」の死亡事案に係る改善勧告書受理
	10.	23	環境局参与に小菅正夫就任
	10.	24	サル山改修
	10.	31	「アフリカゾーン」一部公開
2017(平成29).	4.	1	十五代目園長に加藤修就任
	4.	1	開園時間及び休園日変更
	8.	22	「アフリカゾーン」全面公開
2018(平成30).	8.	28	熱帯動物館閉館
	1.	11	カンガルー館改修
	2.	28	北海道大学大学院獣医学部医学研究科・獣医学部との連携・協同に関する協定の締結
2019(平成31).	10.	20	ホッキョクグマ館完成
	3.	13	ホッキョクグマ館オープン
	9.	5	台風による倒木の影響で緊急閉園
	9.	6	北海道胆振東部地震に伴う停電の影響で緊急閉園(～9/9)
	9.	20	ゾウ舎完成
2020(令和 2).	11.	30	アジアゾウ4頭がミャンマー連邦共和国から来園
	3.	12	ゾウ舎オープン
2021(令和 3).	3.	20	札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」策定
	3.	1	新型コロナウイルス感染拡大防止を目的とした「北海道緊急事態宣言」により休園(～3/31)
	3.	30	札幌市円山動物園ビジョン2050「第1次実施計画」策定
	4.	1	屋内休憩スペースの閉鎖等を行い開園
	4.	14	臨時休園(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～6/2)
	6.	3	すべての屋内施設を閉鎖し開園(～6/30)
2022(令和 4).	12.	24	開園70周年記念ロゴデザイン決定
	1.	1～	開園70周年記念事業が開始。地下鉄全駅や円山公園駅ホーム柵に動物のポスターを掲示。その他、周年記念ロゴをモチーフとした民間企業とのコラボレーション商品制作、発売を実施。
	4.	1	十六代目園長に神賢寿就任
	4.	19	1日の来園者数の予約上限を8,000人とし、完全予約制を開始
	4.	24	来園者数の予約上限を8,000人から5,000人に変更
	5.	6	臨時休園(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～7/11)
	8.	28～	臨時休園(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、～9/30)
	9.	30	セブン-イレブン円山動物園店閉店
	10.	31	来園者の完全予約制を終了
	6.	6	札幌市動物園条例の制定
2023(令和 5).	6.	6	動物園応援基金設置
	7.	15	園内にミュージアムショップ・円山開店
	3.	9	札幌市円山動物園動物福祉規程施行
	4.	1	十七代目園長に柴田千賀子就任
	4.	1	札幌市動物園条例の全部施行
4.	1	「さっぽろの動物園ステップアップ制度」開始	

## Ⅱ 園 の 概 要

### 1 札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」（2019年3月20日策定）

札幌市円山動物園基本方針「ビジョン2050」は、令和4年6月6日制定の「札幌市動物園条例（第11条）」において、円山動物園の総合的かつ計画的な運営方針として位置付けられています。

#### <円山動物園の基本理念>

開園100年目である2050年に向け、「命をつなぎ 未来を想い 心を育む動物園」を基本理念とし、自然と人が共生する持続可能な社会の実現に貢献していきます。

動物たちの命を大切につなぎながら、未来の私たちの環境や動物たちの生息地の環境、そして社会がどのようになっているかを想像し、命の尊さや自然の大切さが感じられる心を育む動物園を目指します。

#### <基本理念に基づく取組>

全ての人が自然環境の大切さを「実感」し、自然を守るために「行動」し、そして、自然と人が共生する持続可能な社会の「実現」に貢献するため、「動物福祉」を根幹に、生物多様性の「保全」、「教育」「調査・研究」「リ・クリエーション」に力を入れていきます。

次世代の子どもたちに豊かな自然をまもり伝えていくためにも、円山動物園は自然と市民をつなぐ場として、これら4つの取組を重点的に推進していきます。



### 2 当園のシンボルマーク

開園30周年を記念して公募したもので、外側の円は、動物をとりまく豊かな緑を表現し、開園30周年にオープンした世界の熊館にちなみ、クマの親子のほのぼのとした情景をシンボライズすることによって、動物愛護精神の高揚を念願したものです。



### 3 規模及び営業

(R5. 4. 1)

住所	札幌市中央区宮ヶ丘3番地1				
所属	札幌市環境局円山動物園				
位置及び地形	札幌テレビ塔から西に約4km (東経141° 21'、北緯43° 03')				
敷地面積	224,780㎡ (67,996坪)		南北	700m	東西 400m
構造物	73	34,986.93	㎡		
収容動物	管理施設	33	4,481.03	㎡	動物施設 32 27,762.76
	教育施設	3	2,510.86	㎡	便益施設 5 232.28
職員数	147種 788点 (R5. 3. 31現在)				
	哺乳類	49種	255点		
	鳥類	40種	137点		
	爬虫類	47種	294点		
	両生類	15種	244点		
	魚類	1種	3点		
主な委託業務	① 使用料収納、案内業務 ⑥ 塵芥等搬出業務 ② 夜間警備業務 ⑦ 給排水設備等維持管理業務 ③ 飼料管理業務 ⑧ 園内施設運転管理整備業務 ④ 施設清掃業務 ⑨ バイオ発酵処理設備運転管理業務 ⑤ 緑地等維持管理業務 ⑩ 駐車場管理等業務 (指定管理) など				
年間入園者数	737,444人 (令和4年度)				
電力消費	2,468,934 KWH (令和4年度)				
上水道消費	105,829 ㎡ (令和4年度)				
営業時間	3月1日～10月31日 9:30～16:30 11月1日～2月末 9:30～16:00				
休園日	毎月第2、4水曜日(8月第1、4水曜日) 4月と11月第2水曜日を含む週の月～金、12月29日～31日				
入園料	800円/人(30名以上の団体 720円/人)、高校生400円、年間パスポート 2,000円/人 中学生以下無料				
駐車場	円山公園駐車場				
	第一駐車場	683台 (普通車換算)	18,706 ㎡		
	第二駐車場	276台 (普通車)	4,160 ㎡ (うち屋外部分 2370.1㎡)		
	計	959台	25,236 ㎡		
サービス施設	円山動物園駐車場				
	220台 (普通車)				
	ベビーカー 55台	食堂・売店	売店5店 (兼食堂4店)		
	車椅子 28台	オフィシャルショップ	2カ所 (動物科学館・西門そば)		
	電動カート 2台	コインロッカー	2カ所 (正門・西門)		

#### 入園料等の推移

設定	区分	料金			備考
		一般	団体	パスポート	
昭和27.7.13	大人	20	16		12歳以上
	子供	10	8		11歳以下
昭和30.4.1	大人	30	24		12歳以上
	子供	10	8		4～11歳
昭和32.4.1	大人	40	32		12歳以上
	子供	15	12		4～11歳
昭和41.4.1	大人	80	65		高校生以上
	中人	50	40		中学生
	子供	20	15		小学生
昭和44.4.1	大人	100	80		高校生以上
	中人	50	40		中学生
	子供	20	15		小学生
昭和48.4.1	大人	100	80		高校生以上
昭和51.4.1	大人	300	250		高校生以上
昭和55.4.1	大人	400	350		高校生以上
昭和59.4.1	大人	500	450		高校生以上
平成4.4.1	大人	600	540		高校生以上
平成17.4.1	大人	600		1,000	高校生以上 年間パスポート新設
令和2.4.1	大人	800		2,000	高校生400円

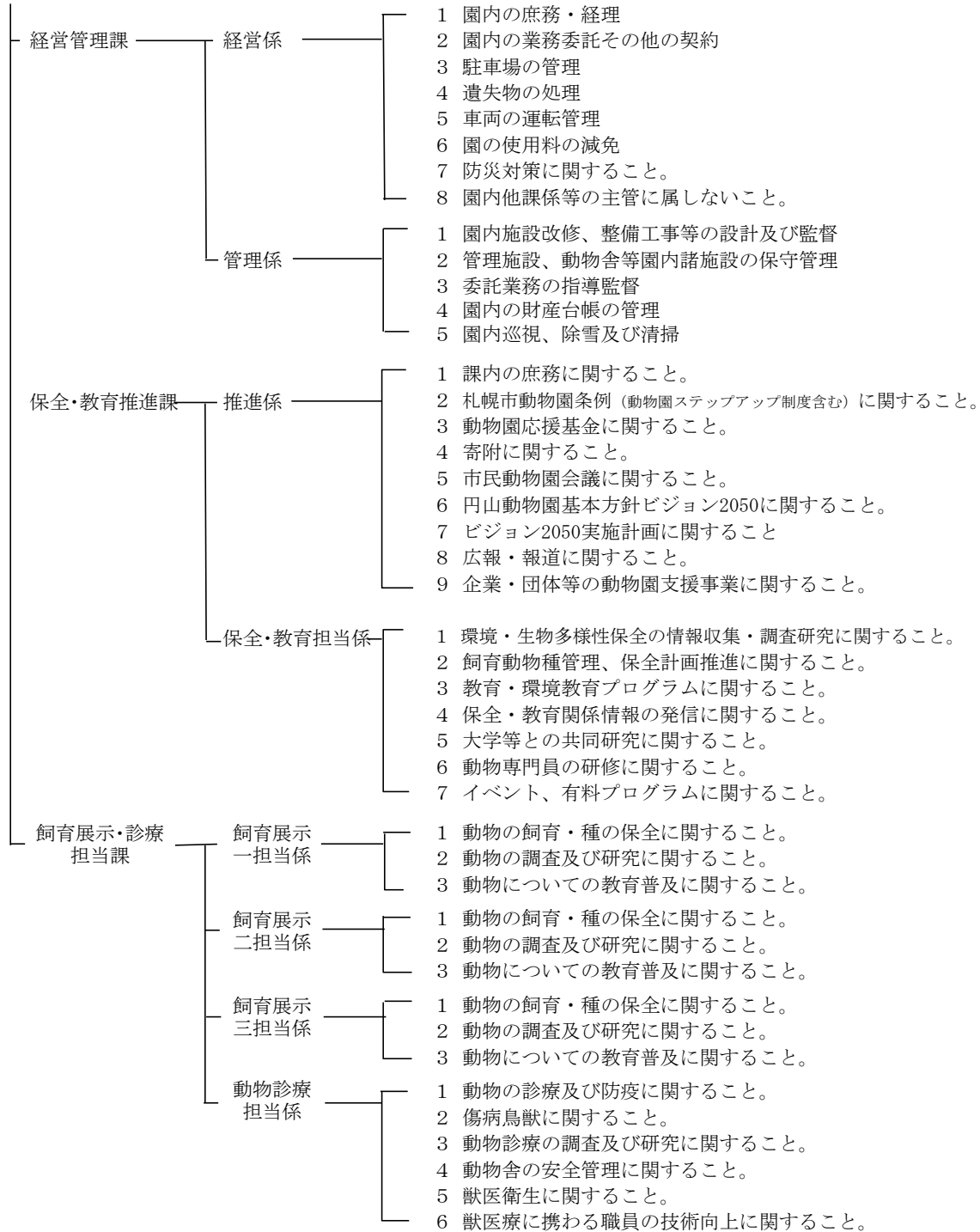
設定	料金			備考
	大型	中型	小型	
昭和44.4.1	40	30	-	
	30	20	10	
昭和50.4.1	40	30	10	
昭和51.4.1	60	50	30	
昭和55.4.1	70	50	30	
昭和59.4.1	100	-	50	回数券1,000円
昭和63.4.1	150/100	-	50	回数券1,000円
平成4.4.1	180/120	-	100/50	回数券1,200円
平成6.6.17	遊戯施設廃止			

設定	料金				備考
	大型	中型	普通	二輪	
昭和47.4.1	300	-	150	30	
昭和49.4.1	300	-	200	30	
昭和51.4.1	600	-	400	100	昭和46.8開始
昭和55.4.1	1,000	-	600	100	
平成4.4.1	1,200	1,000	700	100	

#### 4 機構と業務分担

(R5.4.17)

環境局  
円山動物園



#### 職員の配置と職種

(R5.4.17)

		事務職	技術職							会計年度任用職員						
			事務	衛生	造園	電気	土木	機械	建築	専門物	機械	公園	飼動物	解動物	事務	運転手
計		74	9	11	1	1		1	1	28	2	2	11	3	3	1
経営管理課	経営係	8	4	1											2	1
	管理係	8			1	1		1	1		2	2				
保全・教育推進課	推進係	6	4	1											1	
	保全教育担当係	6		2						1				3		
飼育展示・診療担当課	飼育展示一担当係	15		2						7			6			
	飼育展示二担当係	14	1							9			4			
	飼育展示三担当係	13		1						11			1			
	動物診療担当係	4		4												



## 5 主な展示施設と位置図

名称	建設	規模	特徴
類人猿館	昭和52.11 平成20.3 屋外改修	屋内改築工事中 屋外482.42㎡	1977年に建築し、ゴリラ、チンパンジー、オランウータン、テナガザルなどの類人猿を飼育してきた。屋外展示場の床をコンクリートから土にかえるなど飼育環境の改善を進めてきたが、施設の高齢化が進み、現在は屋内放飼場の改修工事を行っている。新施設は、旧施設と比べて屋内放飼場の面積が約3倍、高さが2倍となり、樹の上での生活を基本とするオランウータンの本来の能力が発揮できる施設となる。また、オランウータンのほかに熱帯雨林に棲む魚や虫なども飼育する。
猛禽舎	昭和53.6	314.48㎡	鉄骨金網張り一部モルタル造で、高さ4.6～6mのケージの中に、とまり木、池、巣台などを備えてオオワシ・オジロワシ・イスワシを展示している。
こども動物園	昭和55.12 平成3.3.拡張 平成20.3改修	434.44㎡	安全で親しみやすい動物を展示する施設であり、ヒツジ・ニワトリ・アヒル・ガチョウなどを放し飼いにし、子供たちが動物との触れ合いを楽しめるようになっている。平成19年度には展示エリアを拡大し、既存施設をビーバーの森、ドサンコの森に改修するとともに、トイレ等の新築を行った。
サル山	昭和57.10 平成27.10改修	572.61㎡	深さ4.5m、直径25mの円形放養場。平成27年度に放養場中央部を改修した際には「高校生によるワークショップ」を開催し、サルにとってより自然な環境を提供できるよう「市民意見」も取り込んだ形で行った。
モンキーハウス	昭和59.10 平成26.12改修	屋内454.09㎡ 屋外126.00㎡	雨天時や冬期には、屋内で観察できる猿類の展示場で、冬期間日光が一日中入るように設計されている。ワオキツネザル・エリマキキツネザル・ダイアナモンキー・オマキザル・ブラッザエノン・マンドリル・ドグエラヒヒを展示している。
総合水鳥舎	昭和61.12	屋内133.08㎡ 屋外571.99㎡	暖房設備のある屋内放養場をもち、池にも凍結を防止し快適な水温を維持できる設備を備え、冬期間も観察できるようになっている。
カンガルー館	平成元.8 平成28.11改修	屋内267.37㎡ 屋外99.76㎡	カンガルーを展示すると共に昼夜を逆転させた夜行性動物舎も備えている。平成19年4月タスマニア館から名称変更。
動物科学館	平成3.3	922.48㎡	野生動物の生き方やくらし方、動物と人間とのつながり、自然環境保護の大切さをよく理解することができるように、ジオラマや映像機器を使い、わかりやすく楽しく学べる施設である。
熱帯鳥類館	平成7.3 平成27.2改修	屋内676.26㎡ 屋外166.66㎡	バードホール内の熱帯植物の中を熱帯鳥類が自由に飛びまわり、一日3回スコールが降り注ぐなど、より野生の自然環境に近い状態で観察することができる。
動物園センター	平成10.3	1,231.22㎡	園内の総合案内をはじめ、動物情報の提供やギャラリー、研修・学習会場としての役割を持ち、天候に影響されず一年を通じて動物に関する情報を来園者に提供する。
チンパンジー館	平成12.9	屋内301.67㎡ 屋外153.61㎡	チンパンジーの野生に近い状態での展示（生態展示）を目的とした専門館。屋外展示場には高さ15mのジャングルジムを設置し、アリ塚も設けている。
フクロウとタカの森	平成15.1	186.55㎡	柱へ擬木の使用、止まり木も実際の倒木などを利用し、園内の木々と調和した動物舎である。
リスザルドーム	平成16.3	120.50㎡	周りがガラス張りの通路とし、頭上をリスザルが行き来する生態を観察することができる施設である。
園内動物病院	平成17.12	369.95㎡	診療室、検査室の他、入院室、解剖室並びに検査室を有する。飼育動物の治療の他、小中高校生を対象にした教育プログラムを実施し、環境教育に取り組んでいる。
展望レストハウス	平成18.3	290.00㎡	ガラス越しにニホンザルが餌を食べる様子を間近で見られ、ゆったりとくつろぎながら生態を観察することができる施設である。子どもたちが遊んだり、絵本を読んだりできるスペースもある。
エゾシカ・オオカミ舎	平成20.3	597.06㎡	ガラス越しにエゾシカ・オオカミ両方の動物たちを間近にゆっくり観覧できる施設。エゾシカ放養場のオープンデッキでは、エゾシカを間近に観察でき、オオカミ放養場では、動き回るオオカミの姿をブリッジ、展望デッキ及び多くののぞき窓など様々な角度から観察できるよう工夫している。また、多目的トイレ・授乳室・キッズルーム（森のひろば）なども設置している。
ザリガニ小屋	平成21.3	48.20㎡	在来種ニホンザリガニを飼育展示
猛禽類野生復帰施設	平成22.2	943.61㎡	傷病保護及び園内繁殖した猛禽類の野生復帰や飛行訓練を目的として、トレーニングケージ、繁殖ケージ、繁殖研究棟等を建設した。
エゾヒグマ館	平成22.3	屋内152.21㎡ 屋外525.24㎡	エゾヒグマの本来の姿や生態を展示することで、身近なところから環境問題や北海道の自然を考えるメッセージを発信する場として建設した。 施設の特徴としては、大きなアクリルガラスを設置した2か所の観覧スペースや、「プール」、「雨宿りスペース」、「えさ穴」等、ヒグマの様々な行動を間近で観察することができる施設となっている。
は虫類・両生類館	平成23.3	645.00㎡	植栽や擬岩、演色性の高い照明等の導入により、展示動物の生息地にあったレイアウトを施し、来園者の高揚感を創出するとともに、美術品を鑑賞するような静かで落ち着いた空間構成になっている。 熱帯、亜熱帯、日本・温帯と生息地に合わせた展示を行う「小中型展示ゾーン」は、40マスに分かれており間近で観察することが出来る。また、大型の動物を展示する「大型展示ゾーン」では、ワニが水中で泳ぐ姿を観察できるようになっている。さらに、バックヤードを公開型とすることで、動物が孵化する様子なども観察することができる。
寒帯館	平成24.12	屋内540.19㎡ 屋外625.90㎡	生息地の環境を再現した「生息環境展示」を採用することにより、動物の本来の動きを再現している。また、環境エンリッチメントに配慮し、飼育動物福祉の向上を図っている。
高山館	平成24.12	屋内392.50㎡ 屋外559.37㎡	屋内・屋外放養場とも、自然木を活用し、動物本来の生き生きとした動きを引き出せるようになっている。特にレッサーパンダの観覧スペースには、観覧者の上部に吊り橋やサークルなどを配し、観覧者とレッサーパンダが一体の空間に過ごせるようになっている。
熱帯雨林館	平成24.12 平成29.11改修	屋内943.68㎡ 屋外525.24㎡	アジア圏の熱帯雨林に生息する動物を集約した施設となっており、それぞれの動物に応じた環境の再現をおこなう展示手法を用いている。屋外放飼場も、モートの作りに工夫を施し、観覧者が動物との一体感を感じられるようになっている。
カバ・ライオン館	平成27.8	屋内1780.78㎡ 屋外1459.83㎡	サバンナ及びその水辺に生息する動物たちを中心に、肉食動物・草食動物、捕食者・被捕食者を効果的に展示することにより食物連鎖や動物たちの共生、「命のつながり」を表現する施設となっている。特にカバは水中の行動が観察できるよう、プール壁面の一部をガラス化している。
キリン館	平成27.8	屋内971.76㎡ 屋外1251.06㎡	新しい施設ではできるだけ動物と観客の地面の高さを合わせ、動物の大きさをより感じる事ができる施設になった他、屋内外ともに柵を簡素化し、より細かいところまで観察することができるようになっている。特に、建物2階からはアフリカゾーンを一望できるうえ、キリンの頭の高さからキリンを観察できるようになっている。
ホッキョクグマ館 (新館)	平成29.10	屋内1419.5㎡ 屋外1572.2㎡	北極圏に住むホッキョクグマとアザラシを展示し、北極圏の生態系の一部を見て、生息地のことや、その環境について学ぶきっかけになるだけでなく、海外の動物園との連携を進めていくため、世界基準のホッキョクグマの施設基準に沿った獣舎となっている。
ホッキョクグマ館 (旧世界の熊館)	昭和55.3	屋内574.71㎡ 屋外1066.41㎡	自然木、擬岩、池などを配置した放養場を主体に、おり式を組合せ屋内に産室を備えた他に例のない施設である。ホッキョクグマを展示している。
ゾウ舎	平成30.10	屋内4,117.51㎡ 屋外2,360㎡	ゾウの群れでの動きや採食行動など、自然に近い行動をゆっくりと観察することができる施設となっている。また、屋内・屋外ともに床面には砂を敷き詰めているほか、ゾウの健康維持で重要な水場を確保するため、水浴び可能なプールを設置するなど、動物の福祉に十分に配慮したつくりとなっている。加えて、飼育員とゾウ両方の安全を確保するため、準間接飼育方法によりゾウの健康管理を行うことができる施設である。

# Maruyama Zoo Guide Map

①～⑬の番号がついた園内サイン(案内板)で  
現在地を確認できます。

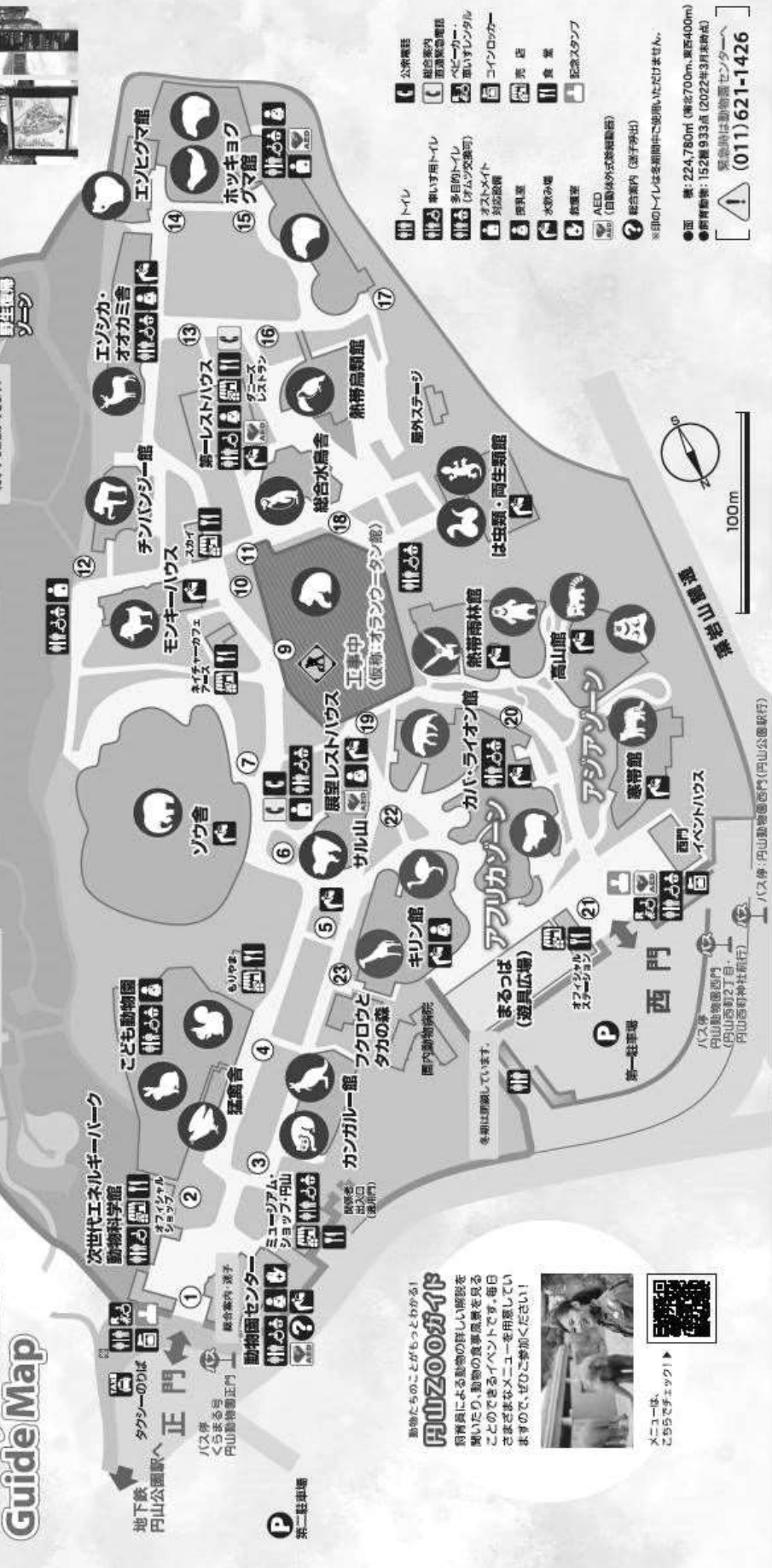
ガイドツアー開催時のみ  
見学することができます。

動物園の森

ガイドツアー開催時のみ  
見学することができます。

動物園の森

動物園の森

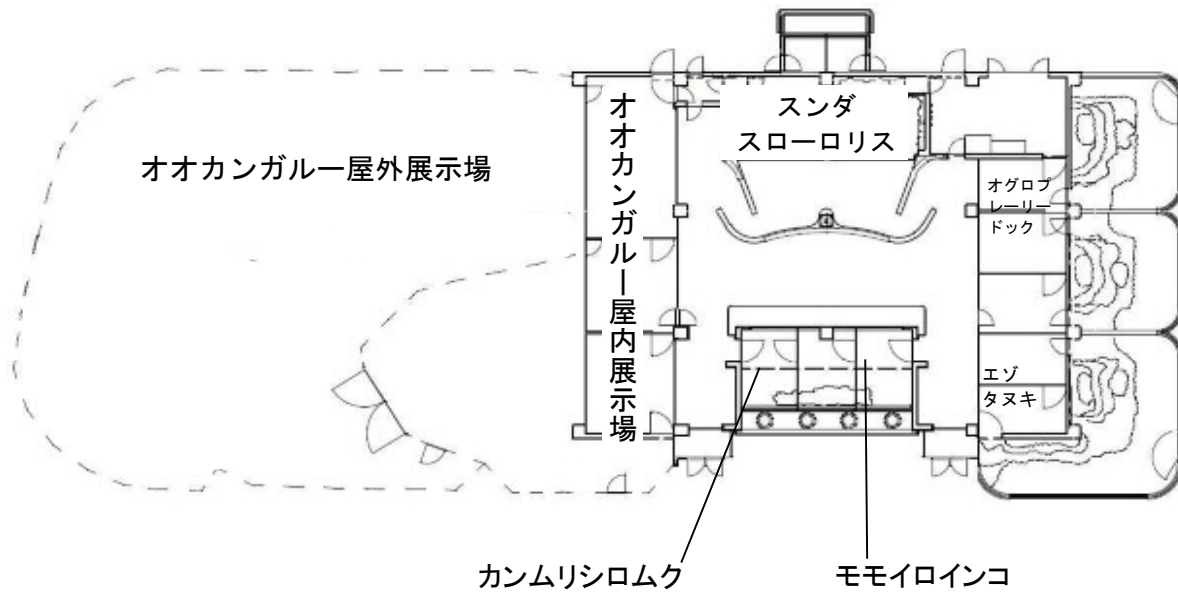


動物たちのことがもっとわかる!  
**用ZOOのガイド**  
飼育員による動物の詳しい解説を  
聞いたり、動物の食事風景を見る  
ことのできるイベントです。毎日  
さまざまなメニューを用意してい  
ますので、ぜひご参加ください!

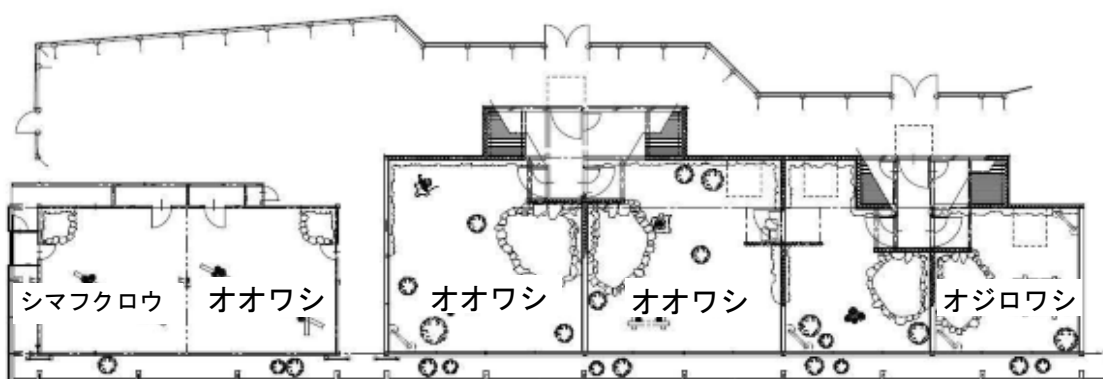


メニューは、  
こちらでチェック!

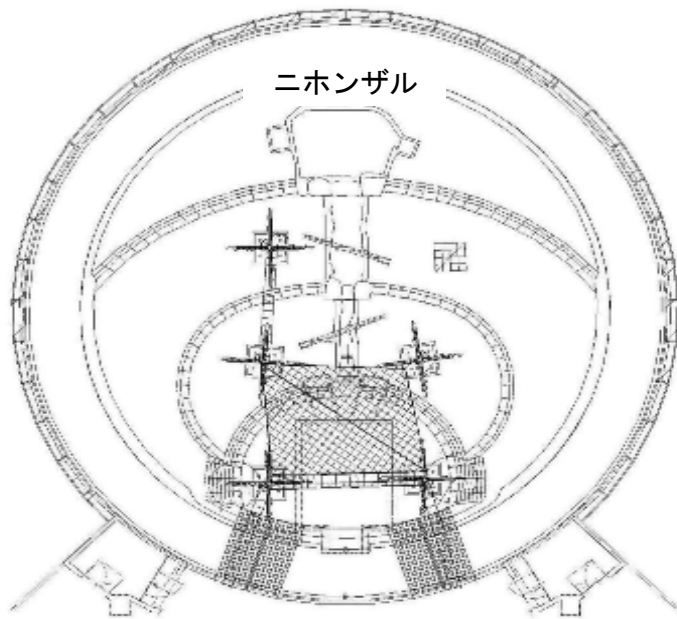
## カンガルー館



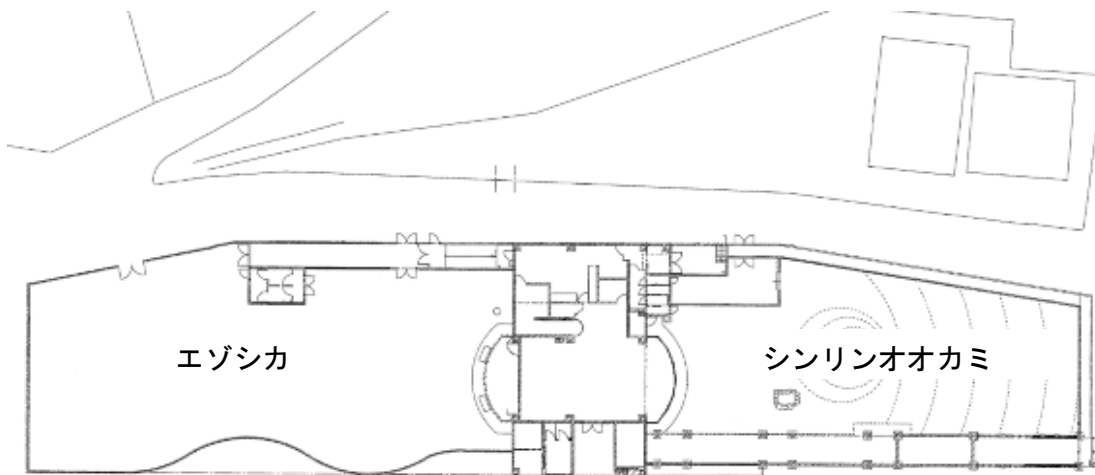
## 猛禽舎



# サル山

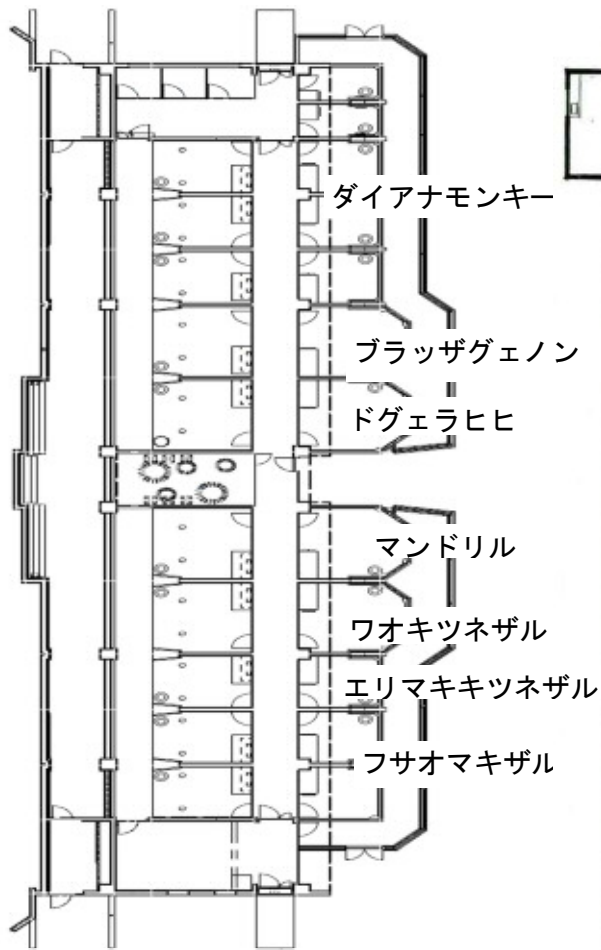


# エゾシカ・オオカミ舎



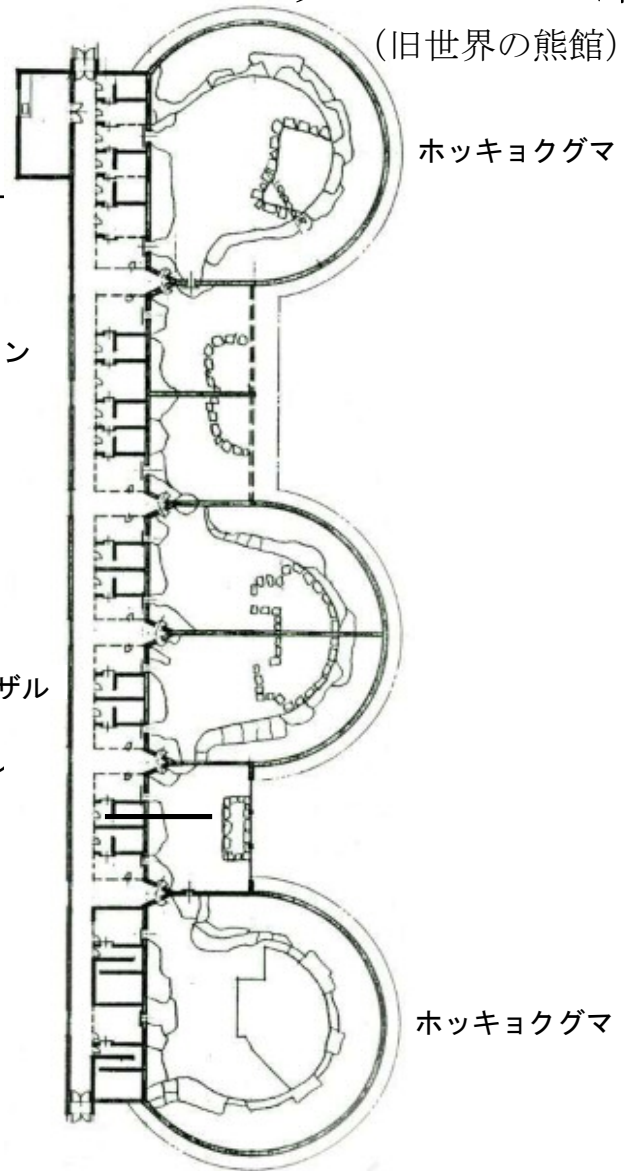
(R5.4.1現在)

# モンキーハウス

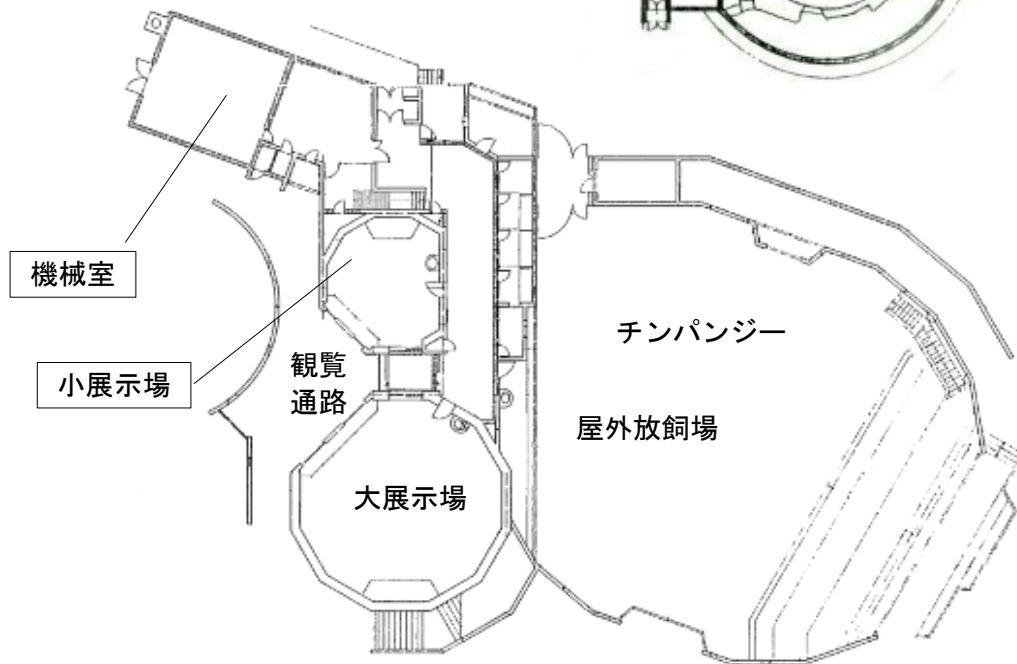


# ホッキョクグマ館

(旧世界の熊館)

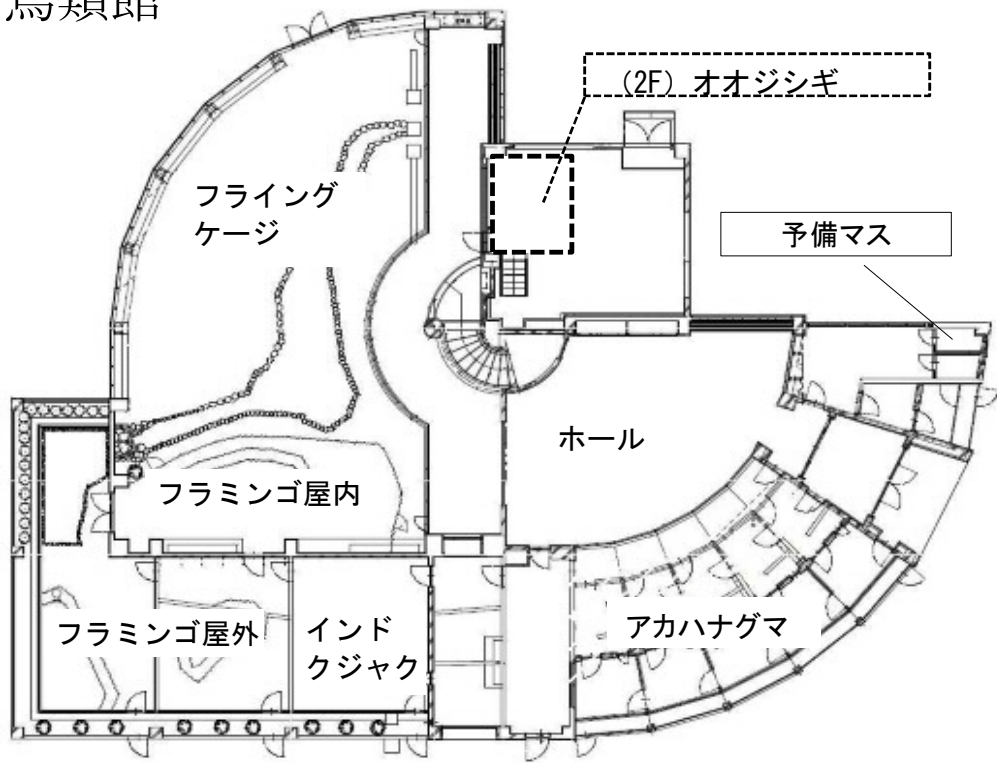


# チンパンジー館

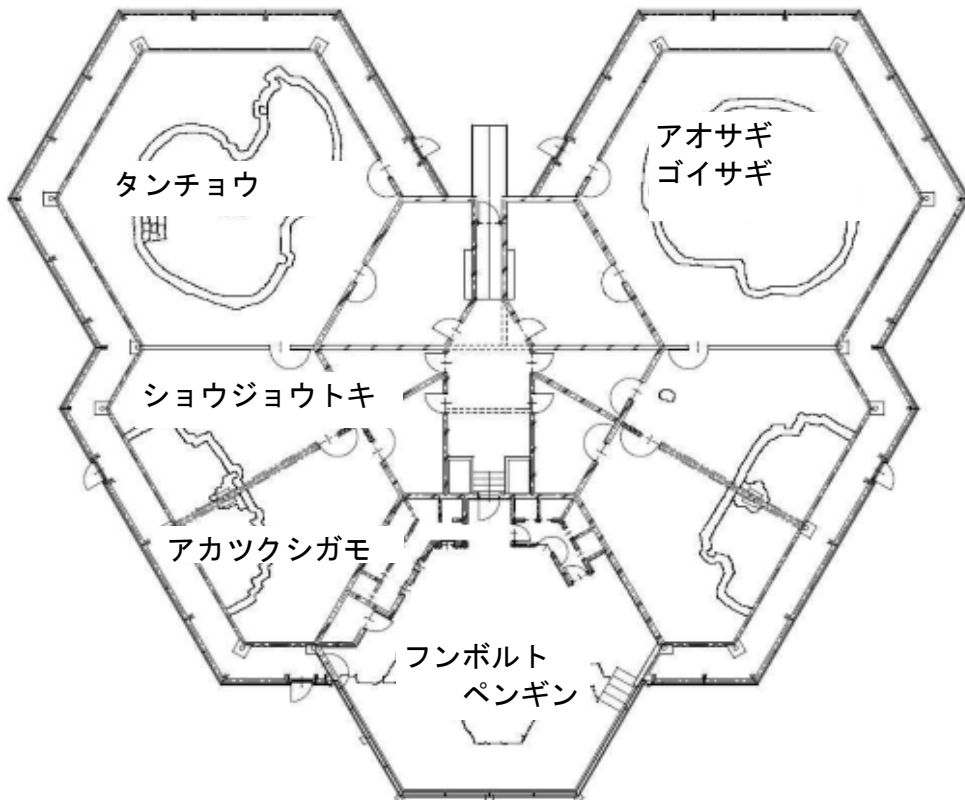


# 熱帯鳥類館

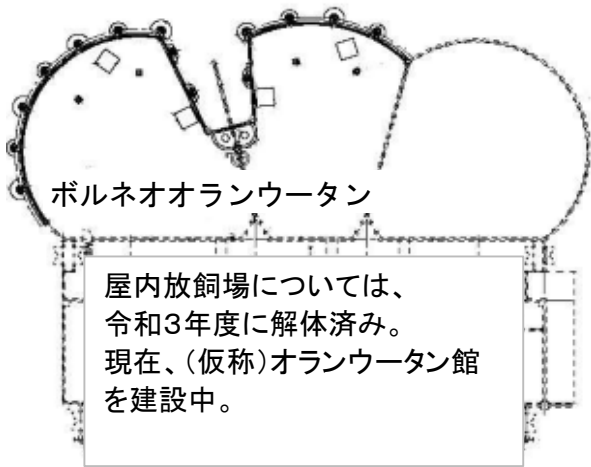
(R5.4.1現在)



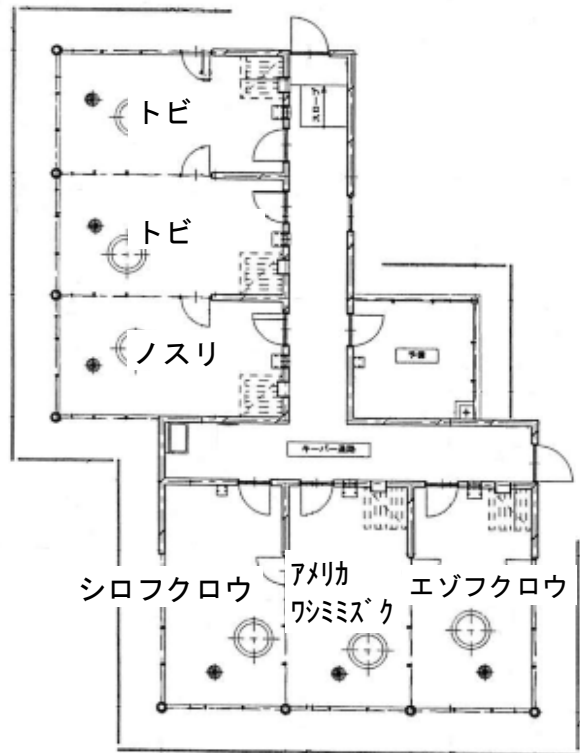
# 総合水鳥舎



### 類人猿館

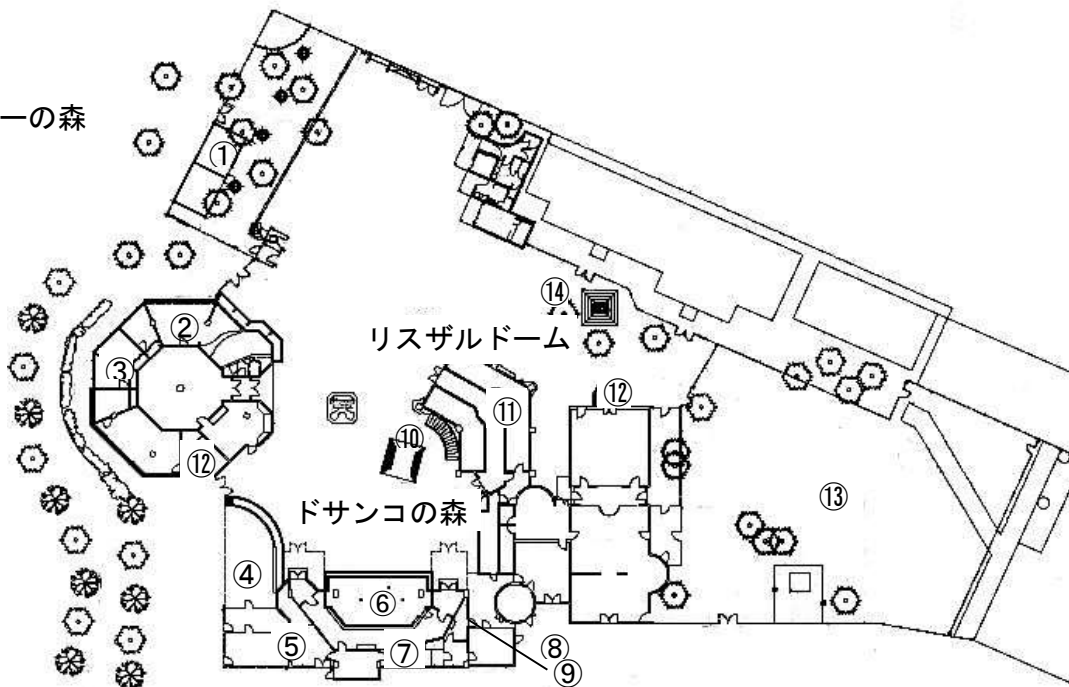


### フクロウとタカの森



### こども動物園

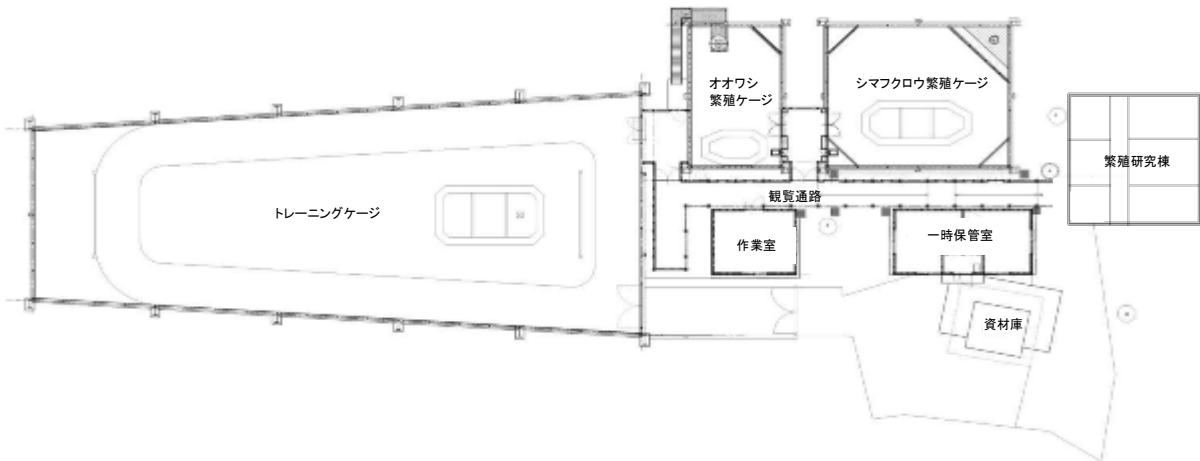
#### ビーバーの森



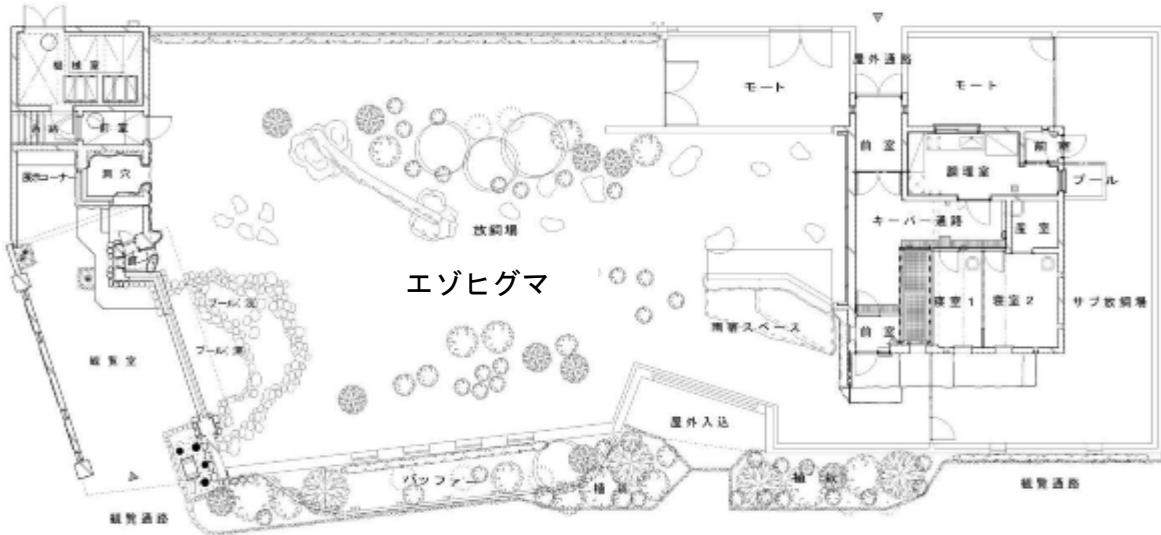
①	ニワトリ	⑧	エゾヤチネズミ
②	コールドック、ガチョウ	⑨	エゾアカネズミ
③	アライグマ	⑩	アメリカビーバー
④	エゾユキウサギ	⑪	リスザル
⑤	エゾリス	⑫	モルモット
⑥	エゾモモンガ	⑬	シェットランドポニー
⑦		⑭	ヒツジ

# 猛禽類野生復帰施設

(R5.4.1現在)

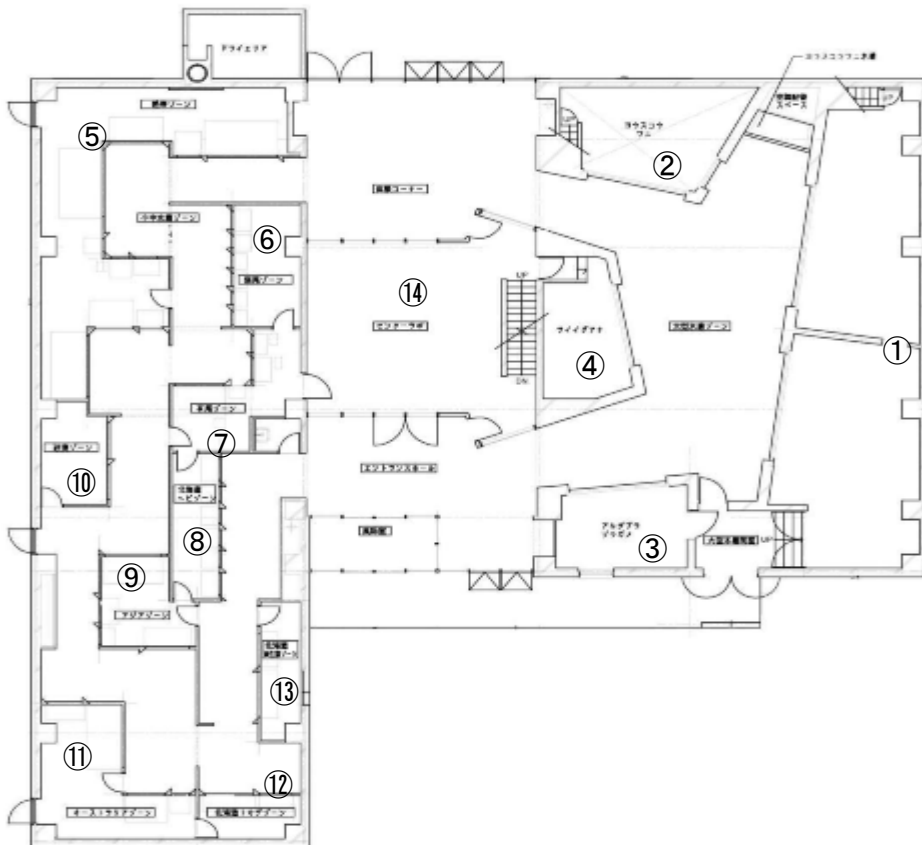


# エゾヒグマ館





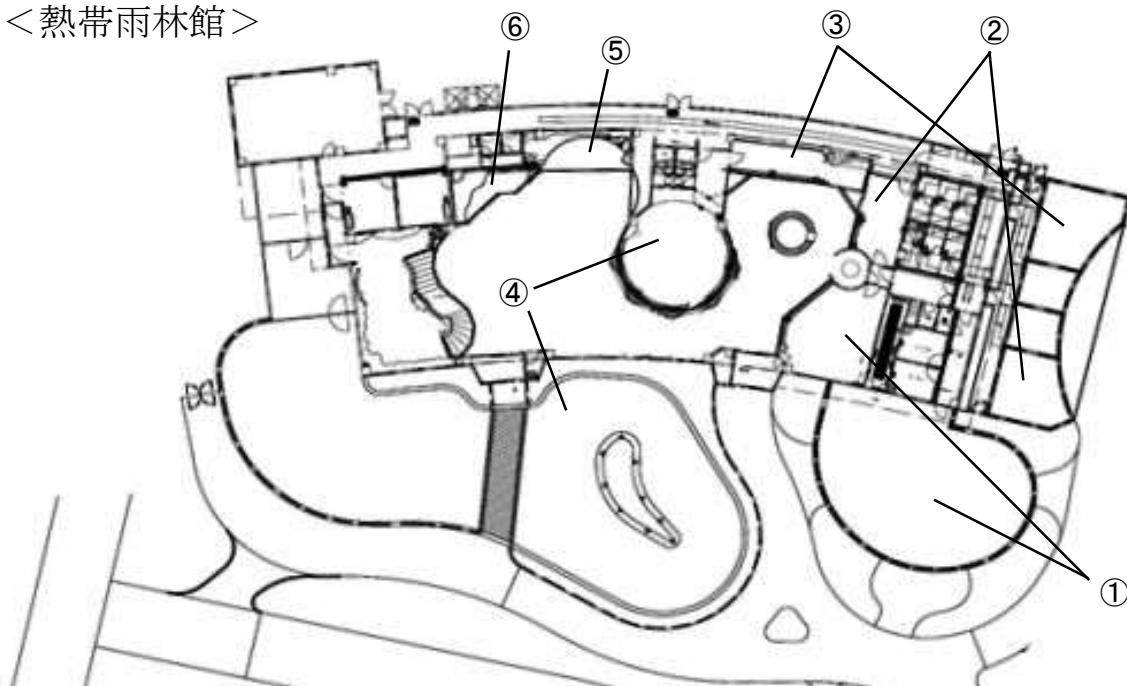
# は虫類・両生類館



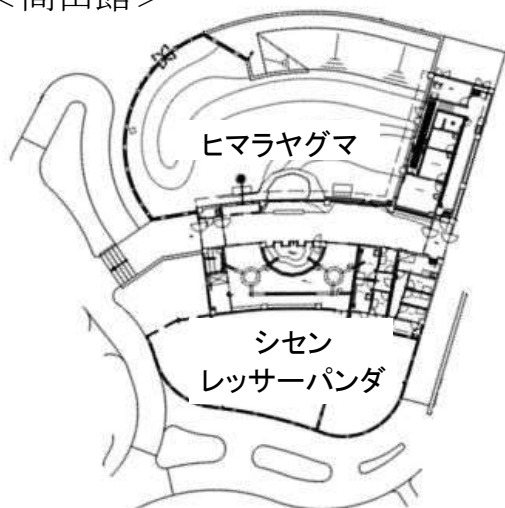
①	ガビアルモドキ	⑨	アジア産は虫類
②	ヨウスコウワニ	⑩	砂漠産は虫類
③	アルダブラゾウガメ	⑪	オーストラリア産は虫類
④	サイイグアナ	⑫	北海道産トカゲ
⑤	熱帯産は虫類	⑬	北海道産両生類
⑥	両生類 (無尾類)	⑭	センターラボ
⑦	両生類 (有尾類)		
⑧	北海道産ヘビ		

# アジアゾーン

## <熱帯雨林館>



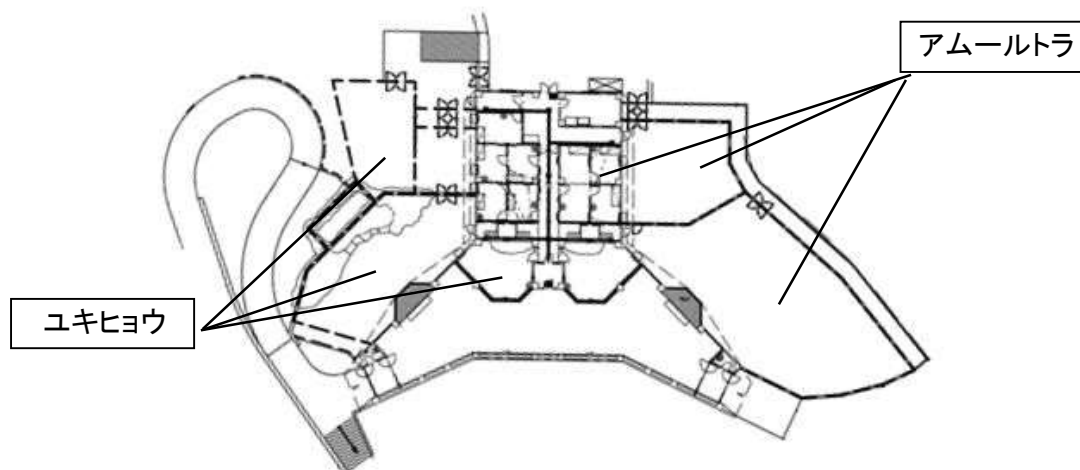
## <高山館>



### 熱帯雨林館

①	マレーグマ
②	シシオザル
③	クロザル、テナガザル
④	シロテテナガザル
⑤	コツメカワウソ
⑥	

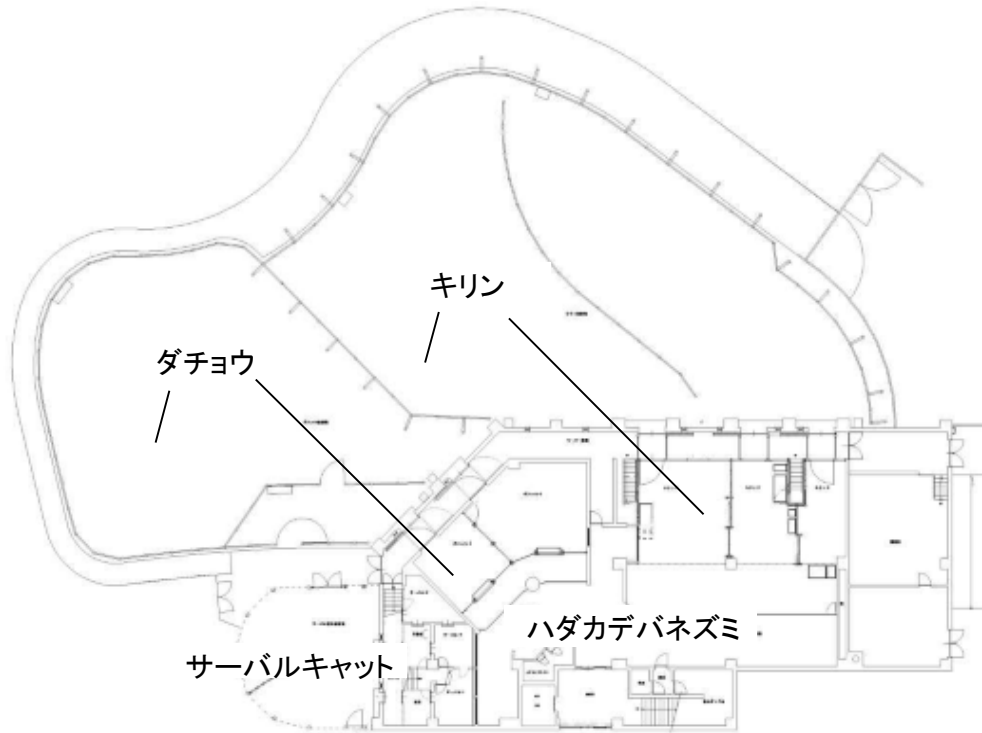
## <寒帯館>



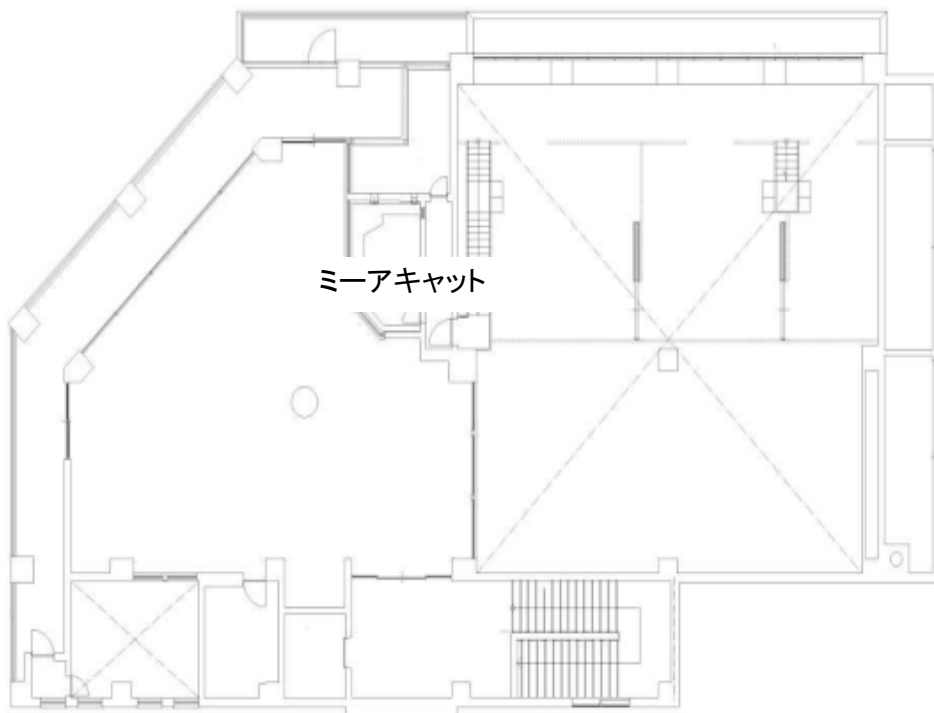
# アフリカゾーン

(R5.4.1現在)

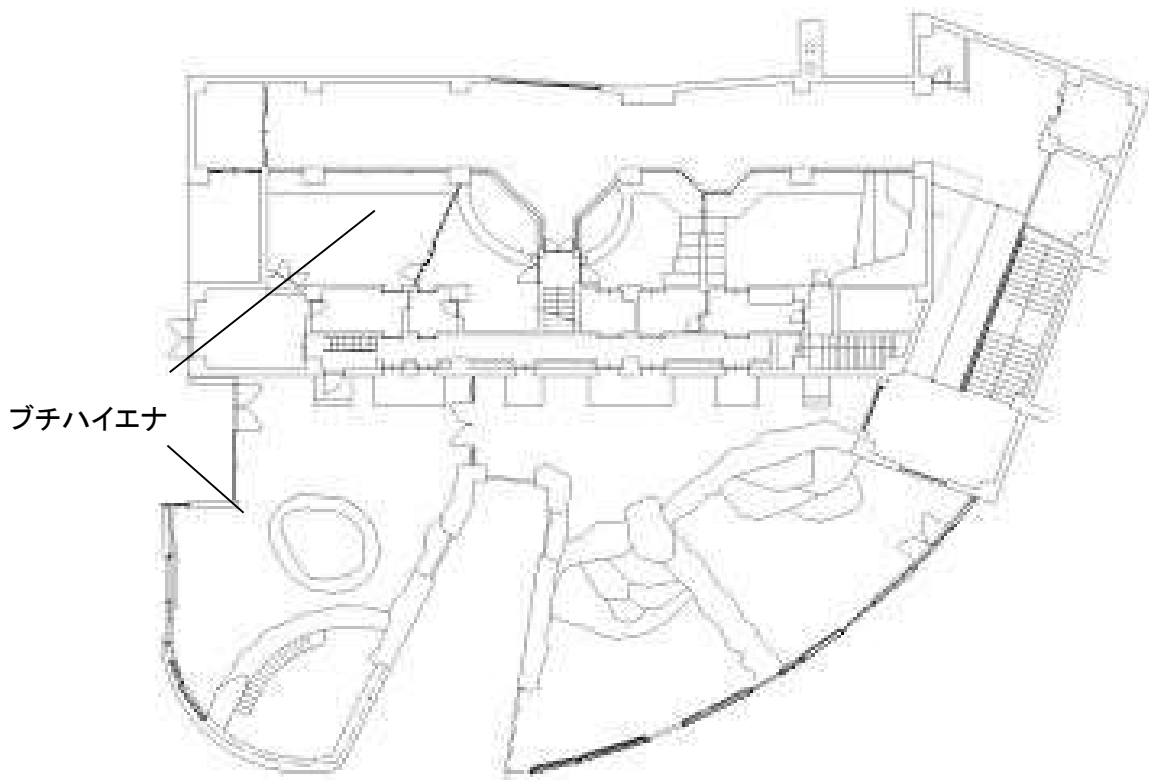
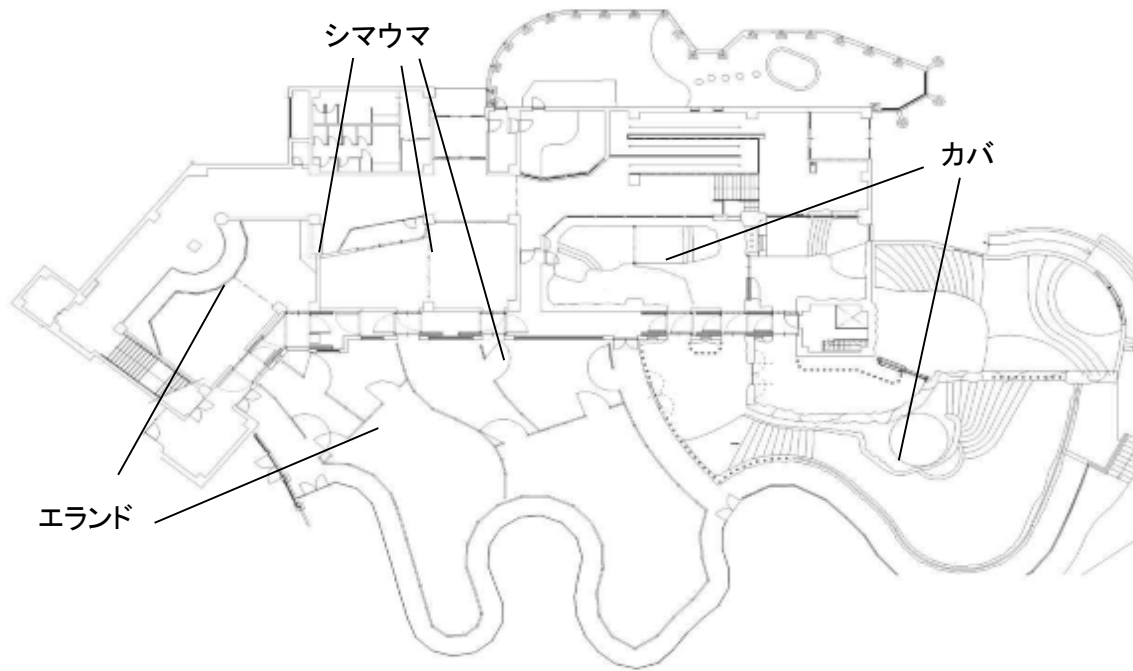
## <キリン館1階>



## <キリン館2階>



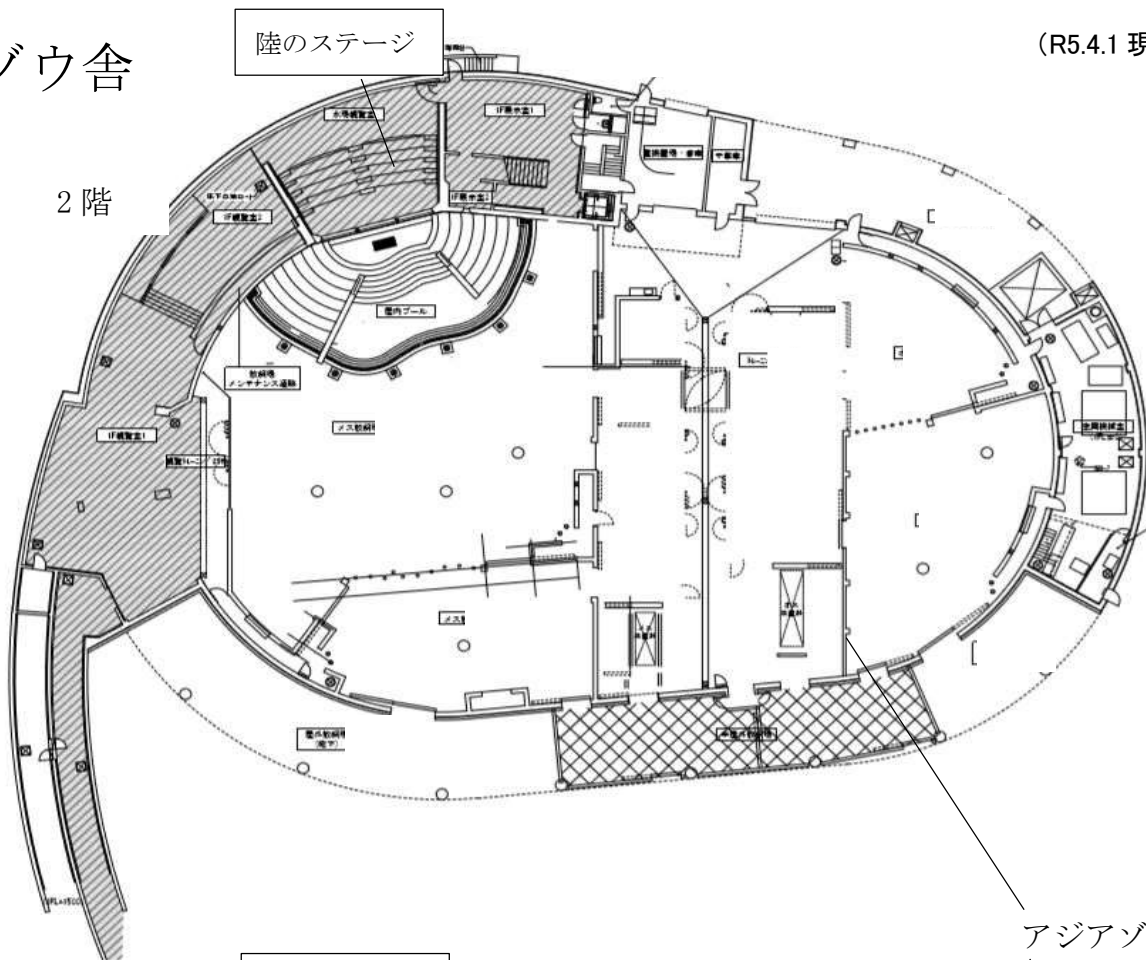
<カバ・ライオン館>



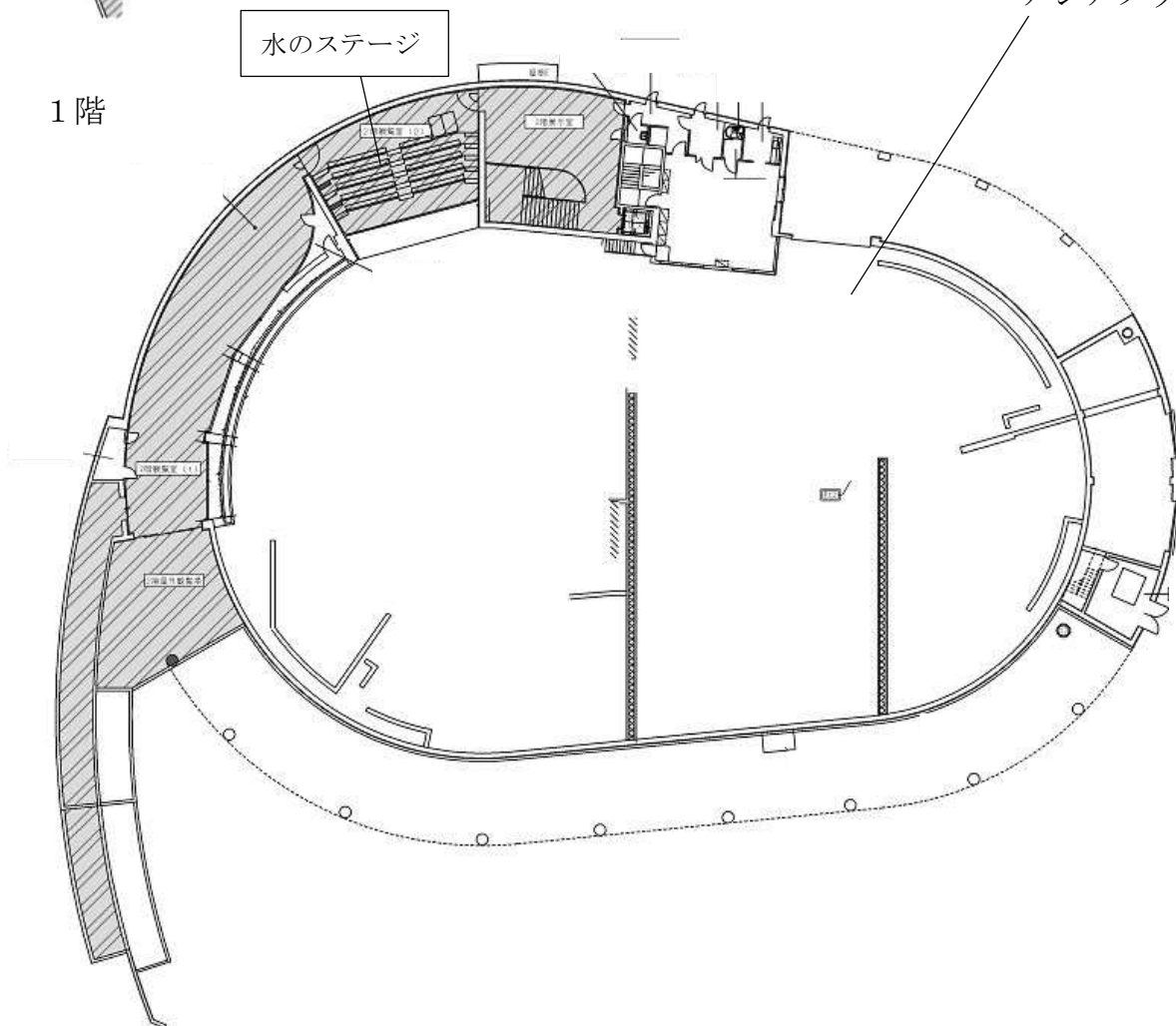
# ゾウ舎

(R5.4.1 現在)

2階



1階

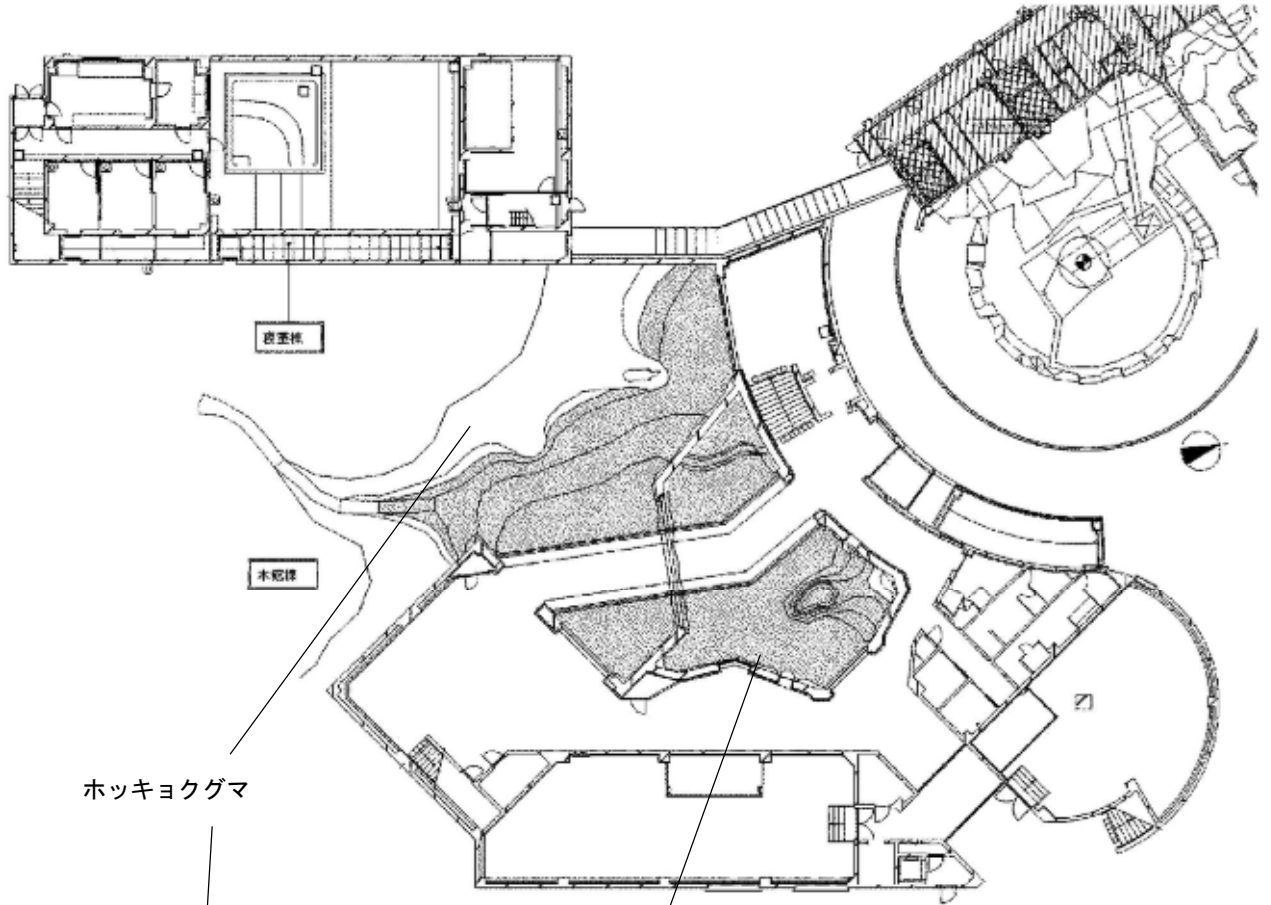


アジアゾウ

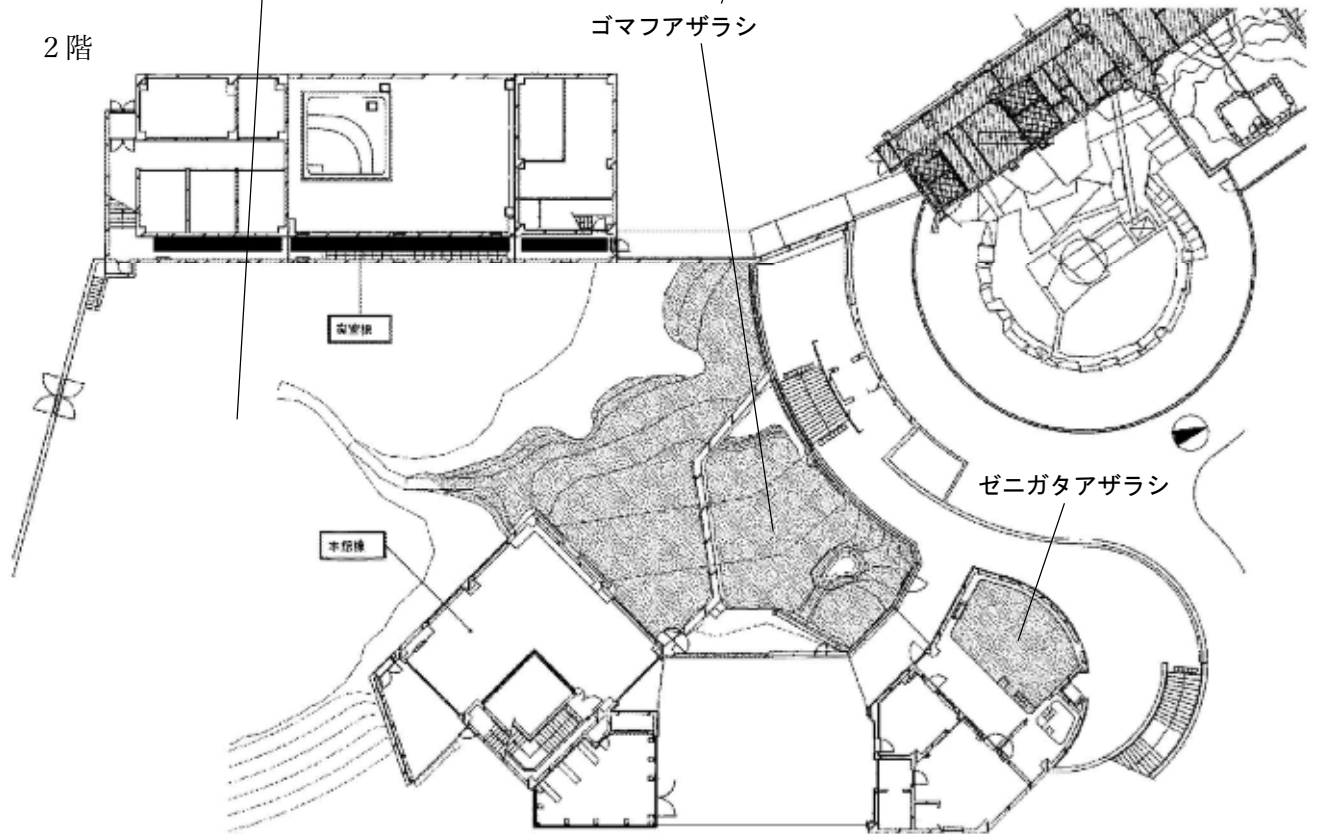
# ホッキョクグマ館 (新館)

(R5.4.1 現在)

1階



2階



# 管理施設一覧

(R5. 4. 1)

名 称	構 造	面 積	取得	年度	取得価格	備 考
屋外ステージ	木 造	168.55 m <sup>2</sup>	建設	昭46	4,950,000 円	
屋外キュービクル	鉄骨鋼板張り	1 箇所	〃	46	2,210,000 円	
国旗掲揚塔	鋼管ポール	1 箇所	〃	46	140,000 円	
飼料貯蔵庫	鉄 骨 造	121.00 m <sup>2</sup>	〃	49	9,717,400 円	H28屋上防水改修
管理倉庫	木造モルタル	62.37 m <sup>2</sup>	〃	52	6,720,000 円	
乾草倉庫	軽量鉄骨	181.00 m <sup>2</sup>	〃	53	4,100,000 円	
トラクター車庫	鉄 骨	18.15 m <sup>2</sup>	〃	54	380,000 円	
高圧受電室	鉄筋コンクリート	54.00 m <sup>2</sup>	〃	54	22,909,000 円	
ボランティア控室	木造モルタル	137.70 m <sup>2</sup>	〃	54	18,758,000 円	
汚水調整槽	鉄筋コンクリート	1 箇所	〃	55	14,778,000 円	300m <sup>2</sup>
飼育第三倉庫	軽量鉄骨	77.76 m <sup>2</sup>	〃	59	8,786,000 円	
総合倉庫	鉄骨一部鉄筋コン	393.66 m <sup>2</sup>	〃	60	36,229,000 円	
通用門詰所	木造モルタル	7.29 m <sup>2</sup>	改築	60	994,000 円	25年建設
生ごみ集積場	木 造	8.10 m <sup>2</sup>	建設	60	913,000 円	
受 水 槽		1 箇所	〃	61	25,119,000 円	
2号受水槽室	軽量鉄骨	164.03 m <sup>2</sup>	〃	61	11,350,000 円	
ボイラー倉庫	鉄 骨 造	218.00 m <sup>2</sup>	〃	平元	136,000,170 円	
倉 庫	鉄 骨 造	149.50 m <sup>2</sup>	〃	2	16,902,300 円	車庫含む
飼料倉庫	鉄筋コンクリート	430.30 m <sup>2</sup>	〃	3	117,164,000 円	
第一レストハウス	鉄 骨 造	280.73 m <sup>2</sup>	〃	4	86,701,000 円	
倉庫（作業所）	軽量鉄骨	49.90 m <sup>2</sup>	所管換	5	1,745,000 円	
管理棟（西門）	鉄筋コンクリート	117.62 m <sup>2</sup>	建設	7	66,603,500 円	
受 水 槽		1 箇所	〃	9	160,629,900 円	園内埋設給水管含む
1号受水槽室	鉄 骨 造	171.11 m <sup>2</sup>	〃	9	24,580,500 円	
動物園センター附属棟	鉄筋コンクリート	161.52 m <sup>2</sup>	〃	9	66,298,650 円	
展望レストハウス	鉄筋コンクリート	290.00 m <sup>2</sup>	〃	17	113,050,350 円	
西門イベントハウス	鉄 骨 造	339.24 m <sup>2</sup>	寄附	22	0 円	札幌振興公社より寄付
オフィシャルステーション	鉄 骨 造	227.39 m <sup>2</sup>	〃	22	0 円	札幌振興公社より寄付
糞尿処理施設	鉄 骨 造	51.88 m <sup>2</sup>	建設	24	36,168,400 円	
高山館裏物置	鉄 骨 造	19.27 m <sup>2</sup>	〃	24	1,089,600 円	
キリン館横物置	鉄 骨 造	8.19 m <sup>2</sup>	〃	28	2,991,600 円	
ハイオ発酵処理施設	鉄筋コンクリート	464.77 m <sup>2</sup>	〃	令元	488,891,992 円	
乾 草 庫	鉄 骨 造	108.00 m <sup>2</sup>	〃	4	46,257,039 円	
計	28棟・5箇所	4,481.03 m <sup>2</sup>			1,533,127,401 円	

## 動物施設一覧

(R5. 4. 1)

名称	構造	面積	取得年度	取得価格	備考
ワシ舎	鉄骨造	72.00 m <sup>2</sup>	建設 昭39	774,000 円	1号動物舎
類人猿館 (屋外放飼場)	鉄骨造 一部鉄筋コンクリート	482.42 m <sup>2</sup>	〃 52	64,202,344 円	36号動物舎 H23増築 R3~改築中
猛禽舎	鉄骨造	314.48 m <sup>2</sup>	〃 53	21,977,000 円	37号動物舎
ホッキョクグマ館 (旧世界の熊館)	鉄筋コンクリート	1,641.12 m <sup>2</sup>	〃 54	231,000,000 円	39号動物舎
モンキーハウス	鉄筋コンクリート	580.09 m <sup>2</sup>	〃 59	192,065,000 円	16号動物舎 H23増築
総合水鳥舎	鉄骨・金網檻	705.07 m <sup>2</sup>	〃 61	100,841,500 円	44号動物舎 H22増築
カンガルー館	鉄筋コンクリート	367.13 m <sup>2</sup>	〃 平元	192,047,748 円	H24増築 H29改修
こども動物舎	鉄筋コンクリート	434.44 m <sup>2</sup>	〃 2	173,239,700 円	拡張
シカ・トナカイ放養場調理室	木造(ログハウス)	11.52 m <sup>2</sup>	〃 5	5,374,000 円	
熱帯鳥類館	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	842.92 m <sup>2</sup>	〃 7	710,022,656 円	H23増築
チンパンジー館	鉄筋コンクリート	455.28 m <sup>2</sup>	〃 12	371,571,450 円	
フクロウとタカの森	壁式鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造/平屋建	186.55 m <sup>2</sup>	〃 14	40,114,750 円	
リスザルドーム	鉄筋コンクリート	120.50 m <sup>2</sup>	〃 15	132,274,000 円	40号動物舎
ふれあい用教室	鉄筋コンクリート	86.00 m <sup>2</sup>	改築 16	59,607,000 円	
エゾシカ・オオカミ舎	鉄骨造	597.06 m <sup>2</sup>	建設 19	129,515,000 円	
ニワトリサキ小屋舎	木造	32.40 m <sup>2</sup>	〃 19	51,700,000 円	
ザリガニ小屋	木造	48.20 m <sup>2</sup>	〃 20	10,182,900 円	
猛禽類野生復帰施設一時保管庫	木造	40.50 m <sup>2</sup>	〃 21	7,274,658 円	
猛禽類野生復帰施設作業室	木造	24.30 m <sup>2</sup>	〃 21	4,340,843 円	
野生復帰施設繁殖研究棟	鉄骨造	118.81 m <sup>2</sup>	〃 26	27,651,330 円	
猛禽類野生復帰施設トレーニングケージ	鉄骨造	580.00 m <sup>2</sup>	〃 21	78,975,048 円	
猛禽類野生復帰施設繁殖ケージ	鉄骨造	60.00 m <sup>2</sup>	〃 21	22,397,277 円	
猛禽類野生復帰施設繁殖ケージ	鉄骨造	120.00 m <sup>2</sup>	〃 21	27,444,309 円	
エゾヒグマ館	鉄筋コンクリート	677.45 m <sup>2</sup>	〃 21	141,649,200 円	
は虫類・両生類館	鉄筋コンクリート	645.00 m <sup>2</sup>	〃 23	426,125,700 円	
寒帯館	鉄筋コンクリート	1,166.09 m <sup>2</sup>	〃 24	321,407,000 円	
高山館	鉄筋コンクリート	951.87 m <sup>2</sup>	〃 24	279,711,450 円	
熱帯雨林館	鉄筋コンクリート	1,468.92 m <sup>2</sup>	〃 24	597,574,950 円	
カバ・ライオン館	鉄筋コンクリート	3,240.61 m <sup>2</sup>	〃 27	1,061,298,497 円	
キリン館	鉄筋コンクリート	2,222.82 m <sup>2</sup>	〃 27	531,650,053 円	
ホッキョクグマ館 (新館)	鉄筋コンクリート	2,991.70 m <sup>2</sup>	〃 29	2,100,615,599 円	
ゾウ舎	鉄筋コンクリート	6,477.51 m <sup>2</sup>	〃 30	2,909,314,308 円	
計	32棟	27,762.76 m <sup>2</sup>		11,023,939,270 円	

## 教育等施設

名称	構造	面積	取得年度	取得価格	備考
動物科学館	鉄筋コンクリート	922.48 m <sup>2</sup>	建設 平2	404,306,500 円	
動物園センター	鉄筋コンクリート	1,218.43 m <sup>2</sup>	〃 9	596,780,500 円	
園内動物病院	鉄筋コンクリート	369.95 m <sup>2</sup>	〃 17	177,244,200 円	
計	3棟	2,510.86 m <sup>2</sup>		1,178,331,200 円	

## 便益施設

名称	構造	面積	取得年度	取得価格	備考
公衆電話ボックス	ガラス張	1箇所	建設 平3	0 円	身障者用 N T T 設置
多目的トイレ	鉄筋コンクリート	72.86 m <sup>2</sup>	〃 16	37,149,000 円	
こども動物園トイレ棟	木造	49.00 m <sup>2</sup>	〃 19	16,115,000 円	
モンキーハウス横トイレ棟	鉄筋コンクリート	54.52 m <sup>2</sup>	〃 22	41,869,650 円	
は虫類館横トイレ棟	鉄筋コンクリート	55.90 m <sup>2</sup>	〃 23	62,082,300 円	
計	4棟・1箇所	232.28 m <sup>2</sup>		157,215,950 円	



### Ⅲ 主な行事と広報活動

#### 1 令和4年度の主な行事

名称および日時	内 容
4月10日 <b>円山動物園ボランティア及びび森のボランティア活動開始式及び表彰状贈呈式</b>	円山動物園ボランティア及びび森のボランティアの登録証交付兼任命式を実施
4月19日～5月15日 <b>「飼育の日」に係る展示</b>	「飼育の日」（4月19日）にちなんで、動物園職員の1日の仕事を紹介するパネルや飼育作業に使用している道具を展示
5月19日 <b>コープさっぽろ協賛金贈呈式</b>	コープさっぽろより、協賛金の贈呈
5月21日～22日 <b>第16回アースデイin円山動物園</b>	円山動物園を会場として「地球のことを考え行動する日」をテーマにした物販とパネル展示。開催テーマ：「気候変動対策～私たちにできること～」
5月21日～29日 <b>アースデイ絵画コンクール展示会</b>	アースデイin円山動物園の実施に際して行った絵画コンクールの展示会。テーマ：「豊かな自然の中で生きる動物」
6月9日 <b>バナナの葉贈呈式</b>	新得町の有限会社友夢牧場からアジアゾウに、バナナの葉の贈呈
6月11日～12日 <b>ヒツジの日特別展</b>	羊に関するパネル展、羊毛フェルト制作の実演、特別ガイド
6月19日 <b>トヨペット植樹式</b>	札幌トヨペット株式会社より、アムールトラ展示場内の植栽の贈呈
6月25日 <b>サッポロスマイルトーク</b>	市政テーマについて意見交換を行う対話事業であり、「動物園から考える札幌の未来」をテーマに、札幌市長や学識経験者などによるパネルディスカッションを実施
7月2日～7月31日 <b>海鳥展</b>	専門家による講演会と海鳥の生態や生息環境に関する展示
7月10日～8月7日 <b>世界チンパンジーの日イベント</b>	生息地や生態についてのパネル展示、チンパンジー研究者による講演会・観察会
7月16日～7月31日 <b>道みんの日特別企画展</b>	北海道みんなの日（道民の日）（7月17日）にちなんで、北海道に住む動物に関するパネル展示及び特別ガイド
7月17日 <b>シロクマキャンペーン</b>	発泡スチロール協会の協力で、ホッキョクグマへ活魚のプレゼントを実施
7月26日 <b>動物福祉の日講演会</b>	職員及び市民向けに、動物園における動物福祉についての講演会
7月30日～31日 <b>環境広場さっぽろ2022への出展</b>	動物園職員の仕事を紹介するパネル及びゾウフンのレプリカやゾウたい肥等の展示
7月30日～8月1日 <b>子どもの一日飼育係</b>	（昭和44年度から実施） 市内・近郊の小学4年生～6年生を対象に、動物園の飼育業務を通じて、動物園の魅力や役割を伝えるイベント
8月1日～9日4日 <b>世界ライオンの日イベント</b>	ライオンに関するパネル展
8月5日 <b>コウモリ観察会</b>	北大植物園にてコウモリを観察
8月5日～8月14日 <b>夏の特別企画展</b>	「気候変動と生き物の変化を探ろう～クーラーを使えるキミと使えない生き物たち～」 生体や標本・パネルの企画展示、園内ツアーと調査体験を融合した学習プログラム、ウェビナーを実施
8月9日 <b>ホッキョクグマに氷のプレゼント</b>	暑い夏を快適に過ごせるように、ホッキョクグマに氷をプレゼント
8月6日～14日 <b>世界ゾウの日特別イベント</b>	アジアゾウについてのパネル展、アジアゾウ保全団体への寄付金の募集
8月21日 <b>スマートベンチ贈呈式</b>	一般社団法人札幌青年会議所よりスマートベンチの贈呈

9月5日	<b>とうもろこし贈呈式</b>	あおぞらプロジェクトより野菜の贈呈
9月11日	<b>ボランティアの日</b>	円山動物園ガイドボランティアによるイベント
9月14日	<b>絵本作家そらさん寄付贈呈式</b>	「札幌市制100周年記念ラベルワイン原画」売上金の贈呈
9月16日～9月30日	<b>国際レッサーバンダデー特別イベント</b>	レッサーバンダに関するパネル展、特別ガイド
9月17日～25日	<b>実りの秋イベント</b>	動物の食に着目したガイド、特別給餌の実施
9月18日	<b>南幌町野菜贈呈式</b>	札幌市まちづくり政策局のさっぽろ連携中枢都市圏連携事業として、南幌町から野菜の贈呈
9月21日	<b>ポロシャツ寄付贈呈式</b>	市内の協賛企業等からユニフォームの贈呈
9月22日	<b>動物慰霊祭</b>	令和3年9月1日から令和4年8月31日までの1年間に当園で飼育展示中に死亡した動物の慰霊祭（昭和50年度から実施）
9月23日～10月23日	<b>第50回円山動物園幼児・児童動物画コンクール入選作品展示</b>	コンクール入選作品（市長賞・教育長賞・円山動物園長賞・金賞・銀賞・銅賞・佳作）を展示
9月25日	<b>第50回幼児・児童動物画コンクール表彰式</b>	市内に住む小学生以下の児童から応募のあった633点の中から選ばれた入選者への表彰
10月8日～9日	<b>自然とキノコパネル展～自然のキノコの役割とキノコの生活～</b>	野生動物のすみかである森林と関係し、生態系の分解者の役割を持つ「キノコ」をテーマとした実物及びパネル展
10月11日～31日	<b>中央アジアと日本国交30周年イベント～世界ユキヒョウの日 特別展示～</b>	ユキヒョウの生態や生息地等に関するポスター、中央アジアの伝統品・民族衣装（計15点、外務省より提供）、ユキヒョウの骨格標本の展示、講演会
10月15日～11月30日	<b>カメの甲羅はあばら骨イベント</b>	映画「カメの甲羅はあばら骨」とコラボし動物の骨格や特徴を解説したパネルを設置
11月1日～3月31日	<b>ちびっこ福引大会</b>	中学生以下を対象に、期間中3回来園すると福引に挑戦して景品をプレゼント
12月1日～1月4日	<b>干支の特別展示</b>	令和5年の干支「卯」にちなんで、ウサギの生態や抱えている問題、ウサギ飼育担当者の業務等紹介パネル展。3が日限定でクイズイベントを実施
12月18日	<b>トークイベント「人とクマの「いい距離感」</b>	ヒグマ及びホッキョクグマに関する講演
1月1日～3日	<b>三が日縁起物配布</b>	卯年にちなんだ記念品を先着にて配布
1月5日～10日	<b>夏休み自然観察記録コンクール入賞作品展示会</b>	子どもたちが身の回りの自然を見て作文や絵にしたものの展示
1月28日～29日	<b>CISEサイエンスフェスティバル</b>	札幌駅地下歩行空間で開催されたサイエンスフェスティバルに出展し、ゾウに関するレプリカ等の展示
2月4日～11日	<b>スノーフェスティバル2023</b>	冬に活動的になる動物たちの魅力を発信しながら、来園者が雪や氷に親しめるようなイベントを実施
2月26日～3月12日	<b>西岡公園自然調査報告展</b>	西岡公園ヤンマ団・さかな組による調査・研究の展示
3月11日～12日	<b>教育イベント「何を食べて大きくなるの？」</b>	小学3～6年生とその保護者を対象に、採食風景や骨格標本の観察を通して、動物が食べている物や身体の仕組みについて知ってもらう教育プログラム
3月12日	<b>ニホンザリガニ円山会議</b>	ニホンザリガニを取り巻く外来種の問題、各地域で行われている保全活動などについての講演会、生体や標本の展示
3月19日～26日	<b>謎解きクイズラリー</b>	「君は動物探偵！円山動物園謎解きクイズラリー」G7サミット気候・エネルギー・環境大臣会合機運醸成イベント。北海道に生息している動物を対象にした謎解きクイズ

広 報	○円山動物園だより	年4回発行（7, 9, 12, 3月）
	○円山動物園リーフレット	随時デザインの変更、外国語版も発行（英語、韓国語、繁体語、簡体語含む）
	○広報さっぽろ	随時
	○円山動物園公式ホームページ	URL: <a href="http://www.city.sapporo.jp/zoo/">http://www.city.sapporo.jp/zoo/</a>
	○円山動物園公式Twitter	URL: <a href="https://twitter.com/marudou_fan">https://twitter.com/marudou_fan</a>
	○円山動物園公式Instagram	URL: <a href="https://www.instagram.com/maruyamazoo_official/">https://www.instagram.com/maruyamazoo_official/</a>
	○円山動物園公式YouTube	URL: <a href="https://www.youtube.com/channel/UCBash6sQRx12x_2E1-sdP4Q">https://www.youtube.com/channel/UCBash6sQRx12x_2E1-sdP4Q</a>
○広報番組	「きょうは、円山動物園シーズン5」の製作。	
貸 出 教 材	○「円山動物園まるごと体験レポート」	飼育作業や動物園の役割などを紹介したビデオ。平成16年制作。21分。
	○「アニマル先生の動物大辞典」	円山動物園の紹介ビデオ。平成14年制作。21分。
	○レプリカ	ゾウのフン、トラの足型などのレプリカと教材解説書

## 2 令和4年度「円山ZOOガイド」

名 称		内 容	体験・観察 遭遇できる場所
1	モルモットガイド	モルモットについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園
2	「モルモットの日」特別ガイド	モルモットについて、「モルモットの日」特別版で飼育員が解説いたします。	こども動物園
3	モルモットのふれあい教室	飼育員がモルモットの生態や特徴、ふれあい方を解説し実際に、モルモットにふれあっていただきます。	こども動物園 ふれあい教室
4	エゾユキウサギガイド	エゾユキウサギについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園 ドサンコの森
5	世界ウサギの日特別ガイド	ウサギについて、「世界ウサギの日」特別版で飼育員が解説いたします。	こども動物園 ドサンコの森
6	エゾユキウサギガイド(カメ甲羅 コラボ)	エゾユキウサギについて、飼育員が解説いたします。 ※「カメの甲羅はあばら骨」コラボ特別ガイド	こども動物園 ドサンコの森
7	ヒツジガイド	ヒツジについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園
8	「世界ヒツジの日」特別ガイド	ヒツジについて、「ヒツジの日」特別版で飼育員が解説いたします。	こども動物園
9	ガチョウとコールドックガイド	ガチョウとコールドックについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園
10	ビーバーガイド	ビーバーについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園 ビーバーの森
11	ビーバーのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、 ビーバーの食事風景をご覧ください。	こども動物園 ビーバーの森
12	ビーバーのお食事ガイド (カメ甲羅コラボ)	ビーバーについて、飼育員が解説いたします。 ※「カメの甲羅はあばら骨」コラボ特別ガイド	こども動物園 ビーバーの森
13	エゾタヌキガイド	エゾタヌキについて、飼育員が解説いたします。	カンガルー館
14	エゾタヌキのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、エゾタヌキの食事風景をご覧ください。	カンガルー館
15	アライグマガイド	アライグマについて、飼育員が解説いたします。	こども動物園 ビーバーの森
16	アライグマのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、 アライグマの食事風景をご覧ください。	こども動物園 ビーバーの森
17	カンガルーガイド	カンガルーについて、飼育員が解説いたします。	カンガルー館
18	カンガルーガイド (カメ甲羅コラボ)	カンガルーについて、飼育員が解説いたします。 ※「カメの甲羅はあばら骨」コラボ特別ガイド	カンガルー館
19	スローロリスガイド	飼育員が、スローロリスの生態や現状について解説いたします。	カンガルー館
20	ニホンザルのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、ニホンザルの食事風景をご覧ください。	サル山
21	「世界ニホンザルの日」 特別ガイド	「世界ニホンザルの日」特別版で飼育員の解説を聞きながら、ニホンザルの食事風景をご覧ください。	サル山

	名 称	内 容	体験・観察 遭遇できる場所
22	ハイエナガイド	ブチハイエナについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
23	ハイエナの屠体給餌ガイド	飼育員の解説を聞きながらハイエナへの屠体給餌をご覧ください。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
24	「世界ライオンの日」特別ガイド	ライオンの獣舎内を見学しながら、ライオンについて「世界ライオンの日」特別版で飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
25	エランドガイド	エランドについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
26	シマウマガイド	シマウマについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
27	カバガイド	カバについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン カバ・ライオン館
28	レッサーパンダガイド	レッサーパンダについて、飼育員が解説いたします。	アジアゾーン 高山館
29	ヒマラヤグマガイド	ヒマラヤグマについて、飼育員が解説いたします。	アジアゾーン 高山館
30	ユキヒョウガイド	ユキヒョウについて、飼育員が解説いたします。	アジアゾーン 寒帯館
31	「世界ユキヒョウの日」特別ガイド	ユキヒョウについて、「世界ユキヒョウの日」特別版で飼育員が解説いたします。	科学館ホール
32	ユキヒョウの屠体給餌ガイド	飼育員の解説を聞きながらユキヒョウへの屠体給餌をご覧ください。	アジアゾーン 寒帯館
33	オオムラサキガイド	飼育員と一緒に動物園の森など園内を散策しながら、生息する日本の国蝶「オオムラサキ」を観察します。	動物園センター
34	アジアゾウガイド	アジアゾウについて、飼育員が解説いたします。	ゾウ舎
35	アジアゾウガイド (カメ甲羅コラボ)	アジアゾウについて、飼育員が解説いたします。 ※「カメの甲羅はあばら骨」コラボ特別ガイド	ゾウ舎
36	ゾウ舎バックヤードツアー	ゾウ舎の非公開エリア、バックヤードを飼育員がご案内いたします。	ゾウ舎バックヤード
37	オオワシガイド	オオワシについて、飼育員が解説いたします。	猛禽舎
38	シマフクロウガイド	シマフクロウについて、飼育員が解説いたします。	猛禽舎
39	シマフクロウとオオワシガイド	シマフクロウとオオワシについて、飼育員が解説いたします。	猛禽舎
40	フクロウとタカの森ガイド	フクロウとタカについて、飼育員が解説いたします。	フクロウとタカの森
41	フクロウとオオワシのガイド (カメ甲羅コラボ)	フクロウとオオワシについて、飼育員が解説いたします。 ※「カメの甲羅はあばら骨」コラボ特別ガイド	フクロウとタカの森
42	キリンガイド	キリンについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン キリン館
43	「世界キリンの日」特別ガイド	キリンについて、「世界キリンの日」特別版で飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン キリン館
44	ダチョウガイド	ダチョウについて、飼育員が解説いたします。	アフリカゾーン キリン館

名 称	内 容	体験・観察 遭遇できる場所
45 ダチョウガイド (カメ甲羅コラボ)	ダチョウについて、飼育員が解説いたします。 ※「カメの甲羅はあばら骨」コラボ特別ガイド	アフリカゾーン キリン館
46 ミーアキョットガイド	ミーアキョットについて、飼育員が解説いたします。	キリン館 屋内2階
47 ミーアキョット 実りの秋特別ガイド	ミーアキョットについて、「実りの秋イベント」特別版で飼育員が解説いたします。	キリン館 屋内2階
48 カワウソガイド	カワウソについて、飼育員が解説いたします。	熱帯雨林館
49 「世界カワウソの日」 特別ガイド	カワウソについて、「世界カワウソの日」特別版で飼育員が解説いたします。	熱帯雨林館
50 マレーグマガイド	マレーグマについて、飼育員が解説いたします。	熱帯雨林館
51 シロテテナガザルガイド	シロテテナガザルについて、飼育員が解説いたします。	熱帯雨林館
52 オランウータンガイド	飼育員が動物病院に移動したボルネオオランウータンを見ながら、解説いたします。	動物病院
53 は虫類・両生類ガイド	は虫類・両生類館にいる動物たちについて、飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
54 「世界カメの日」特別ガイド	カメについて、「世界カメの日」特別版で飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
55 「世界ヘビの日」特別ガイド	ヘビについて、「世界ヘビの日」特別版で飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
56 ワニのガイド	ガビアルモドキやヨウスコウワニについて、飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
57 「世界ワニの日」特別ガイド	ワニについて、「世界ワニの日」特別版で飼育員が解説いたします。	は虫類・両生類館
58 ガビアルモドキのお食事ガイド	飼育員の解説を聞きながら、ガビアルモドキの食事風景をご覧ください。	は虫類・両生類館
59 熱帯鳥類館ガイド	熱帯鳥類館で飼育している動物たちについて、飼育員が解説いたします。	熱帯鳥類館
60 フラミンゴガイド	ベニイロフラミンゴとチリーフラミンゴについて、飼育員が解説いたします。	熱帯鳥類館
61 フラミンゴガイド (カメ甲羅コラボ)	フラミンゴについて、飼育員が解説いたします。 ※「カメの甲羅はあばら骨」コラボ特別ガイド	熱帯鳥類館
62 野生復帰施設ガイド	猛禽類の繁殖や研究を行っている非公開施設、「猛禽類野生復帰施設」へ特別にご案内いたします。	猛禽類野生 復帰施設
63 ニホンザリガニガイド	ニホンザリガニについて、飼育員が解説いたします。	動物園センター 情報ホール
64 トガリネズミガイド	トガリネズミについて、飼育員が解説いたします。	動物園センター 情報ホール
65 オオジシギガイド	オオジシギについて、飼育員が解説いたします。	熱帯鳥類館 2階
66 ペンギンガイド	フンボルトペンギンについて、飼育員が解説いたします。	総合水鳥舎
67 ペンギンガイド (カメ甲羅コラボ)	ペンギンについて、飼育員が解説いたします。 ※「カメの甲羅はあばら骨」コラボ特別ガイド	総合水鳥舎
68 ペンギン実りの秋特別ガイド	ペンギンについて、「実りの秋イベント」特別版で飼育員が解説いたします。	総合水鳥舎
69 エゾシカガイド	エゾシカについて、飼育員が解説いたします。	エゾシカ・オオカミ舎
70 チンパンジーガイド	チンパンジーについて、飼育員が解説いたします。	チンパンジー館

名 称		内 容	体験・観察 遭遇できる場所
71	世界チンパンジーの日特別ガイド	チンパンジーについて、「世界チンパンジーの日」特別版で飼育員が解説いたします。	チンパンジー館
72	エゾヒグマガイド	エゾヒグマについて、飼育員が解説いたします。	エゾヒグマ館
73	ホッキョクグマガイド	ホッキョクグマについて、飼育員が解説いたします。	ホッキョクグマ館
74	シロクマキャンペーン特別ガイド	ホッキョクグマについて、「シロクマキャンペーン」特別版で飼育員が解説いたします。	ホッキョクグマ館
75	ホッキョクグマ実りの秋特別ガイド	ホッキョクグマについて、「実りの秋イベント」特別版で飼育員が解説いたします。	ホッキョクグマ館
76	アザラシガイド	アザラシについて、飼育員が解説いたします。	ホッキョクグマ館
77	～まんまみいよ!!～	普段は公開していない動物の餌を保管している冷蔵庫や冷凍庫へご案内いたします。	飼料庫
78	海鳥展ガイド	本物と同じ重さのぬいぐるみや骨格標本を使って、海に暮らす「海鳥」の特徴について飼育員が解説いたします。	動物科学館
79	副園長のぶらっとガイドツアー	副園長が動物園のこれまでの歩みや今後の動物園の役割について、1時間程度園内を周りながらお話いたします。	動物園センター
80	動物園職員のちょこっとガイド	動物園職員が、園内を回りながら飼育員の仕事や施設の整備、裏側、飼育員から聞いたアピールポイントなどのお話をします。	動物園センター

### 3 令和4年度広報発表調書

No.	日付	主な内容
1	R4.4.15	道内8動物園・水族館による「いきもの保全プロジェクト」始動発表会を開催します
2	R4.4.22	今年もシマフクロウのヒナが誕生しました
3	R4.5.3	シンリンオオカミの「ジェイ」の死亡について
4	R4.5.20	「第16回アースデイ in 円山動物園」開催のお知らせ
5	R4.5.31	さっぽろ円山動物園サポートクラブより円山動物園応援ガチャを設置いたします
6	R4.6.15	札幌トヨペット植樹贈呈式を開催いたします
7	R4.6.30	第50回円山動物園幼児・児童動物画コンクールの募集を行います
8	R4.7.7	円山動物園に Museum Shop MARUYAMA がオープンします
9	R4.8.3	西岡国昭建設様氷のプレゼント
10	R4.8.19	札幌青年会議所から円山動物園へのスマートベンチの寄贈について
11	R4.8.31	あおぞらプロジェクトウキビのプレゼント
12	R4.9.15	「実りの秋 2022」を開催します
13	R4.9.16	円山動物園「動物慰霊祭」の開催について
14	R4.10.11	円山動物園×人体で表す動物図鑑「カメの甲羅はあばら骨」コラボパネル展
15	R4.10.20	「中央アジアと日本外交関係樹立 30 周年イベント×世界ユキヒョウの日」特別講演会の開催について
16	R4.10.21	シセンレッサーバンドの円実(まるみ)が転出します
17	R4.10.24	アムールトラ「トート」の一般公開について
18	R4.11.4	ホッキョクグマ「ホクト」の事前公開について
19	R4.11.25	「干支展『卯』」を開催します
20	R5.1.31	円山動物園スノーフェスティバル 2023 を開催します
21	R5.2.2	ニホンザルの「中松」の死亡について
22	R5.3.9	第4回ニホンザリガニ円山会議を開催します
23	R5.3.17	北洋銀行と円山動物園との遺贈寄附に関する協定締結について
24	R5.3.29	令和5年4月1日 札幌市動物園条例の全部施行 さっぽろの動物園ステップアップ制度開始

### 4 令和4年度雑誌等寄稿

No.	発行	掲載媒体等
1	R4.7	「『動物園条例』を施行」(月刊ガバナンス 2022年8月号、(株)ぎょうせい)
2	R4.11	「【解説】札幌市動物園条例」(自治体法務研究 2022年冬号、(一財)地方自治研究機構)
3	R5.2	「札幌市円山動物園」(自治体議員活動総覧地域政策辞典、第一法規(株))



## IV 令和4年度入園者状況

### 1 月別入園者

		有料				団体無料				個人無料
		パ°スポーツ入園	一般	高校生	団体	大人	中学生	小学生	幼児	
4月	69,302	10,293	29,651	824	372	147	32	200	97	27,686
5月	81,839	8,634	37,691	1,297	704	784	2,576	377	2,370	27,406
6月	65,079	7,588	25,721	1,569	1,042	1,487	2,033	2,652	3,662	19,325
7月	67,392	7,053	27,743	982	820	1,206	953	2,038	2,207	24,390
8月	86,998	7,348	41,001	1,414	539	671	199	2,093	1,674	32,059
9月	85,929	7,313	32,956	1,311	1,040	3,314	277	9,020	9,555	21,143
10月	75,551	8,295	30,961	2,148	684	1,726	351	2,676	5,252	23,458
11月	38,593	5,440	19,283	235	332	264	57	191	492	12,299
12月	26,900	3,021	14,731	1,348	918	152	6	289	630	5,805
1月	38,555	5,489	19,162	980	433	342	45	421	1,337	10,346
2月	36,508	4,818	20,851	496	140	279	31	111	855	8,927
3月	64,798	8,375	30,775	1,749	387	393	47	231	1037	21,804
計	737,444	83,667	330,526	14,353	7,411	10,765	6,607	20,299	29,168	234,648
		435,957				66,839				

### 2 年度別入園者

		有料				団体無料				個人無料
		パ°スポーツ入園	一般	高校生	団体	大人	中学生	小学生	幼児	
14年	550,803		267,768		17,513	15,085	2,200	26,226	32,178	189,833
15年	515,319		250,465		17,452	12,075	2,249	25,699	30,016	177,363
16年	499,762		220,101		17,105	16,141	3,019	31,987	42,744	168,665
17年	436,625	54,289	166,427		14,817	13,940	2,876	31,730	41,798	165,037
18年	611,521	84,002	203,157		15,719	14,834	4,401	32,441	42,299	214,668
19年	609,614	92,441	193,797		17,319	17,946	3,898	34,437	44,048	205,728
20年	700,558	120,006	226,378		18,882	16,067	3,972	32,439	43,101	239,713
21年	923,503	183,888	323,336		22,753	17,689	4,388	30,759	42,933	297,757
22年	832,419	167,443	232,905		23,814	17,025	4,037	32,381	43,610	311,204
23年	791,754	173,954	237,166		17,999	17,439	4,838	34,831	42,185	263,342
24年	748,321	145,891	211,998		16,842	16,732	5,063	30,324	44,065	277,406
25年	959,431	195,669	278,403		20,575	18,982	5,767	35,812	45,625	358,598
26年	871,280	179,763	244,632		27,160	17,172	4,460	29,774	42,617	325,702
27年	981,119	219,013	282,946		34,792	17,447	4,926	30,375	42,990	348,630
28年	791,024	169,277	228,165		36,384	16,189	4,717	27,550	40,929	267,813
29年	813,047	158,807	253,383		37,420	15,919	4,356	31,630	41,825	269,707
30年	1,009,685	199,155	331,482		50,338	16,673	4,151	27,615	42,078	338,193
元年	1,021,282	192,439	336,285		54,263	18,429	4,351	28,675	41,893	344,947
2年	506,596	104,634	176,851	5,395	2,554	6,059	6,520	11,197	18,823	174,563
3年	369,194	54,855	149,120	4,753	2,162	5,122	3,311	11,958	15,484	122,429
4年	737,444	83,667	330,526	14,353	7,411	10,765	6,607	20,299	29,168	234,648

## V 予算と決算

### 1 年度別歳入内訳表

区 分	令和5年度（予算）	令和4年度	令和3年度	令和2年度	元年度	
経常費	運 営 費	442,399,000	372,574,503	184,407,847	220,269,652	344,662,541
	入 園 料	397,773,000	323,695,760	153,396,720	193,671,270	310,098,400
	売 店	8,548,000	7,935,320	8,674,443	9,307,114	10,234,336
	有料プログラム	300,000	0	0	262,500	-
	円山動物園駐車場	-	412,300	20,400	-	-
	道 支 出 金	86,000	25,500	18,000	44,000	522,000
	寄 付 金	19,469,000	11,033,167	5,388,045	7,876,146	14,160,958
	繰 入 金	4,506,000	15,861,188	10,092,407	-	-
	広 告 料	2,237,000	1,197,500	442,500	965,000	2,042,250
	保 険 料	113,000	163,654	117,750	112,965	-
	動 物 園 収 入 等	9,367,000	12,250,114	6,257,582	8,030,657	7,604,597
	ふるさと納税（寄付金）	93,000,000	110,986,780	(64,224,000)	(17,912,092)	(3,506,000)
円山公園駐車場収入 （繰入金を除く）	131,704,000	121,701,700	66,794,100	85,629,100	146,175,200	

### 2 年度別支出財源

区 分	令和5年度（予算）	令和4年度	令和3年度	令和2年度	元年度	
運 営 費	特 定 財 源 （ 使 用 料 等 ）	442,399,000	372,574,503	184,407,847	220,269,652	344,662,541
	一 般 財 源	312,070,000	449,413,843	441,170,107	409,604,377	305,289,004
	計	754,469,000	821,988,346	625,577,954	629,874,029	649,951,545
整 備 費	宝 く じ 収 入	-	-	-	-	-
	繰 越 金	-	-	-	-	-
	市 債	648,000,000	226,000,000	60,000,000	22,605,000	218,000,000
	基 金	-	-	-	-	-
	一 般 財 源	237,000,000	94,228,480	46,053,601	30,503,108	189,143,876
計	885,000,000	320,228,480	106,053,601	53,108,108	407,143,876	
合 計	1,639,469,000	1,142,216,826	731,631,555	682,982,137	1,057,095,421	

（円山公園駐車場）

区 分	令和5年度（予算）	令和4年度	令和3年度	令和2年度	元年度	
運 営 費	特 定 財 源 （ 駐 車 場 収 入 等 ）	131,704,000	121,701,700	66,794,100	85,629,100	85,629,100
	市 債	-	-	-	-	-
	消 費 税 還 付 金	-	1,572,500	-	-	4,386,400
	基 金 繰 入 金	17,296,000	17,315,915	17,336,669	17,357,423	17,378,177
	繰 越 金	-	-	213,353,724	-	-
	雑 入	-	1,185	1,995	-	6
	計	149,000,000	140,591,300	297,486,488	102,986,523	107,393,683

### 3 年度別歳出内訳表

科 目	5年度（予算）	4年度	3年度	2年度	元年度
動物園費	1,639,469,000	1,142,216,826	731,631,555	682,982,137	1,057,095,421
運 営 費	754,469,000	821,988,346	625,577,954	629,874,029	649,951,545
報 酬	15,407,000	15,244,415	15,011,499	17,723,488	18,940,832
給 料	17,616,000	17,582,400	18,056,400	17,573,980	30,498,465
職 員 手 当	38,194,000	37,097,568	37,749,604	38,181,044	36,988,833
共 済 費	5,682,000	5,661,871	5,696,300	5,958,794	6,754,610
報 償 費	255,000	274,451	82,390	587,529	245,370
旅 費	5,017,000	3,029,944	1,326,477	1,422,402	3,288,279
需 用 費	280,915,000	308,430,662	258,504,192	261,138,816	289,398,204
役 務 費	8,875,000	9,227,026	8,400,403	10,582,315	12,692,197
委 託 料	272,326,000	292,583,469	262,440,849	256,575,420	227,240,997
使用料及び賃借料	14,875,000	14,878,303	15,217,710	10,316,543	7,972,475
備 品 購 入 費	1,341,000	8,887,056	2,276,809	8,960,985	7,399,702
負担金補助及び交付金	966,000	649,626	815,321	811,773	8,531,581
動物園応援基金造成費	93,000,000	108,441,555	-	-	-
そ の 他	-	-	-	40,940	-
整 備 費	885,000,000	320,228,480	106,053,601	53,108,108	407,143,876
職 員 手 当	-	-	-	-	-
報 償 費	-	-	-	-	-
旅 費	-	50,140	-	-	-
需 用 費	-	30,360	693,572	239,800	-
役 務 費	-	-	863,600	-	-
委 託 料	41,937,000	17,085,000	25,503,339	52,868,308	42,389,220
使用料及び賃借料	-	-	-	-	-
工 事 請 負 費	843,063,000	296,776,700	78,893,100	-	355,801,041
備 品 購 入 費	-	6,286,280	99,990	-	8,953,615
負担金補助及び交付金	-	-	-	-	-
円山公園駐車場事業	149,000,000	140,591,300	297,486,488	126,942,913	136,190,625
駐 車 場 管 理 費	149,000,000	140,591,300	297,486,488	126,942,913	136,190,625
報 酬	1,545,000	1,534,716	1,410,276	-	-
給 与	4,556,000	3,806,300	2,640,300	4,352,900	2,775,100
職 員 手 当	3,544,000	3,909,645	1,769,352	3,040,821	2,501,037
共 済 費	2,008,000	1,489,807	1,196,644	1,692,575	1,193,429
旅 費	175,000	122,114	-	-	-
需 用 費	13,054,000	1,071,730	1,070,850	198,000	2,139,960
役 務 費	68,000	358,920	32,670	67,910	39,600
委 託 料	48,173,000	51,258,478	56,174,027	40,194,806	55,963,364
使用料及び賃借料	-	730,000	-	-	-
工 事 請 負 費	49,016,000	34,817,200	-	-	-
備 品 購 入 費	200,000	-	63,800	365,200	-
負担金補助及び交付金	7,000	26,169	5,737	8,078	8,258
積 立 金	-	-	200,842,456	53,279,000	45,446,000
公 課 費	4,852,000	2,738,900	4,851,300	6,386,200	8,745,700
繰 出 金（公債償還）	17,296,000	17,315,915	17,336,669	17,357,423	17,378,177
繰 出 金（一般会計）	4,506,000	21,411,406	10,092,407	-	-

#### 4 品目別飼料購入内訳

品名	金額
<b>1 野菜類</b>	<b>10,863,394</b>
ニンジン	1,054,735
小松菜	938,905
キャベツ	1,238,600
ジャガイモ	15,125
サツマイモ	1,741,201
白菜	639,705
セロリ	885,445
ピーマン	617,722
レタス	218,746
もやし	445,962
キュウリ	111,806
チンゲンサイ	175,912
ブロッコリー	459,674
トマト	368,585
長ネギ	81,081
ゴボウ	1,040,709
玉ネギ	56,216
ナス	71,374
大根	30,480
かぼちゃ	671,413
<b>2 果実類</b>	<b>6,071,714</b>
ブドウ	1,114,267
リンゴ	3,099,767
バナナ	626,665
キウイフルーツ	361,207
オレンジ	711,975
パイナップル	153,698
柿	4,136
<b>3 雑穀類</b>	<b>570,519</b>
小麦	100,100
ひまわりの種	104,555
乾草大豆	66,420
落花生	148,964
麻の実	100,980
白エゴマ	49,500
<b>4 肉類</b>	<b>10,538,879</b>
馬肉	5,705,768
鶏肉	358,295
シカ肉	135,152
マウス	1,724,580
冷凍ウズラ	1,601,600
冷凍ひな	942,480
その他	71,004
<b>5 魚類</b>	<b>5,141,744</b>
ホッケ	3,077,003
ワカサギ	83,820
煮干	692,972
沖あみ	234,080
オオナゴ	1,053,869

(単位：円)

品名	金額
<b>6 鶏卵</b>	<b>281,257</b>
<b>7 乳製品</b>	<b>1,012,785</b>
牛乳	273,639
ヨーグルト	80,796
エレファントミルク	658,350
<b>8 配合飼料類</b>	<b>3,507,118</b>
サル用ペレット	734,547
草食動物用ペレット	1,215,511
クマ用ペレット	576,576
ローデントラボダイエット	74,800
モルモット用ペレット	498,476
満腹感、消化器サポート	127,280
その他	279,928
<b>9 鳥用飼料類</b>	<b>1,543,383</b>
ミルワーム	403,392
フラミンゴ用ペレット	718,938
キジ用ペレット	73,568
ハト配合えさ	140,487
ダチョウ用ペレット	49,005
カモ用ペレット	44,440
ツル用ペレット	13,838
その他	99,715
<b>10 パン類</b>	<b>13,646</b>
角食	13,646
<b>11 牧草・乾牧草類</b>	<b>15,679,088</b>
乾牧草	6,052,118
クローバー	4,688,921
青草	1,586,310
アメリカンチモシー	408,628
アルファルファ	521,583
ルーサンシングルプレス	1,039,181
ルーサンハイキューブ	835,560
ルーサンキューブ挽割	522,335
ミネカル	24,453
<b>12 その他</b>	<b>6,547,420</b>
竹	1,136,300
おから	129,250
アラビアゴム	196,504
飼料用枝葉	316,184
サトウキビ	69,300
はちみつ	88,308
ビッグカーニバル	2,398
ヤマモモ	487,872
シラカシ	2,801,700
ニレ	327,360
エノキ	89,760
トウネズミモチ	741,840
シェービングマット	40,260
その他	120,384
合計	<b>61,770,946</b>

## 5 開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度	昭和26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	
<b>合計</b>	<b>275,000</b>	<b>284,188</b>	<b>578,233</b>	<b>468,780</b>	<b>507,843</b>	<b>705,236</b>	<b>573,760</b>	<b>531,531</b>	<b>556,097</b>	<b>640,096</b>	<b>688,255</b>	
入園者数	有料入園者数		219,188	466,233	362,780	407,843	536,236	423,760	439,531	442,097	493,096	529,255
	大人（人）	-	122,380	274,943	224,403	242,340	336,159	273,826	263,292	265,384	305,228	360,919
	中人（人）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	小人（人）	-	96,808	191,290	138,377	165,503	200,077	149,934	176,239	176,713	187,868	168,336
	無料入園者数	275,000	65,000	112,000	106,000	100,000	169,000	150,000	92,000	114,000	147,000	159,000
札幌市の人口 (各年10月1日現在)	399,984	411,350	435,662	459,632	487,391	500,238	522,126	546,053	570,082	615,628	623,046	
備考				第1回 世界動物 博覧会		神武景気	第2回 世界動物 博覧会	北海道博 覧会			開園10年 記念事業	
入園料	大人（円）		普通20 団体16			普通30 団体24		普通40 団体32				
	中人（円）											
	小人（円）		普通10 団体8					普通15 団体12				
	備考		27年7月31日より有料 大人（12歳以上） 小人（11歳以下）				大人（12歳以上） 小人（4歳以上11歳以下）					
経常費 決算	収入 (千円)	1,229	3,848	7,241	7,498	10,583	14,567	15,968	15,750	16,029	18,265	21,602
	入園料 (千円)		3,294	7,123	5,651	8,472	11,483	12,518	12,424	12,517	14,162	15,997
	遊覧料 (千円)	1,229	503		1,517	1,823	2,712	2,736	2,606	2,770	3,347	4,756
	駐車場 台数											
	駐車場 料(千円)											
	寄付金											
	その他		51	118	330	288	372	714	720	742	756	849
	支出 (千円)	1,713	4,921	6,780	8,744	8,697	10,868	13,490	13,887	15,371	10,960	11,817
臨時費支出 (千円)	5,724	1,360	5,966	6,880	3,988	7,405	12,690	28,473	1,994	3,568	6,716	

## 5 開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	
<b>合計</b>	<b>827,762</b>	<b>878,060</b>	<b>899,421</b>	<b>1,082,286</b>	<b>865,381</b>	<b>836,960</b>	<b>943,871</b>	<b>841,125</b>	<b>916,433</b>	<b>852,408</b>	<b>912,379</b>	
入園者数	有料入園者数	604,762	629,060	634,421	806,286	664,381	620,960	680,871	612,125	674,433	619,408	662,844
	大人（人）	430,216	460,321	471,391	583,927	453,983	438,835	495,054	441,166	480,099	446,866	478,499
	中人（人）	-	-	-	-	62,431	60,097	59,709	53,427	62,375	55,678	58,030
	小人（人）	174,546	168,739	163,030	222,359	147,967	122,028	126,108	117,532	131,959	116,864	126,315
	無料入園者数	223,000	249,000	265,000	276,000	201,000	216,000	263,000	229,000	242,000	233,000	249,535
札幌市の人口 （各年10月1日現在）	658,938	710,172	758,125	821,217	844,319	881,408	919,366	957,377	1,010,123	1,033,829	1,079,278	
備考				開園15年 記念事業	冬期開園 熱帯動物 館完成				開園20年 記念事業	駐車場 開設		
入園料	大人（円）	普通40 団体32			普通80 団体65			普通100 団体80				
	中人（円）	普通50 団体40										
	小人（円）	普通15 団体12			普通20 団体15							
	備考	昭和36年4月1日より 小学生未満無料			大人（高校生以上） 中人（中学生） 小人（小学生）							
経常費 決算	収入 （千円）	25,554	27,404	31,106	36,135	59,352	56,517	60,526	77,204	85,167	85,580	101,898
	入園料 （千円）	18,726	19,803	20,161	25,455	40,724	38,919	43,323	47,452	52,004	48,119	51,461
	遊覧料 （千円）	5,845	6,464	8,703	9,651	16,239	15,110	14,727	25,140	29,366	28,770	32,501
	駐車場 駐車台数										24,231	72,821
	駐車料 （千円）										3,615	11,321
	寄付金			1,000		20		1,000	3,463	2,650	2,050	3,300
	その他	983	1,137	1,242	1,029	2,369	2,488	1,476	1,149	1,147	3,026	3,315
	支出 （千円）	15,569	19,080	19,080	26,779	35,977	35,977	45,560	47,457	57,058	65,413	79,631
	臨時費支出 （千円）	5,885	9,815	14,919	11,176	70,029	21,526	11,974	19,000	44,874	98,041	9,921

## 5 開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58		
<b>合計</b>	<b>1,120,654</b>	<b>1,247,395</b>	<b>1,158,339</b>	<b>1,090,381</b>	<b>998,781</b>	<b>1,004,161</b>	<b>1,005,557</b>	<b>917,992</b>	<b>880,732</b>	<b>917,699</b>	<b>875,151</b>		
入園者数	有料入園者数	495,976	552,125	528,455	502,012	455,699	456,484	455,027	414,816	390,242	415,058	393,264	
	大人（人）	495,976	552,125	528,455	502,012	455,699	456,484	455,027	414,816	390,242	415,058	393,264	
	中人（人）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料											
	小人（人）												
無料入園者数	624,678	695,270	629,884	588,369	543,082	547,677	550,530	503,176	490,490	502,641	481,887		
札幌市の人口 （各年10月1日現在）	1,130,828	1,201,408	1,240,617	1,276,547	1,307,686	1,336,207	1,371,108	1,401,758	1,463,723	1,467,000	1,552,108		
備考	オイルショック	熱帯植物館完成	開園25年記念事業		類人猿館完成	猛きん舎 白鳥舎完成	動物病理研究室 完成・世界のクマ館完成	開園30年記念事業	オオカミ放養場完成	サル山完成	洋蘭温室完成		
入園料	大人（円）	普通100 団体 80		普通300 団体250				普通400 団体350					
	中人（円）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料											
	小人（円）												
	備考												
決算	収入 （千円）	収入	108,290	122,196	126,331	251,784	238,283	241,818	263,641	290,631	276,390	310,202	303,281
		入園料 （千円）	48,671	54,204	51,792	148,242	134,579	134,799	134,291	163,916	154,268	164,311	155,530
	遊覧料 （千円）	遊覧料	38,297	41,714	47,288	55,844	55,226	57,476	78,292	59,953	53,307	66,604	79,405
		駐車台数	82,639	98,594	102,176	91,710	92,670	96,421	99,613	87,993	90,413	105,756	93,037
	駐車場 駐車料 （千円）	駐車料	12,868	20,022	20,586	37,312	37,673	39,178	40,414	53,810	55,265	64,357	58,992
		寄付金	4,950	2,052	1,750	2,350	2,450	2,450	2,700	2,400	2,700	2,700	2,400
	その他	3,504	4,204	4,915	8,036	8,355	7,915	7,944	10,552	10,850	12,230	6,954	
	支出 （千円）	98,431	146,891	176,411	197,260	221,958	229,932	266,674	327,116	346,638	373,077	377,949	
	臨時費支出 （千円）	258,730	47,946	48,314	24,207	153,390	82,979	332,487	276,140	173,501	185,215	109,999	

## 5 開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度	59	60	61	62	63	平成元年	2	3	4	5	6	
<b>合 計</b>	<b>792,500</b>	<b>845,243</b>	<b>829,186</b>	<b>808,350</b>	<b>840,978</b>	<b>883,993</b>	<b>879,417</b>	<b>964,459</b>	<b>795,546</b>	<b>773,704</b>	<b>655,757</b>	
入園者数	有料入園者数	353,510	375,719	360,428	353,362	367,620	388,323	383,152	414,881	347,731	341,349	289,753
	大人（人）	353,510	375,719	360,428	353,362	367,620	388,323	383,152	414,881	347,731	341,349	289,753
	中人（人）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
	小人（人）											
無料入園者数	438,990	469,524	468,758	454,988	473,358	495,670	496,265	549,578	447,815	432,355	366,004	
札幌市の人口 (各年10月1日現在)	1,519,764	1,542,979	1,567,724	1,594,914	1,621,148	1,648,508	1,660,819	1,696,056	1,716,624	1,731,670	1,744,806	
備考	モンキーハウス完成	開園35年記念事業	総合水鳥舎改築			タスマニア館完成	開園40年記念事業こども動物園拡張・動物科学館新築		レストハウス完成		熱帯鳥類館新築西門第一駐車場改築	
入園料	大人（円）	普通500 団体450							普通600 団体540			
	中人（円）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
	小人（円）											
	備考											
経常費 決算	収入 (千円)	343,312	354,528	334,924	442,141	365,963	381,134	375,049	405,290	408,181	397,454	271,727
	入園料 (千円)	175,153	186,314	178,877	175,231	182,483	192,830	190,042	206,047	206,907	203,259	172,486
	遊覧料 (千円)	101,929	100,918	93,220	100,326	107,739	107,457	102,477	109,856	106,642	100,984	33,285
	駐車台数	92,178	95,751	86,242	97,282	106,549	114,392	116,903	128,476	114,739	112,034	73,367
	駐車料 (千円)	56,007	58,159	52,384	59,040	64,555	69,203	70,627	77,584	80,909	79,028	51,539
	寄付金	1,700	1,600	1,300	1,400	1,400	1,400	1,400				
	その他	8,523	7,537	9,143	8,862	9,786	10,244	10,503	11,803	13,723	14,183	14,417
	支出 (千円)	396,986	408,972	407,585	401,299	394,797	429,175	458,298	501,151	507,939	544,562	515,121
臨時費支出 (千円)	210,333	138,000	190,350	103,295	39,189	362,619	775,949	154,500	270,484	274,986	821,437	



## 5 開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度		平成7年	8	9	10	11	12	13	14	15	16	
入園者数	合計	918,222	805,546	731,885	725,298	590,331	557,721	573,741	550,803	515,319	499,762	
	有料入園者数	400,327	348,100	315,462	307,655	273,111	287,102	302,619	285,281	267,917	237,206	
	大人（人）	400,327	348,100	315,462	307,655	273,111	287,102	302,619	285,281	267,917	237,206	
	中人（人）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
	小人（人）											
無料入園者数	517,895	457,446	416,423	417,643	317,220	270,619	271,122	265,522	247,402	262,556		
札幌市の人口 (各年10月1日現在)		1,774,344	1,790,886	1,792,218	1,799,861	1,811,421	1,822,368	1,833,531	1,846,035	1,859,035	1,874,109	
備考		遊園地 キッドラ ンド完成		動物園 センター 完成			開園50年 記念事 業・チパン ジ-館 完成・ 総入園者 4,000万人		フクロウ とタカの 森完成	リスザル ドーム 完成		
入園料	大人（円）	一般600 団体540										
	中人（円）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
	小人（円）											
	備考											
決算		収入（千円）	261,013	230,802	213,955	209,073	188,360	196,561	206,013	195,167	183,517	166,609
経常費	入園料	238,576	207,277	187,752	183,250	162,563	170,983	180,447	170,118	159,614	141,297	
	遊覧料											
	寄付金											
	その他	22,437	23,525	26,203	25,823	25,797	25,578	25,566	25,049	23,903	25,312	
		支出（千円）	518,195	510,977	539,229	528,424	512,031	506,860	491,254	497,462	480,593	482,080
		臨時費支出 （千円）	102,036	58,571	930,085	237,436	194,954	351,846	141,592	115,083	224,465	147,732
駐車場 会計	収入（千円）	88,971	88,024	84,109	78,595	75,034	82,094	83,030	79,560	76,239	69,864	
	駐車台数 （台）	126,315	125,002	120,479	111,602	106,568	116,620	118,000	113,043	108,311	99,271	
	駐車料 （千円）	88,971	88,024	84,109	78,595	75,034	82,094	83,030	79,560	76,239	69,864	
	支出（千円）	73,859	80,176	81,184	119,314	119,647	119,850	118,938	118,409	117,318	115,363	

## 5 開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26		
入園者数	合計	490,914	611,521	609,614	700,558	923,503	832,419	791,754	748,321	959,431	871,280	
	有料入園者数	235,533	302,878	303,557	365,266	529,977	424,162	429,119	374,731	494,647	451,555	
	大人（人）	235,533	302,878	303,557	365,266	529,977	424,162	429,119	374,731	494,647	451,555	
	中人（人）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
	小人（人）											
無料入園者数	255,381	308,643	306,057	335,292	393,526	408,257	362,635	373,590	464,784	419,725		
札幌市の人口 (各年10月1日現在)	1,880,875	1,888,687	1,894,344	1,898,473	1,904,278	1,914,434	1,922,824	1,928,776	1,936,189	1,942,648		
備考	年間パスポート発売				エゾヒグマ館完成	新は虫類・両生類館完成 キッドランド閉鎖	開園60年記念事業	わくわくアジアゾーン完成	遊具広場「まるっば」オープン	平成12～17年度の入園者数については、平成18年4～9月の入園者実数調査に基づき、有料、無料の比率を再計算して平成18年度版より修正値を掲載している。		
入園料	大人（円）	一般600 団体540										
	年間パスポート	1,000										
	中人（円）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料										
	小人（円）											
	備考											
決算	経常費	収入（千円）	158,531	192,565	205,391	238,052	346,544	260,304	245,002	235,024	300,462	270,133
		入園料	134,894	163,002	167,028	191,258	274,493	214,254	213,890	192,335	252,143	229,135
		遊覧料										
		寄付金			8,513	10,432	35,724	15,934	12,882	21,708	28,692	11,877
		その他	23,637	29,563	29,850	36,362	36,327	30,116	18,230	20,981	19,627	29,121
	支出（千円）	471,166	478,531	476,729	442,439	473,403	463,451	456,480	463,591	473,689	464,538	
	臨時費支出（千円）	344,391	20,891	263,160	160,735	388,115	725,887	544,847	1,406,542	186,361	1,625,573	
	駐車場会計	収入（千円）	71,880	85,037	85,835	98,224	149,188	106,869	104,107	103,419	127,520	132,764
		駐車台数（台）	102,205	120,805	121,953	139,623	171,535	151,944	148,032	147,759	182,145	166,344
		駐車料（千円）	71,880	85,037	85,835	98,224	120,904	106,869	104,107	103,419	127,520	116,764
支出（千円）		111,551	103,935	103,935	103,935	132,219	100,535	100,563	100,563	118,265	132,470	

## 5 開園以来年度別決算表（入園者及び入園料）

年度	27	28	29	30	令和元年	2年	3年	4年			
入園者数	合計	981,119	791,024	813,047	1,009,685	1,021,282	506,596	369,194	737,444		
	有料入園者数	536,751	433,826	449,610	580,975	582,987	289,434	210,890	435,957		
	大人（人）	536,751	433,826	449,610	580,975	582,987	284,039	206,137	421,604		
	高校生（人）	-	-	-	-	-	5,395	4,753	14,353		
	中人（人）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料									
	小人（人）										
	無料入園者数	444,368	357,198	363,437	428,710	438,295	217,162	158,304	301,487		
札幌市の人口 (各年10月1日現在)	1,953,784	1,958,405	1,962,918	1,965,940	1,970,052	1,961,682	1,973,331	1,973,011			
備考		アフリカゾウ全面オープン	ホッキョクグマ館オープン	アジアゾウ4頭来園、ゾウ舎オープン	バイオ発酵処理施設竣工	新型コロナウイルス感染症拡大防止による休園（81日間）	新型コロナウイルス感染症拡大防止による休園（101日間）	札幌市動物園条例制定			
入園料	大人（円）	一般 600 団体 540					一般 800 団体 720 高校生 400				
	年間パスポート	1,000					2,000				
	中人（円）	昭和48年4月1日より 中学生以下無料									
	小人（円）										
	備考										
決算	経常費	収入（千円）	302,060	260,019	266,391	338,454	345,094	220,007	184,408	355,073	
		入園料	267,568	223,603	237,030	304,891	310,099	193,671	153,397	323,696	
		遊覧料									
		寄付金	13,239	15,636	6,664	8,245	14,161	7,876	5,388	11,033	
		その他	21,253	20,780	22,697	25,318	20,834	18,460	25,623	20,344	
	支出（千円）	573,289	500,629	526,857	591,303	649,952	604,687	608,439	651,179		
	臨時費支出 （千円）	789,606	417,061	2,476,290	2,788,200	407,144	78,295	123,193	382,596		
	駐車場会計	収入（千円）	600,743	152,359	138,748	162,769	167,970	102,987	297,486	140,591	
		駐車台数 （台）	175,739	169,444	173,876	206,797	207,344	121,951	95,046	161,241	
		駐車料 （千円）	123,137	119,095	112,290	145,370	146,176	85,629	66,794	121,702	
支出（千円）		589,419	152,359	131,494	123,869	136,191	126,943	297,486	140,591		

## VI 保全活動・教育活動・その他の取組

### 1 保全活動

#### (1) オオワシプログラム

円山動物園にとってオオワシは、開園当初から飼育していた動物の一つであるとともに、日本の動物園として初めて飼育下繁殖に成功するなどシンボリックな動物です。そのオオワシは北海道に越冬のため飛来しますが、生息数は現在約 5,000 羽といわれ、絶滅が危惧されています。円山動物園では関係機関と連携した飼育下繁殖個体を用いた野生復帰技術の確立や、講演会等による取組の情報発信を行っています。

ロシア情勢の影響を受け繁殖地であるロシアでの放鳥が困難となる中、オオワシの渡りに関する知見を集積できる取組を、関係機関とともに検討を行っています。

#### 【令和4年度の取組】

- ・オンライン会議3回、関係機関との会議及び現地視察1回

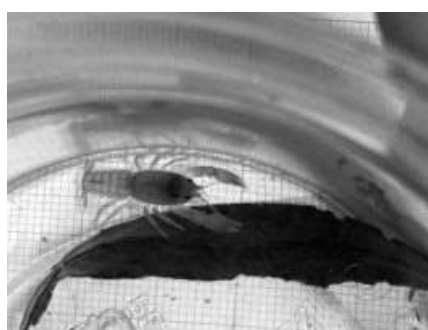


#### (2) ニホンザリガニプロジェクト

冷たくきれいな水に棲むニホンザリガニは、近年生息環境の悪化や外来生物による影響などにより生息数の減少が懸念されています。円山動物園では飼育下で繁殖させる技術の確立に向けた調査研究を進めるとともに、市内の生息状況調査や、来園者への普及啓発を行っています。

#### 【令和4年度の取組】

- ・捕獲個体の飼育展示及び飼育下個体の繁殖
- ・動物園の森での試験放流に向けた環境調査の実施
- ・札幌市内のウチダザリガニ防除活動へボランティアとして参画  
(6月豊平川・簾舞川、8月厚別川)
- ・ニホンザリガニ円山会議の開催  
(3月12日開催、参加者：ワークショップ約100名、講演約30名)



### (3) トガリネズミ調査

札幌にも生息し身近な存在でありながら、生態についてほとんど知られていないトガリネズミを飼育することで、生態に関する基礎的知見を集積しています。円山動物園では、令和3年度に世界初となるヒメトガリネズミの出産事例を確認しています。

#### 【令和4年度の取組】

- ・飼育下繁殖技術確立に向けた、飼育下生まれのヒメトガリネズミ同士によるペアリングの実施
- ・北海道内での生息調査を実施  
(6月22日～25日：札幌市、7月28日～8月1日：根室市)
- ・北海道大学と協力して北大総合博物館にてトガリネズミ展を開催  
(開催期間：11月29日～12月25日、公開セミナーでの講演：12月18日「トガリネズミの飼育下“初”繁殖！」(講演者：飯島なつみ))



### (4) 天売島海鳥調査

天売島での海鳥調査に参加するとともに、漁業での混獲や外来生物、気候変動など海鳥に大きな影響を与えている問題について特別展を開催して市民への情報発信を行いました。

#### 【令和4年度の取組】

- ・天売島における海鳥の生態調査、外来種であるドブネズミ調査の実施(7月15日～18日、10月24日～25日、各職員1名が参加)
- ・海鳥展等による情報発信(7月2日～31日、テーマ「海鳥と外来種の問題」、期間中の7月18日(月)には海鳥展講演会を実施)



## (5) 春国岱エゾシカ調査

関係機関と連携してエゾシカによる植生被害の実態を把握するために、令和2年、根室市春国岱においてGPS機能付き首輪型カメラをエゾシカに装着しました。そこで得た知見をエゾシカ・オオカミ舎2階に掲示するとともに、エゾシカによる植生被害を木の枝で組んだ植生柵で防ぐことができるか、エゾシカ放飼場に実際に植生柵を設置して効果を検証しています。

### 【令和4年度の取組】

- ・エゾシカ放飼場に植生柵を設置（9月16日）
- ・植生柵内にハマナスを植樹（10月18日）
- ・春国岱エゾシカ対策に係る関係者情報交換会にてこれまでの春国岱における活動と展示場内の植生柵について報告（11月7日）



## (6) コウモリ調査

北海道ではあまりなじみのないコウモリですが、実は20種類のコウモリの生息が確認されています。活動時間が夜でしかも飛翔しているため、生態の多くの部分が分かっておらず、保全に必要となる情報が不足しています。円山動物園では平成23年より市民団体と共同で、円山地区及び札幌市のコウモリの調査を開始しました。現在まで札幌市内で初確認となる種も含め11種のコウモリの生息を確認し、飼育や繁殖にも取り組んでいます。

### 【令和4年度の取組】

- ・円山地区で確認されたクロオオアブラコウモリのねぐら利用状況調査（175回）
- ・捕獲個体の飼育展示
- ・北大植物園でのコウモリ観察会の実施（8月5日）



## 2 教育活動

### (1) ガイド・講座等

- ア 園内ガイド（ゾウ舎ツアー、飼料庫ガイド、動物病院ガイド等）
- イ 園内講座、出前講座
- ウ 講演会
- エ 教材提供等

【ア園内ガイド、イ講座 令和4年度実績】※複数プログラムに参加している団体あり

種別	件数	人数 (名)	ゾウ舎ツアー	飼料庫ガイド	動物園の見どころ	動物園の役割	飼育員のお仕事	獣医のお仕事	ホンキョクグマ	ゾウ	ボランティアガイド	インタビュアー
幼児	2	26	-	-	-	-	-	-	-	-	13	13
小学校	79	4,656	196	198	1,096	207	763	1,208	187	311	-	676
中学校	40	2,513	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高校	7	121	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
大学・ 専門学校	6	203	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	16	400	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	150	7,919	196	198	1,096	207	763	1,208	187	311	13	690

### (2) 飼育担当者等によるガイド

- ア 飼育担当者による動物の解説等（※内容はP26「令和4年度『円山ZOOガイド』」を参照）
- イ ボランティアによるサンデーガイド、森の散策タイム

### (3) 教育イベント

	種別	開催日	参加人数
体験プログラム	こどもの一日飼育係	7月30日～8月1日	29人
	コウモリ観察会	8月5日	20人
	何を食べて大きくなるの？	3月11日、12日	18人
展示・企画	飼育の日特別展示	4月19日～5月15日	838人
	アースデイ	5月21日、22日	9,430人
	ヒツジの日特別展、特別ガイド	6月11日、12日	109人
	海鳥展、講演会	7月1日～31日	673人
	世界チンパンジーの日 パネル展示	7月10日～8月7日	640人
	道みんなの日特別企画展	7月16日～31日	370人
	世界ゾウの日特別ガイド	8月12日	30人
	世界ライオンの日特別展	8月1日～9月4日	1,042人
	国際レッサーパンダデー パネル展示、特別ガイド	9月16日～30日	411人

	世界ユキヒョウの日・中央アジアと日本国交 30 周年イベント 特別展示、特別ガイド、講演会	10 月 22 日～29 日	513 人
	干支展	12 月 1 日～1 月 4 日	359 人
	トークイベント 「人とクマの「いい距離感」」	12 月 18 日	24 人
	ニホンザリガニ円山会議 講演会、参加型プログラム	3 月 21 日	40 人
	幼児・児童動物画コンクール	7 月 15 日～8 月 23 日 ※作品募集期間	633 人
		合 計	15,179 人

#### (4) 教育機関との連携

##### ア 教員セミナー・研修

札幌市教育センター専門研修（1 回、17 人）

##### イ 実習生の受入

博物館実習（1 回、7 人）、飼育実習（2 回、計 6 人）、獣医実習（1 回、2 人）

##### ウ 連携授業

近隣小学校における連携授業の実施(学年ごとにテーマを設定)（計 10 回、3～6 年生）

##### エ 大学教育への協力

大学の獣医学課程における講義（2 回、計 30 人）

#### (5) 発行物による情報発信

##### 【令和 4 年度実績】

媒体名	発行主体	発行回数等
動物園だより	円山動物園	年 4 回発行、113,500 枚/回
道新まなぶん	株式会社北海道新聞社	4 月号、6 月号、7 月号、9 月号、12 月号、1 月号、3 月号に記事を掲載
エコチル	株式会社アドバコム	毎月記事を掲載



## (6) 動物相談受付状況 (電話・来園者)

(R4. 4. 1～R5. 3. 31)

種別	件数	主な動物	相談内容概要
哺乳類	26	キツネ、タヌキ、アライグマ、ネコ、イヌ、リス、シカ、ホッキョクグマ、リスザル、ヒツジ等	○発見時の対応 ○生態 ○保護・引き取りをしてほしい ○追い払う方法 ○保護後の対応 ○飼育方法 ○種類 ○野生動物の持つウイルス・病気について ○ケガ・体調不良の対処法 ○トラブル ○侵入させない方法
鳥類	37	カラス、スズメ、ヒヨドリ、ハヤブサ、アオサギ、ハト、フクロウ、カモ、タンチョウ、シジュウカラ等	○保護後の対応 ○生態 ○保護・引き取りをしてほしい ○野鳥発見時の対応について ○追い払う方法 ○巣をつくった ○種類 ○死体の処理の方法について ○野鳥への餌やりについて ○野鳥の持つウイルス・病気について ○発見した場所の報告
爬虫類	8	ミドリガメ、ヘビ、カナヘビ、レオパードゲッコウ	○ケガ・体調不良の対処法 ○引き取りをしてほしい ○捕らえ方 ○保護した ○引き取り先の紹介 ○発見した場所の報告
両生類	2	ツノガエル、アマガエル	○性転換について ○色について
魚類	0	—	—
無脊椎動物	3	カタツムリ、蛾、ハチ	○寄生虫について ○掃除方法 ○放虫について ○ハチの巣について
当園関連	3	園内の動物	○寒さ対策について ○園内の動物の種類・展示について
その他	6	動物の数え方、足跡、フン	○動物の数え方について ○糞について ○足跡について
合計 85 件			

### 3 調査研究

#### (1) 事例発表

#### ヒメトガリネズミ *Sorex gracillimus* における出産事例 A case study of birth in a shrew *Sorex gracillimus*

○小林木野実<sup>1</sup>・本田直也<sup>1</sup>・飯島なつみ<sup>1</sup>・河合久仁子<sup>2</sup>・大舘智志<sup>3</sup>

(1. 札幌市円山動物園 2. 東海大学生物学部生物学科 3. 北海道大学低温科学研究所)

2021年8月18日から21日の期間に、北海道根室市の海岸砂丘において墜落缶を用いてトガリネズミ類の生体捕獲を行い、ヒメトガリネズミ20頭、チビトガリネズミ *Sorex minutissimus* 2頭、オオアシトガリネズミ *Sorex unguiculatus* 1頭を捕獲した。捕獲後は速やかに札幌市円山動物園に搬入し個別飼育を開始した。個体ごとに体重および摂食量を測定するとともに、飼育施設内の温湿度をデータロガーによって記録した。また、体重測定の結果から妊娠の可能性が高いと判断した個体については、監視カメラを用いて行動を記録した。2021年9月8日にヒメトガリネズミ1頭が6頭の新生仔を出産、2021年9月10日には別のヒメトガリネズミが7頭を出産した。新生仔は体重、頭胴長、尾長を計測し、体毛の有無や開眼などの外部形態や歯の萌出、歩行や発声などの行動を記録した。なお、新生仔の個体識別は行なわなかった。9月8日に誕生した新生仔のうち、12日齢と13日齢で1頭ずつ死亡したが、10月21日(41日齢、43日齢)に独立させるまでに11頭が生存した。本発表では、ヒメトガリネズミの新生仔の成長過程や行動の発達、母親の行動について報告する。本報告はヒメトガリネズミにおける新生仔の成長についての初事例と思われる。

【発表】令和4年8月26日 日本哺乳類学会(口頭発表)

#### (2) 事例発表

#### 持効型インスリン製剤を用いて治療した糖尿病のクロザルの一例

○柿阪 圭太<sup>1</sup>、境 秀文<sup>1</sup>、林 紘太郎<sup>1</sup>、五島 渉<sup>1</sup>、大澤 夏生<sup>1</sup>  
柏渕 幸治<sup>1</sup>、塚田 光司<sup>1</sup>、黒川 明美<sup>1</sup>、植田 薫<sup>1</sup>

(1. 円山動物園・飼育展示課)

【目的】糖尿病はインスリン作用不足により高血糖が持続する状態を指す。I型糖尿病の多くはインスリン製剤の投与が必用とされるが、動物園動物は夜間の観察が困難な場合が多く、伴侶動物と比較してインスリン過剰による夜間低血糖のリスクが高いと考えられる。札幌市円山動物園で飼育するクロザル(*Macaca nigra*)に認められた糖尿病に対して、血糖値の下降が緩やかで夜間低血糖のリスクが低いとされる持効型インスリン製剤を用いて治療を実施したので、その経過を報告する。

【材料及び方法】症例は札幌市円山動物園で飼育する14歳のオスのクロザル、体重約14kg(健常時)で

あった。

〔経過〕 第1病日に、飲水量の増加と視覚異常を疑う行動、旺盛な食欲に反した消瘦を認めた。症状から慢性の消耗性疾患の可能性を考慮し、第4病日に全身麻酔下でスクリーニング検査を実施した。身体検査では、体重8.7kgと著しい消瘦を認めた。また、両目には白内障が認められた。レントゲン検査及び腹部エコー検査では明らかな異常は認められなかった。血液生化学検査では血糖値が326 mg/dlであり、尿検査では尿糖及び尿中ケトン体が陽性であった。スクリーニング検査の結果から糖尿病と診断し、インスリン製剤による治療を開始した。

〔結果〕 第6病日から中間型インスリン製剤（ノボリン）を1IU/head（BID）で投与開始した。第10病日からは持効型インスリン製剤（インスリングラルギン）へと薬剤を変更し、1IU/head/day（SID）より投与を開始した。投与量は、低血糖症状がないことを確認しながら1日ごとに増加させた。投与量を10IU/head/day（SID）まで増加させたところ、第17病日には尿中のケトン体の消失を認めた。インスリン治療に伴う低血糖の予防を目的として2週間に1回の頻度で血糖値曲線を作成し、血糖値が過度に下降した場合は投薬量の見直しを実施した。第18病日以降、持効型インスリン製剤を7IU/head/day（SID）から14IU/head/day（SID）で使用したところ、第1000病日までに重篤な合併症は認められなかった。血糖値曲線の作成に併せて、長期的な治療の指標としてグリコアルブミンを測定したが、血糖値とグリコアルブミンの値には強い相関は認められなかった。

〔考察〕 第1000病日を経過しても糖尿病に続発する糖尿病性ケトアシドーシスや高浸透圧性高血糖症候群や夜間低血糖などの重篤な合併症が認められず、動物園動物の糖尿病治療において持効型インスリン製剤が有用である可能性が示唆された。また、グリコアルブミンと血糖値の強い相関は認められず、投薬量の決定には定期的な血糖値曲線の作成が必要と考えられた。

【発表】 令和4年9月23日 野生動物医学会

### （3）事例発表

## エゾユキウサギ逸走事故に関する報告

○飯島なつみ （札幌市円山動物園）

札幌市円山動物園では、エゾユキウサギ38頭（オス24頭、メス14頭）を飼育している。令和1年、令和4年と逸走事故が発生しているため、事故の経緯とその後の対応について報告する。

令和1年12月に発生した逸走事故（以降事例1と表記）では、鍵の閉め忘れにより、エゾユキウサギ2頭が逸走した。動物はすぐに発見され、その後、職員により全頭捕獲された。動物の外傷はなく元の飼育場所に収容した。事故の原因は、担当職員が扉の鍵がかかっていない状態で南京錠を閉めており、扉が自由に開閉できる状態であった。動物が逸走した扉は、日常的に使用しておらず、二重扉も設置されていなかった。この事故を受けて、扉の施錠の確認を徹底するとともに、逸走の起こった扉は早急に二重扉を設置し、やむを得ない場合を除いて使用しないこととした。

令和4年1月に発生した逸走事故（以降事例2）では、エゾユキウサギが展示場外周のネットを食い

破り、3頭が逸走した。園内を捜索し、2頭は発見されたが、もう1頭は発見に至らなかった。園内に多量の血痕が残っており、周囲にエゾユキウサギと思われる足跡と、キタキツネと思われる足跡があったことから、食害されたとし、事故発生日以降の捜索は中止した。事故の原因は、例年以上に降雪量が多く、平常時より地面のレベルが上がり外周のネットに口が届いてしまったこと、食い破られる可能性のある素材で外周を覆っていたことであると考えられる。この事故を受けて、ネットを亀甲金網とアクリル板で補強した。また、事故を受けて担当者含めた職員で現場検証を行い、他に危険個所がないか、逸走を防止するためにはどのような飼育方法が適切か議論を行った。

事例1、事例2共に、日々の指差し呼称等による施設確認や獣舎点検を行うことで防止できたと考えられる。普段の飼育業務を行いながら、獣舎の点検を行うことで危険を予測し、不具合にも対応できるようにすることが必要である。また、担当者だけが点検を行うのではなく、定期的に複数の職員で点検を行うことで、素早く獣舎内にある危険箇所を発見し、対処できると考えられる。

発生した逸走事故を教訓とし、①日常的な獣舎の点検、②定期的な複数職員での現場点検を実施し、より安全に動物を飼育できる環境を整えていくこととする。

【発表】令和4年9月28日 日本動物園水族館協会関東東北北海道ブロック動物園技術者研究会

#### (4) 事例発表

### シンリンオオカミにおいて継続的な血液検査で高カルシウム血症を確認し 死亡後にCT・MRI検査を実施した1例について

○林 紘太郎, 境 秀文, 高岡 智子, 大野 宏之  
(札幌市円山動物園)

シンリンオオカミ (*Canis lupus lycaon*) 1頭において、2019年7月(当時14歳)から、ハズバンダリートレーニングにより、2週に1回を目途として継続的な採血、血液検査を実施した。肝機能障害および慢性腎不全初期であることが疑われたため、投薬を開始した。

2021年4月以降には、高カルシウム血症が明らかとなり、確認検査で原発性副甲状腺機能亢進症と診断した。無症状で元気食欲は良好であること、副甲状腺摘出手術を行った場合に術後管理が困難であること、継続的な血液検査により血清カルシウムの測定が可能である見込みから、経過観察とした。

本症例は、2022年3月16日に、ふらつき、嘔吐、垂直眼振の中枢性前庭疾患を疑う症状を呈したが、治療に反応し、リハビリのために屋外サブ放飼場に出られるまでに回復した。しかし、4月10日以降は、介助なしの自力での起立が不能となり、徐々に寝たきりとなり、食欲低下および衰弱していき、2022年5月3日に17歳で死亡した。

当園では、シンリンオオカミを、今後の飼育を断念する種としている。本症例は、①園として剥製で保存し、今後の展示・教育に資する意向であること、②継続的な血液検査により病態をほぼ把握できていること、③北海道大学獣医学部で死亡後のCT・MRI検査を実施していただける予定であることを鑑みて、剖検は実施しないことを生前に決定していた。

北海道大学獣医学部における死亡後の CT 検査では、左副甲状腺の腫大が確認され、原発性副甲状腺機能亢進症であることを裏付けた。MRI 検査では、複数個所の腰椎椎間板ヘルニアが確認され、ふらつきや起立不能の原因が明らかとなった。また、左大脳出血が確認されたが、垂直眼振との関連は不明であった。その他、死因とは無関係と思われる噴門平滑筋腫および死後変化と思われる中耳鼓室胞の液体貯留が確認された。

本症例から、①ハズバンダリートレーニングの実施を考慮した獣舎設計と施工の重要性、②継続的な血液検査の重要性、③治療・療養状況の広報の重要性が明らかとなった。

【発表】令和 4 年 9 月 28 日 日本動物園水族館教育関東東北北海道ブロック動物園技術者研究会

#### (5) 事例発表

### アジアゾウの飼料としての樹木の活用について

○野村友美, 吉田淳一, 小林真也, 吉田翔悟, 鎌田祐奈,  
相田佑樹, 沖野絵美, 篠原零士 (札幌市円山動物園)

札幌市円山動物園では、2018 年 11 月にミャンマーより 4 頭のゾウを導入し飼育している。当園ではゾウの来園当初より、森林の間伐材の購入、市内の街路樹や植物園の剪定枝の寄付、電力会社の剪定枝の寄付、園内の剪定枝の利用、他の動物の食べ残しの利用などにより 1 年を通して樹木を給餌している。樹木を与えた日は与えなかった日と比較して採食時間が増加しており、樹木を飼料として与えることは、動物福祉の向上および飼料の質の向上において有用であると考えられる。これまでにゾウに与えた樹木の種数はニレ類、ブナ類、カエデ類などを主として計 45 種となったが、樹種によって嗜好性に大きな差があった。この嗜好性の差は他園で飼育されているゾウおよび当園で飼育する他の草食動物とも異なっていたが、当園の 4 頭のゾウの間ではほとんど差が無かった。そのため、樹種の嗜好性は、ミャンマーにいた当時の食性の影響が大きいのではないかと考えられる。飼料として樹木を活用する上での課題として、計画的な樹木の確保や食べ残した枝の処理方法が挙げられる。当園では、ゾウの餌となる樹木は、森林の間伐材を購入しているものの、多くを剪定枝の寄付に頼っているため、年間を通じて安定して樹木を確保することは困難であった。そこで、樹木を計画的に確保する取組の一つとして、近隣で里山事業に取り組む NPO 団体と協力し、森で枝を拾いゾウの餌として寄付し、ゾウの糞から作った堆肥での野菜栽培を体験できるイベントを開催した。また、食べ残した枝については、以前は廃棄処分としていたが、2021 年から焚き木や薪などの燃料として市民に使用してもらう取組を実施し、好評を得ている。今後も、このような取組を通してゾウの動物福祉の向上と環境保全に係る普及啓発の推進を図っていく。

【発表】令和 4 年 9 月 28 日 日本動物園水族館協会関東東北北海道ブロック動物園技術者研究会

## (6) 事例発表

### 円山動物園における海鳥保全の取り組みについて

○今井菜摘, 高岡智子 (札幌市円山動物園)

円山動物園では令和 2 年度より北海道苫前郡にある天売島において、海鳥の保全活動に取り組んでいる。天売島は羽幌港から 30 km 西に位置し約 300 人が暮らす有人島である。島の西岸では 5 月から 7 月にかけて 8 種約 100 万羽の海鳥が繁殖する。中でもウミガラスは国内で天売島のみで繁殖しており、ウトウに関しては世界最大の繁殖地でもある。

海鳥は現在、気候変動による餌資源の不足、漁業による混獲、外来種による捕食など多くの問題に直面しており、天売島で繁殖している海鳥も例外ではない。現在天売島では人間活動により島に持ち込まれた外来種であるドブネズミが海鳥に及ぼす影響が懸念されている。

このような状況であるにも関わらず、天売島や海鳥に対する道民の関心は低いのが現状である。天売島の海鳥の保全において動物園に期待される事は調査の人手や傷病個体の引き受け、域外保全など多岐にわたるが、まずは多く来園者に天売島の存在や海鳥が置かれている現状、保全活動について伝える必要があるため、令和 2 年度から企画展「海鳥展」を開催し、来場者に向けたアンケートを実施している。

企画展では海鳥が直面している問題をピックアップして、それぞれの問題に対して自分たちにできることを最後に伝える形式とした。パネルの他に海鳥の剥製や骨格標本、天売島の模型、繁殖地の模型などを使用し、開催期間中には講演会とガイドも行った。

過去 3 回行ったアンケートでは海鳥について全く知らなかった、ほとんど知らなかったという回答が 70%~80% であり、海鳥の認知度の低さを改めて再確認した。自由記載欄では展示における模型や剥製の有用性や、さらなる知識欲が感じられる記載、行動変容に関するものも多く、今後も企画展「海鳥展」を継続して行うとともに、地域との連携を深め天売島の海鳥保全に貢献していきたい。

【発表】令和 4 年 10 月 4 日 日本動物園水族館協会北海道地区飼育技術者研究会

## (7) 発表

### 雄ゾウの往復歩行の減少と繁殖を目的とした雌雄の夜間同居について

○吉田翔悟, 小林真也, 野村友美, 鎌田祐奈, 相田佑樹,  
沖野絵美, 篠原零士 (札幌市円山動物園)

札幌市円山動物園では、2018 年 11 月にミャンマーから 4 頭のゾウを導入し飼育している。屋内放飼場で単独飼育していたシーシュ（雄、2008 出生）に、2021 年 2 月ころから夜間に放飼場内を 8 字状に往復歩行する異常行動が確認されるようになった。シーシュにおいては、2020 年 10 月ころから側頭腺の分泌量が増加し、2021 年 1 月には精漿中に活動精子を確認しており、シーシュの精子形成が開始され性成熟したことが異常行動の一因と推察された。そこで往復歩行の減少と繁殖を目的に雌雄の夜間同居を実施

したのでその結果について報告する。同居は、シーシュと以前から終日同居が可能であったパール（雌、2003 出生）で実施し、シーシュの単独飼育と雌雄同居飼育において、各 5 日間ずつ夜間の行動（探査、採食、横臥睡眠、静止、排泄、異常行動、繁殖行動、社会行動、遊び、身繕い行動、移動、警戒行動）をビデオカメラで録画し 5 分間毎の瞬間サンプリング法によって記録したのち、その行動割合について比較した。異常行動については単独飼育で 32.6%であったが雌雄同居では 1 度も確認されなかった。採食については単独飼育で 13.2%であったが雌雄同居では 28.8%に増加した。雌雄同居では、社会行動と繁殖行動がそれぞれ 5.0%、2.4%出現し、交尾行動も確認された。また、2021 年 3 月 20 日からシーシュとパールの終日同居を開始し、毎月交尾行動が確認されていた。2022 年 10 月にはエコー検査により胎児が確認されパールの妊娠が判明した。以上のことから、夜間を通して雌雄同居を行うことで、異常行動の減少、行動レパートリーの多様化、繁殖の実現につながると考えられる。現在はシーシュと残りの雌 2 頭との 3 頭同居訓練を実施し、2 頭の繁殖に取り組んでいる。

【発表】令和 4 年 12 月 5 日 ゾウ会議

#### （8）事例発表

##### シロテテナガザルの人工哺育と家族群への復帰までの取り組み

○李 泳齊，菊池晏那，本田直也，朝倉卓也，小菅正夫  
（札幌市円山動物園）

シロテテナガザルの国内飼育下個体群における遺伝的多様性の確保を目的とし、個体群の中で繁殖優先度の最も高いペアのひとつとなるラーチャ（雌、2020 年に市川市動植物園より移動）とコタロー（雄、2004 年生）の繁殖に取り組んだ。ラーチャは 2015 年までに 6 度妊娠し 4 仔を出産したが、全て 94 日齢以前に死亡している。血統の希少性とラーチャの由来（2003 年保護個体）や経産歴、年齢が推定 20 才を越えることを勘案し、産仔については家族群への早期の復帰を前提とした人工哺育の実施も選択肢とした。2020 年 10 月 16 日よりペアの同居を開始し、2021 年 7 月 4 日に雌 1 頭が産まれた。生後 11 日齢で仔に重度の衰弱が認められ人工哺育へ切り替えた。不要な刷り込みを避けるため、仔には円筒状の枕を抱かせオムツは使用しなかった。保護時、体重は 372 g で脱水と削瘦が見られたが、皮下補液と人工乳の授乳により回復し、保護 7 日目より両親との檻越しの面会を開始した。面会は両親の母性行動と親仔の関係性の維持を目的とし、1 日 1 回、開園前の約 10 分間、家族群への復帰まで 141 日間継続した。52 日齢で離乳食を開始し、61 日齢で哺育器による終日の哺育から日中はケージ（49×64×H73 cm）での哺育へ移行した。120 日齢で終日ケージにて過ごすこととし、144 日齢で両親のいる獣舎内にケージを移し相互が常時視認できるようにした。この時点で、仔は固形物を自ら摂餌し、檻越しの授乳も可能となっていた。仔の発育状態、親仔相互の関係性ともに良好と判断し、157 日齢で飼育員が仔を抱いて放飼場内に入り両親と会わせ、仔は家族群へ復帰した。復帰時体重は 1289 g であった。復帰後 10 日目（166 日齢）で母仔が離れた時間は、活動した 11 時間のうち 58 分間で、仔は母にすがり母が仔を守る姿が継続的に観察された。父も仔を抱く様子が見られる中、順調に成育し 450 日齢をもって飼育員による檻越しの授乳を終了

した。

【発表】令和5年1月19日 動物園技術者研究会（口頭発表）

（9）事例発表

モルモットを用いたふれあい事業について

○飯島なつみ，大久保梨奈，川本京花，坪松耕太  
（札幌市円山動物園）

円山動物園では、以前よりモルモットとのふれあいを通して動物への愛情を育むとともに、動物への興味、関心を引き出すことで命の大切さを伝えることを目的として、園内で「モルモットのふれあい教室」を実施してきた。新型コロナウイルス感染症の影響でしばらくの間中止していたが、今年度、新たなプログラムとして再開するとともに、教育機関と連携した新たなふれあい事業を試験的に実施したので、概要と結果、今後に向けた課題について報告する。

再開した「モルモットのふれあい教室」では、これまで実施していたモルモットの触り方や生態の説明に加え、触る前に外見を観察する時間を新たに設けた。実際に直接触る時間は約5分間であるが、モルモットへの理解をより一層深めるため、観察時及びふれあい時に参加者から出た意見・感想をホワイトボードに書き込み、最後に振り返りを行った。参加者へのアンケートの結果では、ほとんどの回答者から、内容について「満足した」との回答が得られ、理解度についても「わかりやすかった」が9割以上を占めた。今後の課題として、モルモットへの負担に配慮しながら、より多くの来園者に体験してもらうための手法の確立が挙げられる。

試験的に実施した取組は、動物園のモルモットを小学校に2週間程度貸し出し、飼育を体験してもらう貸出事業とモルモット小学校に連れて行く出張授業である。

貸出事業では、モデル校として市内の小学校4校を選定し、7月から10月に実施した。教員からは、児童が熱心にモルモットを観察している姿が見られたことや、児童の間で活発なコミュニケーションが生まれた等、普段の学校生活では見られなかった様子が確認できた、との報告を受けた。今後の課題としては、実施校の選定及び拡大方法や貸出用モルモットの個体数の確保が挙げられる。

出張授業では、モルモットとはどのような動物か、想像で絵を描いてもらい、その後スライドで解説を行い、最後に1人1分程度ふれあいを実施し、再びモルモットのイラストを描いてもらった。ふれあいの時間は短かったが、イラストを描いた後にモルモットを観察することで、形態のより細かい部分まで観察できたように感じた。小学校から要望があり、試験的に実施したので今年度は1回しか実施できなかった。今後、実施数を増やすための手法の検討が課題である。

【発表】令和5年1月20日 日本動物園水族館教育研究会



(10) ポスター発表

# ボルネオオランウータン

## 繁殖における飼育管理方法の確立に向けた取り組み

— 動物福祉向上に向けた飼育管理における総合的な取り組みの一環として

○ 李 泳齊<sup>1)</sup>, 片岡雅人<sup>1)</sup>, 本田直也<sup>1)</sup>, 吉田淳一<sup>1)</sup>, 境 秀文<sup>1)</sup>, 林祐太郎<sup>1)</sup>, 中村千晶<sup>2)</sup>  
 (1) 札幌市円山動物園, (2) 日本歯科大学生命歯学部病理学講座)

### 目的と背景

オランウータンは、その寿命が野生においては40～50年、飼育下では多摩動物公園の“ジブシー”が世界最長齢となる62才まで生きるなど、とても長生きな動物である。寿命が長く、知能の高い彼らを動物園で飼育するうえで、不可欠なスタンスとして、いま私たちがあらためて考えていることは「種として」「個として」「個として、彼らの「生きる」を尊重する」「オランウータン」という動物について、ケアを通して見つめなおし、再構築する

#### Purpose

出産間隔が5年～8年と長く国内飼育個体数が30頭と少ない中、乳幼児期の死亡率が高いままでは個体群を維持できない。

**繁殖仔の生存率向上**  
→ 母体と胎児、産仔の健康管理とモニタリングの実施

**繁殖における飼育管理方法の確立**

- 栄養
- 健康
- ストレスコントロール
- 適切なペアリング
- 産仔のケア

動物福祉の向上へ

#### Back ground

**ヒトと同等程度の健康管理を目指す**

札幌市円山動物園では、母・レンポーと父・弟雄郎の間に2016年に生まれたハルト(第2仔・雄)が生後8か月で死亡(5枚結腸輪転診察)したことを機に、飼育管理全般の抜本的な質の向上に取り組みできた。

**国内で産まれたボルネオオランウータンの6才までの死亡率が4割超(2000年以降)**

→ 2000年以降に産まれた19頭中8頭が、母親と共に過ごす時期(幼児期)の6歳までに死亡しており、死亡率は42.1%。一方、7歳まで生まれた全個体が生存中。  
 ※ 記録の残る日本国内産まれた全ボルネオオランウータン33頭のうち、25歳までに死亡している個体(1997年産まれまで)は18頭で死亡率は54.5%。

### 実施方法

#### Method

**使用器具**

○ 2017年12月より将来的な健診を想定した体位形成等のトレーニングを開始

妊娠中毒症を疑う(第二仔ハルトの死の要因の可能性)  
 → 母・レンポーのボディコンディションの改善  
 → 飼料の改善 (AZAオランウータンSSP飼育マニュアル2017に準拠)  
 → ストレス軽減 → 繁殖コントロールの効率的実施・検査の運用工夫

**健康管理へのステップ**  
 質的評価と量的評価の総合による取り組み

- 1 日常の飼育管理の見直し  
→ 精神的安定、食餌の満足/チェックリストを飼育全体を通して実施
- 2 繁殖計画作成(非侵襲的手法を前提に)  
→ 繁殖までの育ち・産後後の母体の健康診断・胎児のモニタリング  
→ トレーニングの徹底化
- 3 実践  
→ 個体を複数回モニターしながら日々の観察とケア、繁殖の管理へ

#### 実践

レンポーの月経周期(29～31日)から排卵日を予測し、それに合わせて7日間雄と同居、予選排卵日の17日後に採尿し、HCG検査により受胎を確認。

検査項目	排卵日	排卵後1週間	排卵後2週間	排卵後3週間	排卵後4週間	排卵後5週間
HCG検査	+	+	+	+	+	+
超音波検査	+	+	+	+	+	+

妊娠期間中は妊娠中毒症に留意して、体重増加を極力抑えることに、定期的に体重、体温、心拍数の測定と尿検査を実施。同時に、腹部超音波検査による胎児のモニタリングを行い、生存確認と成長を記録。

### 結果と考察

#### Result

- 1 出産 2020年2月3日 午前5時22分 雄 レイト  
月経後胎齢 254日(妊娠36週2日)
- 2 体重 妊娠前 56.9kg  
→ 出産前 62.8kg(妊娠35週3日) **+5.9kg**
- 3 心拍数 平常時 84回/分(平均) 最大 104回/分(妊娠20～23週+6か月)
- 4 超音波検査  
妊娠初期に「胎芽」の描出に成功 妊娠30週目まで記録

胎児の成長曲線(出生後2日)の体重・心拍数の変化

#### 6 繁殖仔

レンポーに仔を提示してもらい、生後2日時から体温・心拍数の測定と身体計測を実施し、27日齢でビタミンDの経口投与を開始しました。

項目	出生時	出生後2日
体重	102g	125g
体温	36.5℃	37.5℃
心拍数	100回/分	110回/分
呼吸数	20回/分	25回/分
血中酸素飽和度	95%	98%

レイトの身体測定(生後2日)の様子

#### Consideration

妊娠期の母体の体重増加を6kg以内に抑えることができたことは、繁殖の成功に大きく寄与したと考える。至極感に精神に精神的ストレスがかかるものと考え、飼料の選定や環境エンリッチメント、毎日の口腔内ブラッシングなど飼育全般を通じて軽減に努めた。

**母体の心身の健康が繁殖仔の健康に直結することを確認するに至った。**

#### 課題と今後

一胎児の成長曲線の作成には至らず

- ・新施設での安定的でより正確な情報収集
- ・N数の確保と情報共有

⇒ 繁殖における飼育管理方法の確立へ

## (11) その他研究活動一覧

共同先／協力先	テーマ・内容
1 弘前大学大学院生命科学研究科分子細胞遺伝学研究室 教授 黒尾 正樹	日本のトビの遺伝的構造の解明及び大陸東部のトビとの遺伝的差異の解明
2 北海道大学大学院理学研究院生物科学部門 教授 高木 昌興	フクロウ Ural Owl のデュエットにおける雌による雄の音声模倣の可能性
3 北海学園大学工学部生命工学科 教授 早矢仕 有子	猛禽類ペリットのDNA分析による種判別手法の確立
4 麻布大学獣医学部動物応用科学科 准教授 山本 誉士	動物装着型データロガーを用いた、アジアゾウの出産前後の行動変化および夏季屋外と冬季室内での行動差異に関する研究
5 酪農学園大学獣医学群獣医保健看護学類動物生命科学ユニット 教授 林 英明	アジアゾウの糞中プロジェステロン調査
6 北海道大学大学院獣医学研究院・獣医学部 助教 中尾 亮 (寄生虫学教室) 北海道大学人獣共通感染症国際共同研究所 講師 松野 啓太	アジアゾウ ( <i>Elephas asiaticus</i> ) の保有微生物叢 (EEHVを含む) の調査研究
7 北海道大学大学院獣医学研究院 獣医学部環境獣医学分野毒性学教室 准教授 中山 翔太	アジアゾウ ( <i>Elephas asiaticus</i> ) の保有微生物叢の調査研究
8 酪農学園大学獣医学群獣医保健看護学類 教授 郡山 尚紀	アジアゾウのバイオマーカーに関する研究
9 北海道情報大学情報メディア学部情報メディア学科 教授 柿並 義宏	アジアゾウ ( <i>Elephas asiaticus</i> ) の超低周波音の解析
10 北海道大学情報科学研究院情報理工学部門複合情報工学分野 教授 山本 雅人	AIによる動物の行動分析
11 特定非営利活動法人EnVision環境保全事務所	北海道の生物多様性保全活動に関する共同研究
12 地方独立行政法人北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部エネルギー・環境・地質研究所自然環境部 綱本 良啓	温帯・亜寒帯地域における大型動物の種子散布機能の評価
13 北海道大学低温科学研究所 助教 大舘 智志 東海大学生物学部生物学科 教授 河合 久仁子 鳥取大学農学部共同獣医学科基礎獣医学講座獣医生化学教育研究分野 教授 佐藤 陽子	トガリネズミ類に関する共同研究
14 国立研究開発法人森林研究・整備機構森林総合研究所東北支所 動物生態遺伝チーム長 大西 尚樹	クマ類におけるY 染色体マイクロサテライトDNA マーカーの開発
15 北海道教育大学芸術・スポーツ文化学科美術文化専攻 メディア・タイムアートコース メディアコンテンツ研究室 准教授 三浦 啓子	地域小学校における動物園を活用した環境教育プログラムの作成
16 酪農学園大学獣医学群獣医保健看護学類動物生命科学ユニット 教授 林 英明	スンダスローリス ( <i>Nycticebus coucang</i> ) の糞中ストレスホルモンを用いた照明変更に関するストレス値の測定について

共同先／協力先		テーマ・内容
17	酪農学園大学獣医学群獣医保健看護学類動物生命科学ユニット 教授 林 英明	囊中ストレスホルモンを用いた動物の移動に関するストレス値の測定について
18	岐阜大学応用生物科学部 動物繁殖学研究室 教授 楠田 哲士	スンダスローリス(Nycticebus coucang)の囊中性ホルモンを用いた妊娠判定及び性周期の特定について
19	北海道大学大学院獣医学研究院・獣医学部 助教 柳川 洋二郎 (繁殖学教室)	アジアゾウの血中ホルモン測定に関する共同研究
20	北海道大学総合博物館 教授 小林 快次	動物の糞の大きさと体のサイズの相関性の調査
21	札幌市立大学デザイン学部 教授 若林 尚樹	体験プログラムにおける工作キットの開発
22	北海道大学大学院獣医学研究院・獣医学部 助教 中尾 亮 (寄生虫学教室)	円山動物園地下駐車場におけるコウモリの遺伝子等の解析

## 4 園運営における環境配慮の取組み

### (1) 札幌市次世代エネルギーパーク（再生可能エネルギー等の活用及び普及啓発）

- ・次世代エネルギーパークは、「太陽光や風力発電などの新エネルギーを積極的に導入し、市民が新エネルギーを見て触れて理解できる施設」として、経済産業省資源エネルギー庁が認定しているもの。円山動物園では導入計画が平成 20 年に認定され、平成 23 年にオープンしました。
- ・園内では、太陽光発電、ペレットボイラー、太陽熱温風暖房、雪冷熱システム、燃料電池（天然ガス）など多様な再生可能エネルギー設備を導入しています。
- ・動物科学館では普及啓発のための説明看板や体験型展示物などを設置し、来園者への普及啓発を行っています。

### (2) バイオ発酵処理設備

- ・園内で排出される動物の糞に細菌を混ぜ、密閉型の横型サイロで攪拌し、空気を供給することで好気発酵を促し、短期間（約 2 週間）で高品質な堆肥を作ることができます。
- ・高温発酵により含水率を低減させるため、堆肥重量は投入重量の約 4 割となります。
- ・園内には、動物の糞の処理量が、100kg/日×2 台、500kg/日×2 台のバイオ発酵処理設備が設置されています。

### (3) ゾウ糞の堆肥化

- ・ゾウ舎裏のバイオ発酵処理施設においては、ゾウの糞のみで堆肥化しています。
- ・ゾウの糞からできた堆肥については、市内小学校等の関係者に配付し、環境教育教材として活用。関係業者等からは、堆肥で育てた花や野菜の寄付を得るなど、循環型の取組みを進めています。
- ・ゾウの糞でできた堆肥については、ふるさと納税の返礼品として活用するとともに、当園の応援団体であるさっぽろ円山動物園サポートクラブにも提供し、寄附の返礼品として活用されています。

### (4) 廃棄プラスチック削減宣言

- ・園内の各売店・食堂の事業者と連携して、令和元年 11 月に「廃棄プラスチック削減宣言」を行っています。
- ・宣言に基づいて、各売店・食堂で使用するプラスチック類の削減を推進しています。
- ・各売店・食堂から一定期間ごとにプラスチック使用量の報告を受け、共有することでさらなる取組みを促しています。

### (5) 園内の植樹

- ・令和 3 年 3 月に円山動物園みどりの基本方針及び円山動物園みどりの取扱指針を策定し、園路や各ゾーンの景観等に合わせた樹木・草花の管理を行っています。
- ・札幌トヨペット株式会社や各ライオンズクラブ等の様々な団体から、多くの樹木・草花の寄贈を受け、園路や屋外放飼場に多くの植栽を行っています。

## 5 その他の取組

### (1) 円山動物園ガイドボランティア

#### (ア) 動物解説ボランティア

当園では平成10年4月より動物解説ボランティア制度を導入しており、園内を4班で担当し、ポイントガイド及び園内を1周するツアーガイド等を行っています。(R5年4月現在)

登録人数	66名 (内訳) ふれあい班：15名 (こども動物園、カンガルー館、フクロウとタカの森、猛禽舎) ワイルド班：16名 (サル山、アジアゾーン、アフリカゾーン) やせい班：18名 (類人猿館、は虫類・両生類館、熱帯鳥類館、総合水鳥舎) クマチカ班：17名 (モンキーハウス、チンパンジー館、エゾシカ・オオカミ舎、エゾヒグマ館、ホッキョクグマ館)
主な活動内容	ポイントガイド、ツアーガイド、 ボランティア独自企画事業(ボランティアの日、チリモン観察会など)、ニュースレター発行(年4回)
募集年度	平成10、12、15、17、18、19、21、24、26、28、29、30、令和元、令和2、令和4年度

#### (イ) 動物園の森ボランティア

平成21年4月から、動物園の森ボランティア制度を導入しており、森の散策ガイドや管理作業を行っています。(R5年4月現在)

登録人数	52名 (内訳) 動物園の森のみ
主な活動内容	散策ガイド土日祝木、通常1日2回実施 季節ごとに外来植物を駆除 生き物情報の記録、写真撮影など
募集年度	平成21、23、24、26、27、29、30、令和2、令和4年度

## (2) さっぽろ円山動物園サポートクラブ

平成 27 年度から、わがまちの動物園をより良く継続していこうという思いを共有していくために、企業等と市民が円山動物園を支援する団体を設立し、下記のとおり、当該団体が実施主体となる新たな動物園支援制度「さっぽろ円山動物園サポートクラブ」の運営を開始しました。

基本理念	動物個体ではなく、わがまちの動物園を企業と市民が一体になって支援（寄付）する制度
団体名称	さっぽろ円山動物園サポートクラブ
組織形態	円山動物園を応援する企業等が会員として上記団体の運営資金の支援、事業計画・予算等を定め、当園が事務局を担う実行委員会組織としている。
制度運営開始日	平成 27 年 4 月 1 日
市民からの寄付金募集の取扱い	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 募集は円山動物園内動物園センターの自動販売機、総合案内窓口または口座振込で行う。</li> <li>2. 寄付金（1 口 500 円）を受領し、領収書として動物カードを交付する。</li> <li>3. 寄付者は「サポーター」となり、希望者には、動物の近況や寄付の状況、その他イベント情報を提供するメールマガジンを送付する。なお、有効期間は、カード交付日の翌年同月末日までとする。</li> <li>4. その他、サポートクラブが指定する日に、サポーター限定でグッズの贈呈など、動物園のイベントに関連した特典を設ける。</li> </ol>
令和 4 年度の寄付額	3,927,500 円
寄付金の使途	動物舎の環境整備など、動物エンリッチメントの向上となる使い道を予め指定して寄付を募る。

【これまでの取組の概要】

回数	項目	目標金額	寄付金募集期間	完了
第1回	チンパンジー館屋内放飼場遊具(ボルダリング)	60万円	H27.4.1～ H27.4.30	H27.7 公開
第2回	エゾシカ・オオカミ舎 オオカミ外放飼場への植樹	130万円	H27.5.1～ H28.7.31	H29.3 公開
第3・4回	モンキーハウス等のモンキーへの 遊具設置	20万円 10万円× 2か所	H28.8.1～ H28.10.19	H29.6 公開
第5回	リスザルなどのモンキーたちのア スレチック用ロープの増設	30万円	H28.10.20～ H29.6.7	H29.9 公開
第6回	アジアゾーン熱帯雨林館 テナガザルが遊べるロープの設置	21万円	募金契約差額 で設置	H30.9 公開
第7回	アジアゾーン熱帯雨林館 マレーグマ外放飼場日除けネット	48万円	H31.4.1～R1.5.30	R1.9 公開
	カンガルー館内モモイロインコ・カ ンムリシロムク展示場緑化	30万円	H31.4.1～R1.12.27	R2.1 公開
第8回	アムールトラ専用体重計	61万円	R1.10.1～ R2.2.15	R1.10 公開
第9回	ユキヒョウ専用体重計	61万円		R2.7 公開
第10回	モンキーハウス日除け設置	11万円	募金契約差額 で設置	R2.7 公開
第11回	ホッキョクグマ館アザラシプール 日除け設置	110万円	募金契約差額 で設置	R2.8 公開
第12回	エゾユキウサギ子ども動物園放飼 場改修	36万円	団体寄付等により 実施	R2.9 公開
第13回	ホッキョクグマ「ララ」放飼場段差	52万円	R2.10.15～R2.10.20	R2.11 公開
第14回	ライオン・ブチハイエナ専用体重計	60万円	R2.11.1～R2.11.26	R2.12 公開
第15回	キリン屋外のエサ台高所設置	50万円	R2.12.12～R3.1.15 (団体寄付金を含む)	R3.4 公開
第16回	ホッキョクグマ「ララ」放飼場段差 改修第2弾・第3弾	100万円	R3.3.24～R3.4.7	R3.4 公開
第17回	大型動物用おもちゃ	100万円	R3.6.17～R3.10.12	R4.4 公開
第18回	シロテナガザル・シシオザル・ア カハナグマのロープ購入	15万円	R4.6.11～R4.7.21	R4.7 公開
第19回	レッサーパンダ屋内放飼場改修	200万円	R4.7.25～R4.3.15	R4.6 公開

## VII 飼育動物

### 1 希少動物（CITES附属書I）・天然記念物

R5. 4. 1  
 (●：国指定天然記念物)

動物名	点数	動物名	点数	動物名	点数
哺乳綱 16種 46点		マレーグマ	1	爬虫綱 10種 33点	
アジアゾウ	4	シセンレッサーパンダ	4	ガビアルモドキ	4
スンダスローロリス	7	コツメカワウソ	2	ヨウスコウワニ	2
ワオキツネザル	1	ユキヒョウ	2	サイイグアナ	4
エリマキキツネザル	1	鳥綱 6種 34点		クモノスガメ	1
マンドリル	2	カンムリシロムク	2	ハウシャガメ	3
ダイアナモンキー	3	フンボルトペンギン	16	ハミルトンガメ	2
テナガザル	1	●オオワシ(CITES II)	9	ラオスモエギハコガメ	10
シロテテナガザル	3	●オジロワシ(CITES I)	1	インドホシガメ	1
シシオザル	3	●タンチョウ	1	インドセタカガメ	1
チンパンジー	9	●シマフクロウ	5	チュウゴクワニトカゲ	5
ボルネオオランウータン	2				
ヒマラヤグマ	1				

注) ワシントン条約：動植物の絶滅を回避し、生物多様性を保全するため、1973年にアメリカのワシントンにおいて締結された条約。「絶滅のおそれのある野生動植物種の国際取引に関する条約(=CITES)」。附属書に載せられている動物は、国際的な取引に関して厳重な規制が行われています。日本は1980年にこの条約を批准しました。

### 2 長年飼育動物一覧表

(R5. 4. 1)

動物名	愛称	性別	年齢	飼育年数	備考
チンパンジー	ガチャ	♀	52歳以上	52年	昭和45年8月3日入園
カバ	ドン	♂	53歳	51年	昭和46年11月12日入園
カバ	ザン	♀	47歳	47年	昭和50年7月16日生
オオワシ		♀	50歳以上	50年	昭和48年2月8日入園
テナガザル	タロウ	♂	38歳	38年	昭和59年7月5日生
ゼニガタアザラシ	ジージー	♀	33歳	33年	平成元年4月16日生



### 3 主な動物愛称一覧表

(R5.4.1)

動物名	愛称	性別	備考		動物名	愛称	性別	備考	
オオカンガルー	わかば	♂	2011.12.20	生	ユキヒョウ	アクバル	♂	2005.6.7	生
	さくら	♀	2011.11.6	生		シジム	♀	2010.5.16	生
	さくまる	♂	2016.1.14	生	アムールトラ	トート	♂	2021.2.17	生
	キク	♀	2017.9.2	生	サーバルキャット	エン	♀	2015.4.3	生
	ジュリ	♀	2017.9.21	生	アジアゾウ	パール	♀	2003.9.12	生
	アンズ	♀	2019.2.23	生		シュティン	♀	1991.4.28	生
エミリー	♀	2019.3.13	生	ニヤイン		♀	2013.5.12	生	
エリマキキツネザル	ナッツ	♀	1999.5.22	生	シーシュ	♂	2008.8.4	生	
ワオキツネザル	アサギ	♀	2007.8.14	生	エランド	オペル	♀	2012.7.31	生
スندگانローリス	さら	♀	2016.6.26	生	シセンレッサーパンダ	ココ	♀	2006.6.24	生
	さおり	♀	2018.2.5	生		セイタ	♂	2005.6.23	生
	あい	♀	2016.6.25	生		エイタ	♂	2010.7.3	生
	かおり	♀	2017.6.22	生		小百合	♀	2016.7.13	生
	れいわ	♂	2019.5.11	生	シエトランドポニー	サトシ	♂	2005.3.29	入
	エイコ	♀	2007.9.12	入		シズマ	♀	2005.3.29	入
ナロ	♂	2021.6.14	入	ミヨコ		♀	2005.3.29	入	
ダイアナモンキー	はかた	♀	1997.4.12	生	シズタロウ	♂	2011.1.23	生	
	ラビ	♀	2010.5.16	生	みかん	♀	2011.12.3	生	
	クロワ	♀	2011.6.10	生	アズキ	♀	2017.4.10	生	
ブラッサグエノン	梅里(ぱいり)	♂	2005.9.17	生	ゴマフアザラシ	ギン	♂	2018.2.16	入
	ヒデミ	♀	2011.4.15	生	真白(ましろ)	♀	2016.3.20	生	
ドグエラヒヒ	アヌビス	♂	1998.2.6	生	ゼニガタアザラシ	ジージー	♀	1989.4.16	生
シシオザル	リーフ	♂	1994.7.24	生	ブチハイエナ	カミ	♂	2009.9.3	生
	ナミエ	♀	1997.12.13	生	カバ	ドン	♂	1969.7.15	生
	イージロウ	♂	2013.7.16	生		ザン	♀	1975.7.16	生
マンドリル	しずか	♀	2002.6.23	生	アメリカビーバー	タンポポ	♀	2000.6.14	生
	ニード	♂	2008.8.5	生	エゾモモンガ	しょうゆ	♂	2017.4.17	生
シロテテナガザル	コタロー	♂	2004.10.26	生	エゾシカ	芽(メイ)	♀	2008.4.3	入
	ラーチャ	♀	2020.10.14	入		恩(メグム)	♂	2008.7.12	生
	ローラ	♀	2021.7.4	生		アマンダ	♀	2010.6.6	生
クロザル	アサギ	♂	2005.5.25	生		コマチ	♀	2011.7.20	生
テナガザル	タロウ	♂	1984.7.5	生	ジュリ	♀	2022.4.28	生	
チンパンジー	ガチャ	♀	1970.8.3	入	シンリンオオカミ	カエデ	♀	2022.4.28	生
	チャコ	♀	1980.3.8	生	アカハナグマ	ホセ	♂	2013.6.25	入
	ジェーン	♀	1984.3.17	入		ボニータ	♀	2012.5.8	生
	スージー	♀	1984.3.17	入	ベロニカ	♀	2012.6.13	生	
	テス	♀	2005.9.4	生	シロフクロウ	アンナ	♀	2011.6.14	生
	レディ	♀	2006.2.26	生	トビ	ビリー	♀	2004.5.3	生
	ハル	♀	2008.3.17	生		デューク	♂	2006.11.25	入
	アッキー	♂	2008.10.29	生	ヨウスコウワニ	ヨウヨウ	♂	1994.12.1	入
ココキ	♀	2011.11.18	生	スウスウ	♀	1994.12.1	入		
ボルネオオランウータン	レンボー	♀	1998.10.07	生	アライグマ	チャロ	♀	2022.6.12	入
	レイト(令斗)	♂	2020.2.3	生	タンチョウ	十兵衛(じゅうべえ)	♂	1998.7.1	生
コツメカワウソ	イヨカン	♀	2010.9.26	生	シナガチョウ	ジェット	♂	2012.5.11	生
	サン	♂	2011.7.25	生	ミーアキャット	ゆうひ	♀	2014.4.21	生
エゾヒグマ	とわ	♀	2008.1.14	生		マメ	♀	2017.7.6	生
	大	♂	2011.1.17	生		モチ	♂	2017.7.6	生
ヒマラヤグマ	トモ	♀	1998.1.13	生		ひなた	♀	2017.9.30	生
マレーグマ	ウメキチ	♂	2009.10.11	生		かなた	♀	2017.9.30	生
ホッキョクグマ	デナリ	♂	1993.11.9	生		きらり	♂	2017.9.30	生
	ララ	♀	1994.11.20	生	あかり	♂	2017.9.30	生	
	リラ	♀	2014.12.21	生	エゾタヌキ	りく	♂	2021.3.30	入
	ホクト	♂	2000.12.8	生		ゆき	♀	2021.3.30	入
キリン	テンスケ	♂	2016.7.29	生					
	ユリカ	♀	2018.7.12	生					
グラントシマウマ	DJ	♂	2009.12.28	生					
	チョコビミミ	♀	2015.3.14	生					

※「入」は生年月日が不明の個体の入園日

#### 4 繁殖表彰受賞動物一覧表

動物名	繁殖年月日	数	性別	繁殖区分	受賞年
ダイアナモンキー	S42. 1. 5	1	♂	自然	S43
カオジロガン	S50. 7. 21	1		人工	S51
クロクモザル	S50. 12. 20	1	♀	自然	S52
アフリカタテガミヤマアラシ	S52. 9. 2	2	♂	自然	S53
ミズオオトカゲ	S55. 10. 24	8		自然	S57
マレーバク	S59. 5. 5	1	♂	人工	S60
オオセグロカモメ	S59. 7. 24	1		人工	S60
ウミネコ	S60. 6. 28	2		人工	S61
ドグエラヒヒ	S61. 5. 5	1	♂	人工	S62
ユキヒョウ	S62. 4. 27	2	♂ 1 ♀ 1	自然	S63
ブラッサグエノン	S62. 6. 7	1	♀	人工	S63
タスマニアデビル	S63. 7. 21	2	♂ 1 ♀ 1	自然	H1
アメリカワシミミズク	H1. 4. 23	2		自然	H2
ペルシアヒョウ	H1. 6. 19	3	♂ 1 ♀ 2	自然	H2
イヌワシ	H2. 4. 18	1	♂	自然	H3
アオガン	H2. 7. 5	2		人工	H3
アカハラヤブワラビー	H2. 12. 5	1	♀	自然	H4
コディアックグマ	H4. 1. 26	1	♂	人工	H5
オオワシ	H5. 3. 6	2	♂ 1 ♀ 1	自然	H6
サトウチョウ	H9. 6. 15	1	♀	自然	H10
ヨウスコウワニ	H13. 7. 9	3	♂ 2 ♀ 1	人工	H14
モモイロインコ	H14. 4. 1	1		自然	H15
カンボジアモエギハコガメ	H16. 6. 26	1		人工	H17
アオホソオオトカゲ	H24. 12. 16	1		人工	H26
スペングラーヤマガメ	H24. 7. 16	2		人工	H26
モウドクフキヤガエル	H24. 3. 1	20		自然	H27
エゾアカガエル	H27. 3. 3	多数		自然	H28
ムオヒラセガメ	H27. 10. 21	5		人工	H29
アメリカドクトカゲ	H29. 11. 25	1		人工	R2
ミヤコカナヘビ	H29. 12. 26	1		人工	R3

#### 5 令和4年度主要繁殖動物

種類	動物名	繁殖頭数	完全成育数	繁殖区分	出生日等・備考
哺乳類	エゾユキウサギ	5	5	自然	5/15、5/17
	エゾリス	2	0	自然	7/4、7/6
	テンジクネズミ	2	2	自然	4/23
	ヒメトガリネズミ	12	0	自然	7/2、8/16
鳥類	ベニイロフラミンゴ	1	1	自然	9/14
	セイキムクドリ	1	1	自然	7/31
	シマフクロウ	2	2	自然	4/13、4/15

注) 完全成育数：出生日から6ヶ月を経過後も生存している個体数

## 6 令和4年度主要転入動物内訳（出産・孵化を除く）

転入理由	動物名	頭数			備 考
		♂	♀	?	
譲受	アムールトラ	1			旭山動物園（飼育：浜松市動物園）
借入	シセンレッサーパンダ		1		大森山動物園（所有：茶臼山動物園）
借入	ホッキョクグマ	1			旭山動物園（所有：姫路市立動物園）
譲受	シンリンオオカミ		2		平川動物公園
捕獲	アライグマ		1		害獣駆除個体受け入れ

## 7 令和4年度主要転出動物内訳（死亡を除く）

転出理由	動物名	頭数			備 考
		♂	♀	?	
返却	シセンレッサーパンダ		1		大森山動物園 （所有：千葉市動物公園）
交換	アジアアロワナ			3	のいち動物公園

8 剥製等一覧表

(R5. 4. 1)

種類	哺乳類	鳥類	骨格	鞣革	計
数	22	113	30	8	173

綱	目	科	種	綱	目	科	種	綱	目	科	種
哺乳綱	ネズミ目	(リス科)		タカ目	(タカ科)			フクロウ目			ヨタカ 1
		エゾリス 2	オジロワシ 1		(フクロウ科)						
		エゾモモンガ 4	オオワシ 3		オオコノハズク 1						
			オオタカ 2		コノハズク 1						
	トガリネズミ目	(トガリネズミ科)			ツミ 2	シロフクロウ 2					
		トウキョウトガリネズミ 1	ハイタカ 2		エゾフクロウ 2	コミミズク 1					
	ネコ目	(イタチ科)			クマタカ 1	ワシミミズク 1					
		ミンク 2	ハヤブサ目		(ハヤブサ科)	アオバズク 2					
		イタチ 3			チョウゲンボウ 1	トラフズク 1					
		キテン 2			ハヤブサ 1	シマフクロウ 1					
		エゾクロテン 1		チゴハヤブサ 1							
		イイズナ 2		ホトトギス目	(ホトトギス科)						
	(ネコ科)	カッコウ 1			スズメ目	(レンジャク科)					
	ベルシャヒョウ 1	ツツドリ 1	キレンジャク 11								
	(クマ科)	ジュウイチ 1	(ヒタキ科)								
	エゾヒグマ 1	キジ目	(キジ科)	キビタキ 1							
	クジラ目		(シカ科)	ギンケイ 1		オオルリ 1					
			エゾシカ 2	エゾライチョウ 1		コルリ 1					
	カンガルー目		(フクロネコ科)	サンケイ 1		ルリビタキ 1					
		タスマニアデビル 1	オナガキジ 1	マミチャジナイ 1							
	鳥綱	カイツブリ目	(カイツブリ科)	インドクジャク 1		マミジロ 1					
			カイツブリ 1	ツル目		(クイナ科)	ツグミ 1				
カンムリカイツブリ 1			クイナ 1		トラツグミ 1						
ミミカイツブリ 1			バン 1		ウグイス 1						
		セイケイ 1	キクイタダキ 3								
コウノトリ目		(サギ科)		ツルクイナ 1	センダイムシクイ 1						
		ヨシゴイ 1	チドリ目	(シギ科)	エゾセンニュウ 1						
		オオヨシゴイ 1		ヤマシギ 2	ヤブサメ 1						
		アマサギ 1		(カモメ科)	ミツエビカモメ 1	(シジュウカラ科)					
		チュウサギ 1		ウミスズメ 1	シジュウカラ 1						
		コサギ 1		コウミスズメ 1	(アトリ科)	マヒワ 1					
		アオサギ 2		ウトウ 1	ギンザンマシコ 1	ウソ 2					
		(フラミンゴ科)			シメ 1	(カラス科)					
		ヨーロッパフラミンゴ 1		ハト目	(ハト科)	ミヤマカケス 1					
		コガタフラミンゴ 1			アオバト 1	カササギ 2					
カモ目		(カモ科)			カンムリバト 1	ブッポウソウ目	(カワセミ科)				
	コブハクチョウ 2	オウム目	(オウム科)		アカショウビン 2						
	ハクガン 1		コバタン 1	カワセミ 1							
	ハシビロガモ 1		ヨウム 1	ヤマセミ 1							
シノリガモ 1	アビ目		(アビ科)	アマツバメ目	(アマツバメ科)						
キツツキ目		(キツツキ科)	シロエリオオハム 1		ハリオアマツバメ 1						
	アリスイ 1	アビ 1	ミズナギドリ目		(ミズナギドリ科)						
エゾアカゲラ 2	ヨタカ目	(ヨタカ科)			ハイロミズナギドリ 1						
(オオハシ科)											
オニオオハシ 1											

綱	目	科	種	綱	目	科	種	綱	目	科	種
<b>骨格標本 (全身骨格)</b>				<b>骨格標本 (頭骨)</b>				<b>ネコ目</b>			
<b>カンガルー目</b>				<b>サル目</b>				(イヌ科)			
(カンガルー科)				(オナガザル科)				ヨーロッパオオカミ 1			
アカカンガルー 1				ニホンザル 1				(アザラシ科)			
<b>サル目</b>				カニクイザル 1				ゼニガタアザラシ 1			
(ショウジョウ科)				マンドリル 1				(シカ科)			
オランウータン 1				<b>ネコ目</b>				エゾシカ 3			
チンパンジー 2				(ネコ科)				トラ 1			
<b>ネコ目</b>				ユキヒョウ 1				(イヌ科)			
(クマ科)				オオカミ 1				(クマ科)			
マレーグマ 1				アメリカクロクマ 1				<b>クジラ目</b>			
(ネコ科)				<b>クジラ目</b>				(キリン科)			
ベルシャヒョウ 1				(キリン科)				マサイキリン 2			
<b>ゾウ目</b>				(ラクダ科)				ラクダ 1			
(ゾウ科)				<b>シカ科</b>				(シカ科)			
アジアゾウ 1				トナカイ 2				エゾシカ 7			
<b>クジラ目</b>				<b>ウサギ目</b>				<b>ウサギ目</b>			
(キリン科)				(ウサギ科)				(ウサギ科)			
マサイキリン 1				エゾユキウサギ 1				<b>ネズミ目</b>			
(シカ科)				<b>ネズミ目</b>				(リス科)			
トナカイ 2				エゾリス 1				エゾモモンガ 1			
<b>ペリカン目</b>				<b>ネズミ目</b>				<b>ネズミ目</b>			
(ペリカン科)				<b>ネズミ目</b>				<b>ネズミ目</b>			
モモイロペリカン 1				<b>ネズミ目</b>				<b>ネズミ目</b>			
<b>ワニ目</b>				<b>ネズミ目</b>				<b>ネズミ目</b>			
(アリゲータ科)				<b>ネズミ目</b>				<b>ネズミ目</b>			
ミシシッピーワニ 1				<b>ネズミ目</b>				<b>ネズミ目</b>			
<b>有鱗目 (ヘビ亜目)</b>				<b>ネズミ目</b>				<b>ネズミ目</b>			
(ボア科)				<b>ネズミ目</b>				<b>ネズミ目</b>			
アミメニシキヘビ 1				<b>ネズミ目</b>				<b>ネズミ目</b>			

### 9 令和4年度野生鳥獣保護一覽表

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

綱	目	動物名	保護数	転帰数				綱	目	動物名	保護数	転帰数				
				自然転帰	継続飼育	飼育委託	死亡					自然転帰	継続飼育	飼育委託	死亡	
<b>哺乳綱</b>								<b>鳥綱</b>								
小計	0目	0種	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
								<b>タカ目</b>								
								ハイタカ								
								1								
<b>小計</b>								<b>小計</b>								
1目 1種								0 0 0 0 1								
<b>合計</b>								<b>合計</b>								
1目 1種								0 0 0 0 1								

## 10 令和4年度主要死亡動物

(R4. 4. 1～R5. 3. 31)

動物名	死亡原因	動物名	死亡原因
シンリンオオカミ	脳疾患	ハミルトンガメ	多臓器不全
ダイアナモンキー	多臓器不全	スペンクラーヤマガメ	肝臓機能不全
ニホンザル	多臓器不全	イヌワシ	骨折
ニホンザル	子宮筋腫	シナワニトカゲ	消化管出血

## 11 令和4年度原因別死亡動物

区 分		哺乳類	鳥類	爬虫類	両生類	魚類	計
飼育動物数	5.3.31 現在数	281	131	273	92	0	777
	年間死亡動物数	40	12	7	4	0	63
死亡動物数	循環器系	3	1	1	0	0	5
	呼吸器系	1	2	0	0	0	3
	消化器系	9	4	5	0	0	18
	泌尿生殖器系	2	1	0	0	0	3
	外 傷	2	1	0	0	0	3
	寄生虫症	0	0	0	0	0	0
	感染症	0	0	0	0	0	0
	神経系	3	0	0	0	0	3
	その他	20	3	1	4	0	28
	計	40	12	7	4	0	63
飼育動物に対する割合 (%)		12.5	8.4	2.5	4.2	0.0	7.5

## 12 主要動物の給餌量と飼料代（1日1頭当たり）

### ◎ユキヒョウ（♂）

飼料	夏	冬
鹿肉	少量	少量
骨なし鶏／骨付き鶏*	0.6kg	1.7kg
金額	¥163	¥389

※週に2回ペース

### ◎エランド

飼料	夏	冬
ルーサン乾草	9.0kg	9.0kg
クローバー	5.0kg	-
粉碎ヘイキューブ	2.5kg	2.5kg
ZCペレット	1.0kg	1.0kg
ビタミン	少量	少量
カルシウム	少量	少量
金額	¥2,065	¥2,034

### ◎カバ（♀）

飼料	夏	冬
2番乾草	-	10.0kg
青草	40.0kg	-
ニンジン	2.0kg	2.0kg
キャベツ	1.0kg	1.0kg
おから	1.0kg	1.0kg
ヘイキューブ	2.0kg	2.0kg
塩・ミネラル・ビタミン	少量	少量
金額	¥5,127	¥1,069

### ◎ダチョウ

飼料	夏	冬
ダチョウペレット	0.5kg	0.5kg
ルーサンペレット	0.9kg	0.9kg
キャベツ	1kg	1kg
小松菜	0.5kg	0.5kg
もやし	4kg	3kg
おから	0.5kg	0.5kg
クローバー	1kg	-
粉碎ヘイキューブ	0.5kg	1kg
ほたて貝殻	不断給餌	不断給餌
金額	¥1,250	¥1,471

### ◎シセンレッサーパンダ

飼料	夏	冬
孟宗竹	2kg	2kg
リンゴ	100g	100g
サツマイモ	少量	少量
ニンジン	少量	少量
リーフイーターペレット	100g	200g
金額	¥2,098	¥2,089

孟宗竹は枝と葉を入れた総重量を記載。実際の採餌部分は葉のみ。

### ◎ホッキョクグマ（♀）

飼料	夏	冬
ペレット（5M6X）	0.8kg	0.2kg
ペレット（オエンタル）	-	0.2kg
馬肉	1.5kg	2.5kg
ホッケ	2.0kg	3.0kg
オオナゴ	1.8kg	1.0kg
ニンジン	0.7kg	0.7kg
果物・アジ・ワカサギ・サンマ・鶏肉*		
金額	¥1,644	¥1,992

※日替わりメニュー、果物はリンゴやブドウなど。魚・鶏肉は0.5kg

### ◎オオカンガルー

飼料	夏	冬
コマツナ	-	0.22kg
ZCペレット	0.18kg	0.18kg
2番乾草（チモシー）	0.67kg	0.67kg
青刈り牧草	0.63kg	-
金額	¥216	¥237

### ◎アジアゾウ

飼料	夏	冬
1番乾草	30.0kg	45.0kg
リンゴ	10.0kg	10.0kg
人参	2.0kg	2.0kg
オレンジ	2.0kg	2.0kg
バナナ	2.0kg	2.0kg
キャベツ	2.0kg	2.0kg
ヘイキューブ	2.0kg	2.0kg
ZFペレット	2.0kg	2.0kg
わら	5.0kg	5.0kg
サツマイモ	1.0kg	1.0kg
青草	15.0kg	-
金額	¥7,322	¥7,292

## Ⅷ 飼育動物一覧表

### 1 総括 ANIMAL INVENTORY

(R4.3.31)

綱 Class	目 Order	種類 Species	点数 Specimens	綱 Class	目 Order	種類 Species	点数 Specimens	
哺乳綱 MAMMALIA	カンガルー目 MARSUPIALIA	1	7		カモ目 ANSERIFORMES	3	8	
	トガリネズミ目 EULIPOTYPHILA	3	19		キジ目 GALLIFORMES	3	7	
	コウモリ目 CHIROPTERA	1	3		ツル目 GRUIFORMES	1	1	
	サル目 PRIMATES	16	94		チドリ目 CHARADRIIFORMES	1	1	
	ネコ目 CARNIVORA	17	38		オウム目 PSITTACIFORMES	2	3	
	ゾウ目 PROBOSCIDEA	1	4		フクロウ目 STRIGIFORMES	5	13	
	ウマ目 PERISSODACTYLA	2	7		キツツキ目 PICIFORMES	1	2	
	クジラ目 ARTIODACTYLA	5	13		スズメ目 PASSERIFORMES	3	6	
	ネズミ目 RODENTIA	8	61		小計		32	123
	ウサギ目 LAGOMORPHA	2	36		爬虫綱 REPTILIA	カメ目 TESTUDINES	15	60
小計		56	282	ワニ目 CROCODYLIA	2	6		
鳥綱 AVES	ダチョウ目 STRUTHIONIFORMES	1	1	有鱗目 SQUAMATA	27	207		
	ペンギン目 SPHENISCIFORMES	1	16	小計		44	273	
	ペリカン目 PELECANIFORMES	1	3	両生綱 AMPHIBIA	サンショウウオ目 CAUDATA	4	17	
	コウノトリ目 CICONIFORMES	4	18	カエル目 ANURA	8	75		
	フラミンゴ目 PHOENICOPTERIFORMES	2	27	小計		12	92	
	タカ目 FALCONIFORMES	7	25	条鰭綱 ACTINOPTERYGII	アロワナ目 OSTEOGLOSSIFORMES	0	0	
小計				小計		0	0	
				総計		144	770	



2 哺乳綱 MAMMALIA

(R4. 4. 1～R5. 3. 31)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目科種	目科種 種 (学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
<b>カンガルー目</b> <b>カンガルー科</b> オオカンガルー	<b>MARSUPIALIA</b> <b>Macropodidae</b> Eastern Gray Kangaroo <i>Macropus giganteus</i>	2 5 0 = 7					2 5 0 = 7
<b>トガリネズミ目</b> <b>トガリネズミ科</b> トウキョウトガリネズミ  オオアシトガリネズミ  ヒメトガリネズミ	<b>EULIPOTYPHLA</b> <b>Soricidae</b> Hawker's least shrew <i>Sorex minutissimus hawkeri</i> Long-clawed shrew <i>Sorex unguiculatus</i> Slender shrew <i>Sorex gracillimus</i>	0 0 0 = 0  0 0 0 = 0  0 0 0 = 0		2 1 2 2 1 1 3	2 1 1 1 1 4 14		0 0 2 = 2  0 0 4 = 4  4 4 5 = 13
<b>コウモリ目</b> <b>ヒナコウモリ科</b> クロオオアブラコウモリ	<b>CHIROPTERA</b> <b>Vespertilionidea</b> Alashanian pipistrelle <i>Hypsugo alaschanicus</i>	0 0 0 = 0		5 3	2 3		3 0 0 = 3
<b>サル目</b> <b>キツネザル科</b> エリマキキツネザル  ワオキツネザル  <b>ロリス科</b> スندダスローロリス  <b>オマキザル科</b> コモリスザル  フサオマキザル  <b>オナガザル科</b> ニホンザル  ダイアナモンキー  ドグエラヒヒ  マンドリル  クロザル  ブラッザグエノン  シシオザル  <b>テナガザル科</b> テナガザル (雑種)  シロテナガザル  <b>ヒト科</b> チンパンジー  ボルネオオランウータン	<b>PRIMATES</b> <b>Lemuridae</b> Ruffed Lemur <i>Varecia variegata</i> Ring-tailed Lemur <i>Lemur catta</i> <b>Lorisidae</b> Greater Slow Loris <i>Nycticebus coucang coucang</i> <b>Cebidae</b> Common Squirrel Monkey <i>Saimiri sciureus</i> Tufted Capuchin <i>Cebus apella</i> <b>Cercopithecoidea</b> <b>Cercopithecidae</b> Japanese Macaque <i>Macaca fuscata</i> Diana Monkey <i>Cercopithecus diana</i> Olive Baboon <i>Papio anubis</i> Mandrill <i>Mandrillus sphinx</i> Celebes Crested Macaque <i>Macaca nigra</i> De Brazza's Monkey <i>Cercopithecus neglectus</i> Lion-tailed Macaque <i>Macaca silenus</i> <b>Hylobatidae</b> Silvery Gibbon <i>Hylobates moloch</i> Lar Gibbon <i>Hylobates lar</i> <b>Pongidae</b> Chimpanzee <i>Pan troglodytes verus</i> Bornean Orangutan <i>Pongo pygmaeus (pygmaeus)</i>	0 1 0 = 1  0 1 0 = 1  2 5 0 = 7  2 11 0 = 13  0 2 0 = 2  23 24 0 = 47  1 3 0 = 4  1 2 0 = 3  1 1 0 = 2  1 0 0 = 1  1 1 0 = 2  2 1 0 = 3  1 0 0 = 1  1 2 0 = 3  1 8 0 = 9  1 1 0 = 2			1  3 2  1		0 1 0 = 1  0 1 0 = 1  2 5 0 = 7  2 10 0 = 12  0 2 0 = 2  20 22 0 = 42  0 3 0 = 3  1 2 0 = 3  1 1 0 = 2  1 0 0 = 1  1 1 0 = 2  2 1 0 = 3  1 0 0 = 1  1 2 0 = 3  1 8 0 = 9  1 1 0 = 2
<b>ネコ目</b> <b>イヌ科</b> エゾタヌキ  シンリンオオカミ  <b>クマ科</b> エゾヒグマ	<b>CARNIVORA</b> <b>Canidae</b> Raccoon Dog <i>Nyctereutes procyonoides albus</i> Eastern Timber Wolf <i>Canis lupus lycaon</i> <b>Ursidae</b> Hokkaido Brown Bear <i>Ursus arctos yesoensis</i>	1 1 0 = 2  1 0 0 = 1  1 1 0 = 2		2 1			1 1 0 = 2  0 2 0 = 2  1 1 0 = 2

和名 JAPANESE NAME	英名 学名 ENGLISH NAME SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目 科 種	目 科 種 種 (学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
<b>ネコ目</b>	<b>CARNIVORA</b>						
<b>クマ科</b> マレーグマ	<b>Ursidae</b> Sun Bear <i>Helarctos malayanus</i>	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
ヒマラヤグマ	Asiatic Black Bear <i>Ursus thibetanus thibetanus</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ホッキョクグマ	Polar Bear <i>Ursus maritimus</i>	1 2 0 = 3		1			2 2 0 = 4
<b>アライグマ科</b> アライグマ	<b>Procyonidae</b> Northern Raccoon <i>Procyon lotor</i>	0 0 0 = 0		1			0 1 0 = 1
アカハナグマ	South American coati <i>Nasua nasua</i>	1 2 0 = 3					1 2 0 = 3
<b>イタチ科</b> コツメカワウソ	<b>Mustelidae</b> Asian Small-clawed otter <i>Aonyx cinerea</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
<b>マンゲース科</b> ミーアキャット	<b>Herpestidae</b> Meerkat <i>Suricata suricatta</i>	4 4 0 = 8			1		3 4 0 = 7
<b>ハイエナ科</b> ブチハイエナ	<b>Hyaenidae</b> Spotted Hyena <i>Crocuta crocuta</i>	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
<b>ネコ科</b> マムールトラ	<b>Felidae</b> Siberian tiger <i>Panthera tigris altaica</i>	0 0 0 = 0		1			1 0 0 = 1
ユキヒョウ	Snow Leopard <i>Uncia uncia</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
サーバルキャット	Serval <i>Leptailurus serval</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
<b>レッサーパンダ科</b> シセンレッサーパンダ	<b>Ailuridae</b> Red Panda <i>Ailurus fulgens styani</i>	2 2 0 = 4		1		1	2 2 0 = 4
<b>アザラシ科</b> ゴマフアザラシ	<b>Phocidae</b> Spotted Seal <i>Phoca largha</i>	1 2 0 = 3					1 2 0 = 3
ゼニガタアザラシ	Habour Seal <i>Phoca vitulina</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
<b>ゾウ目</b>	<b>PROBOSCIDEA</b>						
<b>ゾウ科</b> アジアゾウ	<b>Elephantidae</b> Asian elephant <i>Elephas maximus</i>	1 3 0 = 4					1 3 0 = 4
<b>ウマ目</b>	<b>PERISSODACTYLA</b>						
<b>ウマ科</b> グラントシマウマ	<b>Equidae</b> Grant's Zebra <i>Equus burchelliboehmi</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
シェトランドポニー	Horse(Domestic)Shetland Pony <i>Equus caballus caballus Shetland Pony</i>	2 3 0 = 5					2 3 0 = 5
<b>クジラ目</b>	<b>ARTIODACTYLA</b>						
<b>カバ科</b> カバ	<b>Hippopotamidae</b> Hippopotamus <i>Hippopotamus amphibius</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
<b>シカ科</b> エゾシカ	<b>Cervidae</b> Hokkaido Sika <i>Cervus nippon yesoensis</i>	1 3 0 = 4					1 3 0 = 4
<b>キリン科</b> キリン	<b>Giraffidae</b> Giraffe <i>Giraffa camelopardalis</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
<b>ウシ科</b> ヒツジ (コリデール種)	<b>Bovidae</b> Sheep(Domestic)Corriedale Sheep <i>Ovis aries aries corriedale</i>	0 4 0 = 4					0 4 0 = 4
エランド	Common Eland <i>Taurotragus oryx</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
<b>ネズミ目</b>	<b>RODENTIA</b>						
<b>リス科</b> エゾモモンガ	<b>Sciuridae</b> Russian Flying Squirrel <i>Pteromys volans orii</i>	1 1 0 = 2	2		1		2 1 0 = 3
オグロプレーリードッグ	Black-tailed Prairie Dog <i>Cynomys ludovicianus ludovicianus</i>	4 4 0 = 8			1		4 3 0 = 7
エゾリス	Hokkaido Squirrel <i>Sciurus vulgaris orientis</i>	2 4 0 = 6	2		2		2 4 0 = 6

和名 JAPANESE NAME	英名 学名 ENGLISH NAME SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目科種	目科種種(学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
<b>ネズミ目</b>	<b>RODENTIA</b>						
<b>ビーバー科</b> アメリカビーバー	<b>Castoridae</b> American Beaver <i>Castor canadensis</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
<b>ネズミ科</b> エゾアカネズミ エゾヤチネズミ	<b>Muridae</b> Large Japanese field mouse <i>Apodemus speciosus</i> Grey Red-backed vole <i>Myodes rufocanus</i>	0 0 0 = 0 1 0 0 = 1		2			0 0 2 = 2 1 0 0 = 1
<b>テンジクネズミ科</b> テンジクネズミ (モルモット)	<b>Caviidae</b> Domesticated Guinea Pig <i>Cavia porcellus (Domestic)</i>	10 13 0 = 23	2	3 7	1 3		12 19 0 = 31
<b>デバネズミ科</b> ハダカデバネズミ	<b>Bathyergidae</b> Naked mole rat <i>Heterocephalus glaber</i>	0 0 10 = 10					0 0 10 = 10
<b>ウサギ目</b>	<b>LAGOMORPHA</b>						
<b>ウサギ科</b> カイウサギ (神ノラントドワフ) エゾユキウサギ	<b>Leporidae</b> Rabbit (Domestic) Netherland dwarf rabbit <i>Cryptolagus cuniculus domestic netherland dwarf</i> Mountain Hare <i>Lepus timidus ainu</i>	0 1 0 = 1 22 14 0 = 36	3 2		3 3		0 1 0 = 1 22 13 0 = 35

### 3 鳥綱 AVES

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目 科 種	目 科 種 種 (学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
<b>ダチョウ目</b> <b>ダチョウ科</b> ダチョウ	<b>STRUTHIONIFORMES</b> Struthionidae Common Ostrich <i>Struthio camelus domestic</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
<b>ペンギン目</b> <b>ペンギン科</b> フンボルトペンギン	<b>SPHENISCIFORMES</b> Spheniscidae Humboldt Penguin <i>Spheniscus humboldti</i>	11 3 2 = 16					11 3 2 = 16
<b>ペリカン目</b> <b>ペリカン科</b> モモイロペリカン	<b>PELECANIFORMES</b> Pelicanidae White Pelican <i>Pelecanus onocrotalus</i>	3 0 0 = 3					3 0 0 = 3
<b>コウノトリ目</b> <b>サギ科</b> ゴイサギ  アオサギ	<b>CICONIFORMES</b> Ardeidae Black-crowned Night Heron <i>Nycticorax nycticorax</i> Grey Heron <i>Ardea cinerea</i>	0 0 13 = 13 0 0 2 = 2			1		0 0 12 = 12 0 0 2 = 2
<b>コウノトリ科</b> シュバシコウ	<b>Ciconiidae</b> White Stork <i>Ciconia ciconia</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
<b>トキ科</b> ショウジョウトキ	<b>Threskiornithidae melanocephala</b> Scarlet Ibis <i>Eudocimus ruber</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
<b>フラミンゴ目</b> <b>フラミンゴ科</b> ベニイロフラミンゴ  チリーフラミンゴ	<b>PHOENICOPTERIFORMES</b> Phoenicopteridae American Flamingo <i>Phoenicopterus ruber</i> Chilian Flamingo <i>Phoenicopterus chilensis</i>	3 2 1 = 6 7 9 4 = 20		1			3 2 2 = 7 7 9 4 = 20
<b>ワシタカ目</b> <b>タカ科</b> オオワシ  イヌワシ  オジロワシ  オオタカ  ハイタカ  ノスリ  トビ  ツミ	<b>FALCONIFORMES</b> Accipitridae Steller's Sea Eagle <i>Haliaeetus pelagicus</i> Golden Eagle <i>Aquila chrysaetos</i> White-tailed Sea Eagle <i>Haliaeetus albicilla</i> Northern Goshawk <i>Accipiter gentilis</i> Eurasian Sparrowhawk <i>Accipiter nisus</i> Japanese Buzzard <i>Buteo japonicus</i> Black Kite <i>Milvus migrans</i> Japanese Sparrowhawk <i>Accipiter gularis</i>	4 3 2 = 9 1 0 0 = 1 1 0 0 = 1 1 0 0 = 1 0 1 0 = 1 0 1 0 = 1 5 4 1 = 10 0 0 1 = 1			1		4 3 2 = 9 0 0 0 = 0 1 0 0 = 1 1 0 0 = 1 0 1 0 = 1 0 1 0 = 1 7 4 0 = 11 0 0 1 = 1
<b>カモ目</b> <b>カモ科</b> シナガチョウ  アカツクシガモ  コールダック	<b>ANSERIFORMES</b> Anatidae White Chinese Goose (Domestic) <i>Anser cygnoides domestic white</i> Ruddy Shelduck <i>Tadorna ferruginea</i> Duck(Domestic) <i>Anas platyrhynchos domestic</i>	1 0 0 = 1 0 1 1 = 2 0 0 5 = 5					1 0 0 = 1 0 1 1 = 2 0 0 5 = 5
<b>キジ目</b> <b>キジ科</b> セキショクヤケイ  シロチャボ  オナガドリ  インドクジャク  オヒキ  ショウジョウチャボ	<b>GALLIFORMES</b> Phasianidae Red Jungle fowl <i>Gallus gallus</i> Chabo-white <i>Gallus gallus domestic chabo-white</i> Onagadori <i>Gallus gallus (domestic onagadori)</i> Common Peafowl <i>Pavo cristatus domestic</i> Ohiki <i>Gallus gallus domestic ohiki</i> Chabo-syoujou <i>Gallus gallus domestic chabo-syoujou</i>	0 1 0 = 1 1 1 0 = 2 2 4 0 = 6 0 1 0 = 1 1 1 0 = 2 1 0 0 = 1			1 1 1 1 1		0 0 0 = 0 0 0 0 = 0 1 3 0 = 4 0 1 0 = 1 1 1 0 = 2 0 0 0 = 0

ツル目 ツル科 タンチョウ	GRUIFORMES Gruidae Red-crowned Crane <i>Grus japonensis</i>	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
チドリ目 シギ科 オオジシギ	Charadriiformes Scolopacidae Latham's Snipe <i>Gallinago hardwickii</i>	0 0 2 = 2		2	1	2	0 1 0 = 1
オウム目 オウム科 モモイロインコ	PSITTACIFORMES Cacatuidae Galah <i>Eolophus roseicapilla</i>	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
インコ科 サトウチョウ	Psittacidae Blue-crowned Hanging Parrot <i>Loriculus galgulus</i>	0 0 2 = 2					0 0 2 = 2
フクロウ目 フクロウ科 フクロウ	STRIGIFORMES Strigidae Ural Owl <i>Strix uralensis</i>	1 1 1 = 3		1	1	1	2 0 0 = 2
アメリカワシミミズク	Great Horned Owl <i>Bubo virginianus</i>	0 1 2 = 3					0 1 2 = 3
シロフクロウ	Snowy Owl <i>Bubo scandiacus</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ユーラシアワシミミズク	Eurasian Eagle Owl <i>Bubo bubo</i>	1 0 1 = 2					1 0 1 = 2
シマフクロウ	Blakiston's fish owl <i>Ketupa blakistoni blakistoni</i>	2 1 0 = 3	2				4 1 0 = 5
キツツキ目 オオハシ科 オニオオハシ	PICIFORMES Ramphastidae Toco Toucan <i>Ramphastos toco</i>	0 2 0 = 2					0 2 0 = 2
スズメ目 ホオジロ科 ノドグロコウカンチョウ	PASSERIFORMES Emberizidae Red-capped Cardinal <i>Paroaria gularis gularis</i>	0 0 1 = 1					0 0 1 = 1
ムクドリ科 (ムクドリ亜科) セイキムクドリ	Sturnidae (Sturninae) Greater Blue-eared starling <i>Lamprotornis chalybaeus</i>	0 0 2 = 2		1 1 1		2	1 1 1 = 3
キュウカンチョウ	Common Hill Myna <i>Gracula religiosa</i>	1 0 0 = 1			1		0 0 0 = 0
カンムリシロムク	Bali Myna <i>Leucopsar rothschildi</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2

# 4 爬虫綱 REPTILIA

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目科種	目科種(学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
<b>カメ目</b>	<b>TESTUDINES</b>						
<b>ヘビクビガメ科</b> コウヒロナガクビガメ	<b>Chelidae</b> Broad-shelled turtle <i>Macrochelodina expansa</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
<b>スッポン科</b> ミナミインドハコスッポン	<b>Trionychidae</b> Indian flap-shelled turtle <i>Lissemys punctate punctate</i>	0 0 2 = 2					0 0 2 = 2
<b>ヌマガメ科</b> ジャノメシガメ	<b>Emyidae</b> Beal's-eyed turtle <i>Sacalia bealei</i>	1 4 1 = 6			1		1 4 0 = 5
ヨツメシガメ	<i>Sacalia quadriocellata</i> Keeled Box Turtle	0 0 5 = 5					0 0 5 = 5
ムオヒラセガメ	<i>Cuora mouhotii mouhotii</i> Painted Wood Turtle	1 3 8 = 12					1 3 8 = 12
メキシコアカスジャマガメ	<i>Rhinoclemmys pulcherrima pulcherrima</i> Black-breasted Leaf Turtle	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
スパングラレーヤマガメ	<i>Geoemyda spengleri</i> Spotted pond turtle	2 6 5 = 13			1 1 2		1 5 3 = 9
ハミルトンガメ	<i>geoclemys hamiltonii</i>	0 0 3 = 3			1		0 0 2 = 2
<b>リクガメ科</b> ホウシヤガメ	<b>Testudinidae</b> Radiated Tortoise <i>Astrochelys radiata</i>	0 3 0 = 3					0 3 0 = 3
インドホシガメ	Indian Star Tortoise <i>Geochelone elegans</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
クモノスガメ	Madagascan Spider Tortoise <i>Pyxis arachnoides</i>	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
アルダブラゾウガメ	Aldabra Giant Tortoise <i>Aldabrachelys gigantea</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
<b>イシガメ科</b> テクタセタカガメ	<b>Geoemydidae</b> Indian Roofed Turtle <i>Pangshura tecta</i>	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
ヒラタヤマガメ	Arakan forest turtle <i>Heosemys depressa</i>	0 0 5 = 5					0 0 5 = 5
ラオスモエギハコガメ	Bourret's Box Turtle <i>Cuora galbinifrons bourreti</i>	2 2 7 = 11			2		2 2 5 = 9
<b>ワニ目</b>	<b>CROCODYLIA</b>						
<b>クロコダイル科</b> マレーガビアル	<b>Crocodylidae</b> False Gharial <i>Tomistoma schlegelii</i>	1 3 0 = 4					1 3 0 = 4
<b>アリゲータ科</b> ヨウスコウワニ	<b>Alligatoridae</b> Chinese Alligator <i>Alligator sinensis</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
<b>有鱗目(トカゲ亜目)</b>	<b>SQUAMATA (SAURIA)</b>						
<b>ヤモリ科</b> トッケイヤモリ	<b>Gekkoniidae</b> Tokay Gecko <i>Gekko gekko</i>	0 0 3 = 3			1		0 0 2 = 2
ツギオミカドヤモリ	Rhacodactylus <i>Rhacodactylus leachianus</i>	1 1 0 = 2			1		1 0 0 = 1
ヒョウモントカゲモドキ	Leopard gecko <i>Eublepharis fuscus</i>	0 0 2 = 2					0 0 2 = 2
<b>イグアナ科</b> トゲチャクワラ	<b>Iguanidae</b> Angel Island Chuckwalla <i>Sauromalus hispidus</i>	0 1 1 = 2					0 1 1 = 2
サイイグアナ	Rhinoceros Iguana <i>Cyclura cornuta</i>	1 3 0 = 4					1 3 0 = 4
<b>ヨロイトカゲ科</b> アルマジロトカゲ	<b>Gordylidae</b> Armadillo girdled lizard <i>Ouroborus cataphractus</i>	0 0 7 = 7		1		1	1 0 6 = 7
<b>カナヘビ科</b> ニホンカナヘビ	<b>Lacertidae</b> Japanese grass lizard <i>Takydromus tachydromoides</i>	0 0 3 = 3			1		0 0 2 = 2
コモチカナヘビ	Common Lizard <i>Lacerta vivipara</i>	7 8 2 = 17			7 8 2		0 0 0 = 0
ミヤコカナヘビ	Miyako grass lizard <i>Takydromus toyamai</i>	0 0 127 = 127	22				0 0 149 = 149

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目科種	目科種 種(学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
<b>有鱗目 (トカゲ亜目)</b>	<b>SQUAMATA (SAURIA)</b>						
<b>トカゲ科</b>							
オマキトカゲ	Monkey-tailed Skinks <i>Corucia zebrata</i>	0 0 1 = 1					0 0 1 = 1
ニホントカゲ	Japanese Five-lined Skink <i>Plestiodon japonicus</i>	3 4 0 = 7		7	5	3 4	0 0 2 = 2
マツカサトカゲ	Shingleback Lizard <i>Tiliqua rugosa</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
<b>ワニトカゲ科</b>	<b>Xenosauridae</b>						
チュウゴクワニトカゲ	Chinese crocodile lizard <i>Shinisaurus crocodilurus</i>	0 2 5 = 7			2		0 0 5 = 5
<b>ドクトカゲ科</b>	<b>Helodermatidae</b>						
アメリカドクトカゲ	Gila monster <i>Heloderma suspectum</i>	1 2 1 = 4					1 2 1 = 4
<b>オオトカゲ科</b>	<b>Varanidae</b>						
ミズオオトカゲ	Water Monitor <i>Varanus salvator</i>	0 0 1 = 1		1		1	1 0 0 = 1
アオホソオオトカゲ	Cobalt Tree Monitor <i>Varanus macraei</i>	0 0 1 = 1					0 0 1 = 1
コガネオオトカゲ	Yellow head monitor <i>Varanus melinus</i>	0 0 1 = 1			1		0 0 0 = 0
ベレンティエーオオトカゲ	Perentie <i>Varanus giganteus</i>	1 1 0 = 2			1		0 1 0 = 1
<b>有鱗目 (ヘビ亜目)</b>	<b>SQUAMATA (SERPENTES)</b>						
<b>ボア科</b>	<b>Boidae</b>						
ビルマニシキヘビ	Burmese Python <i>Python bivittatus</i>	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
アミメニシキヘビ	Reticulated python <i>Python reticulatus</i>	0 0 1 = 1					0 0 1 = 1
マダラスナボア	Dwarf sand boa <i>Eryx miliaris</i>	0 0 1 = 1					0 0 1 = 1
アナコンダ	Anaconda <i>Eunectes murinus</i>	0 1 0 = 1					0 1 0 = 1
ミドリニシキヘビ	Green tree Python <i>Morelia viridis</i>	1 1 0 = 2					1 1 0 = 2
ボールニシキヘビ	Ball Python <i>Python regius</i>	0 0 1 = 1					0 0 1 = 1
キイロアナコンダ	Yellow Anaconda <i>Eunectes notaeus</i>	0 0 1 = 1			1		0 0 0 = 0
<b>ナミヘビ科</b>	<b>Colubridae</b>						
アオダイショウ	Japanese Rat Snake <i>Elaphe climacophora</i>	1 3 0 = 4		2			1 3 2 = 6
シマヘビ	Japanese striped Snake <i>Elaphe quadrivirgata</i>	3 3 0 = 6		6	4	3 3	0 0 2 = 2
ジムグリ	Japanese Forest Ratsnake <i>Elaphe conspiciata</i>	3 2 0 = 5			2 1		1 1 0 = 2
シロマダラ	Japanese Odd-tooth Snake <i>Lycodon(Dinodon) orientalis</i>	0 1 1 = 2			1		0 0 1 = 1
<b>クサリヘビ科</b>	<b>Viperidae</b>						
ニホンマムシ	Mamushi pit-viper <i>Gloydius blomhoffii</i>	0 1 1 = 2					0 1 1 = 2

## 5 両生綱 AMPHIBIA

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目科種	目科種種(学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
<b>サンショウウオ目</b>	<b>CAUDATA</b>						
<b>サンショウウオ科</b> エゾサンショウウオ	<b>Hynobiidae</b> Ezo Salamander <i>Hynobius retardatus</i>	0 0 7 = 7	6				0 0 13 = 13
キタサンショウウオ	Siberian Salamander <i>Salamandrella keyserlingii</i>	0 0 79 = 79			79		0 0 0 = 0
<b>アンフューマ科</b> ミツユビアンフューマ	<b>Amphiumidae</b> Three-toad Amphiuma <i>Amphiuma tridactylum</i>	0 0 1 = 1					0 0 1 = 1
<b>トラフサンショウウオ科</b> トウブタイガーサラマンダー	<b>Ambystomidae</b> Eastern Tiger Salamander <i>Ambystoma mavortium</i>	0 0 3 = 3			1		0 0 2 = 2
<b>イモリ科</b> コイチョウイボイモリ	<b>Salamandroidae</b> Kweichow Crocodile Newt <i>Tylotriton kweichowensis</i>	1 0 0 = 1					1 0 0 = 1
<b>カエル目</b>	<b>ANURA</b>						
<b>コノハガエル科</b> ミツヅノコノハガエル	<b>Pelobatoidea</b> Long-nosed Horned Frog <i>Megophrys nasuta</i>	0 0 2 = 2			2		0 0 0 = 0
<b>アマガエル科</b> ニホンアマガエル	<b>Hylidae</b> Japanese tree frog <i>Hyla japonica</i>	0 0 11 = 11			6		0 0 5 = 5
<b>ヤドクガエル科</b> コバルトヤドクガエル	<b>Dendrobatidae</b> Blue Poison Dart Frog <i>Dendrobates azureus</i>	2 2 1 = 5			2 2 1		0 0 0 = 0
キオビヤドクガエル	Yellow-banded Poison Dart Frog <i>Dendrobates leucomelas</i>	0 0 72 = 72		1 1	35	2 1 1	35 = 37
マダラヤドクガエル	Green and Black Poison Frog <i>Dendrobates auratus</i>	0 0 18 = 18			6		0 0 12 = 12
アイゾメヤドクガエル	Dyeing Poison Dart Frog <i>Dendrobates tinctorius</i>	0 1 5 = 6					0 1 5 = 6
モウドクフキヤガエル	Golden Poison Frog <i>Phyllobates terribilis</i>	0 0 21 = 21			18		0 0 3 = 3
<b>アカガエル科</b> エゾアカガエル	<b>RANIDAE</b> Ezo Brown Frog <i>Rana pirica</i>	0 0 8 = 8			2		0 0 6 = 6
<b>アオガエル科</b> コケガエル	<b>Rhacophoridae</b> Mossy frog <i>Theloderma corticale</i>	0 0 3 = 3					0 0 3 = 3
<b>マダガスカルガエル科</b> マダガスカルキンイロガエル	<b>Mantellidae</b> Golden Mantella <i>Mantella aurantiaca</i>	0 0 7 = 7			4		0 0 3 = 3

## 6 条鰭綱 ACTINOPTERYGII

(R4. 4. 1~R5. 3. 31)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	昨年数 STATUS	繁殖 BORN	転入 OTHER ACQUISITION	死亡 DIED	転出 OTHER DISPOSITION	現在数 STATUS
目科種	目科種種(学名)	♂ ♀ ? = 計	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ?	♂ ♀ ? = 計
<b>アロワナ目</b>	<b>Osteoglossiformes</b>						
<b>アロワナ科</b> アジアアロワナ	<b>Osteoglossidae</b> Barramundy <i>Scleropages formosus</i>	0 0 3 = 3				3	0 0 0 = 0



## 7 貸出動物 ANIMAL LOANS FROM SAPPORO MARUYAMA ZOO

(R5. 3. 31現在)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	♂ ♀ ?	貸出施設 INSTITUTION
スンドスローロリス	Sunda Slow Loris <i>Mycticebus coucang</i>	1 1 0 1 0 0	東京都恩賜上野動物園 熊本市動植物園
ダイアナモンキー	Diana Monkey <i>Cercopithecus diana</i>	0 1 0 1 1 0 1 0 0	とべ動物園 豊橋総合動植物公園 福岡市動物園
クロザル	Celebes Crested Macaque <i>Macaca nigra</i>	0 1 0	浜松市動物公園
シシオザル	Lion-tailed Macaque <i>Macaca silenus</i>	2 1 0 0 1 0	大宮公園小動物園 独)天王寺動物園
チンパンジー	Common Chimpanzee <i>Pan troglodytes verus</i>	1 0 0 1 0 0 1 0 0 2 0 0	静岡市立日本平動物園 鹿児島市平川動物園 仙台市八木山動物公園 広島市安佐動物公園
シロテテナガザル	Lar Gibbon <i>Hylobates lar</i>	1 0 0	東武動物公園
シンリンオオカミ	Eastern Timber Wolf <i>Canis lupus lycaon</i>	1 0 0 1 0 0	とくしま動物園 平川動物公園
ホッキョクグマ	Polar Bear <i>Ursus maritimus</i>	0 1 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0	おびひろ動物園 釧路市動物園 東京都恩賜上野動物園 旭山動物園 とくしま動物園 熊本市動植物園
ユキヒョウ	Snow Leopard <i>Panthera uncia</i>	1 0 0 0 1 0	大森山動物園 浜松市動物園
トド	Steller's Sea Lion <i>Eumetopias jubatus</i>	0 1 0	アクアマリンふくしま
グラントシマウマ	Grant's Zebra <i>Equus burchelli bohmi</i>	1 1 0	伊豆アニマルキングダム
オグロプレーリードッグ	Black-tailed Prairie Dog <i>Cynomys ludovicianus ludovicianus</i>	0 1 0	伊豆シャボテン公園
オオワシ	Steller's Sea Eagle <i>Haliaeetus pelagicus</i>	0 1 0 0 1 0 1 0 0 1 0 0 1 0 0 0 1 0 0 1 0 0 1 0	東京都多摩動物公園 浜松市動物園 東京都恩賜上野動物園 福岡市動物園 仙台市八木山動物公園 よこはま動物園 東武動物公園 周南市徳山動物園
イヌワシ	Golden Eagle <i>Aquila chrysaetos</i>	1 0 0	大牟田市動物園
フクロウ	Ural Owl <i>Strix uralensis</i>	1 0 0	釧路市動物園
ニジキジ	Himalayan Monal Pheasant <i>Lophophorus impeyanus</i>	0 1 0 0 1 0	姫路市立動物園 熊本市動植物園
ヨウスコウワニ	Chinese Alligator <i>Alligator sinensis</i>	0 0 6 0 0 1	熱川バナナワニ園 埼玉県こども動物自然公園

## 8 借受動物 ANIMAL LOANS TO SAPPORO MARUYAMA ZOO

(R5. 3. 31現在)

和名 JAPANESE NAME	英名 ENGLISH NAME 学名 SCIENTIFIC NAME	♂ ♀ ?	借受施設 INSTITUTION
マンドリル	Mandrill <i>Mandrillus sphinx</i>	1 0 0	日本モンキーセンター
クロザル	Celebes Crested Macaque <i>Macaca nigra</i>	1 0 0	千葉市動物公園
ブラッサグエノン	De Brazza's Monkey <i>Cercopithecus neglectus</i>	0 1 0	東京都恩賜上野動物園
シシオザル	Lion-tailed Macaque <i>Macaca silenus</i>	1 0 0 0 1 0	静岡市立日本平動物園 熊本市動植物園
シロテテナガザル	Lar Gibbon <i>Hylobates lar</i>	1 0 0 0 1 0	旭山動物園 市川市動植物園
マレーグマ	Malayan Sun Bear <i>Helarctos malayanus</i>	1 0 0	東京都恩賜上野動物園
シセンレッサーパンダ	Red Panda <i>Hylobates lar</i>	1 1 0 0 1 0 1 0 0	長野市茶臼山動物園 埼玉県こども動物自然公園 千葉市動物公園
ホッキョクグマ	Polar Bear <i>Ursus maritimus</i>	1 0 0	姫路市立動物園
ユキヒョウ	Snow Leopard <i>Panthera uncia</i>	1 0 0	多摩動物公園
キリン	Giraffe <i>Giraffa camelopardalis</i>	1 0 0 0 1 0	長野市茶臼山動物園 多摩動物公園
コツメカワウソ	Small-clawed otter <i>Aonyx cinereus</i>	1 0 0 0 1 0	サンピアザ水族館 アドベンチャーワールド
ゴマファザラシ	Spotted Seal <i>Phoca largha</i>	0 1 0	おびひろ動物園
ゼニガタアザラシ	Habour Seal <i>Phoca vitulina</i>	0 1 0	小樽水族館
フンボルトペンギン	Humboldt Penguin <i>Spheniscus humboldti</i>	1 0 0	新潟市水族館
タンチョウ	Manchurian Crane <i>Grus japonensis</i>	1 0 0	釧路市動物園
シマフクロウ	Blakiston's fish owl <i>Ketupa blakistoni blakistoni</i>	1 1 0	釧路市動物園
カンムリシロムク	Bali Myna <i>Leucopsar rothschildi</i>	1 1 0	よこはま動物園
ジャノメイシガメ	Beal's-eyed turtle <i>Sacalia bealei</i>	0 2 0	横浜市立野毛山動物園
テクタセタカガメ	Indian Roofed Turtle <i>Pangshura tecta</i>	1 0 0	横浜市立野毛山動物園

令和5年度  
事業概要

市政等資料番号	01-J03-23-2637
関係部局保存期間	1年

令和6年2月発行

編集・発行 札幌市環境局円山動物園保全・教育推進課  
〒064-0959 札幌市中央区宮ヶ丘3番地1  
電話 (011) 621-1427  
FAX (011) 621-1428  
URL:<http://www.city.sapporo.jp/zoo/>